少年画報社

それでも町は廻っている
公式ガイドブック

廻覧板

SOREDEMO MACHI HA MAWATTEIRU
OFFICIAL GUIDE BOOK KAIRANBAN

PRESENTED BY
MASAKAZU ISHIGURO

石黒正数

それでも町は廻っている
公式ガイドブック
廻→覧→板
SORE MACHI
SOREDEMO MACHI HA MAWATTEIRU
OFFICIAL GUIDE BOOK KAIRANBAN
Presented by Masakazu Ishiguro
石黒正数

Contents

目次

Jyoreberu Machi ha Mawatteiru
Official Guide Book - Kairanban -

作者からのご挨拶 …… 002

カバーイラスト …… 003
制作手順 …… 024
カバー裏側イラスト集 …… 026

カラーイラスト …… 029
設定いろいろ …… 058

キャラクター図鑑 …… 061

再読の手引き …… 081
未収録漫画1「ロック」 …… 100
未収録漫画2「時限爆弾」 …… 117
「それでも町は廻っている」年表 …… 130

未収録漫画3「辰野優子バンド」 …… 129
未収録漫画4「矢澤りえかさん結婚漫画」 …… 140

識出しイラスト …… 151
未収録扉&イラスト …… 152
販売促進用書店配布イラスト …… 156
設定　指示書 …… 164
初期イメージ …… 170

作者からのご挨拶

「廻覧板」を手に取って頂きありがとうございます。

本書は漫画「それでも町は廻っている」本編のネタバレを盛大に含んでいます。未読の方はご注意ください。

さて、この度「それでも町は廻っている」の完結を記念して、このような副読本を出版していただく運びとなりました。制作にあたって連載準備段階から最終巻に至る約十二年間に積み上げられたあらゆる「それ町」関連の絵を仕事場から掘り返す事となり、結構な量の絵と相当な量の説明文を編集する羽目になった担当編集さん、ライターさん、デザイナーさんを始め関係者の皆様には、この場を借りてお礼を申し上げたいと思います。

そして本編にお付き合いいただいた上「廻覧板」まで手にして下さった読者様。

この本も本編に負けぬほど頑張って作ったので、お楽しみいただければ幸いです。

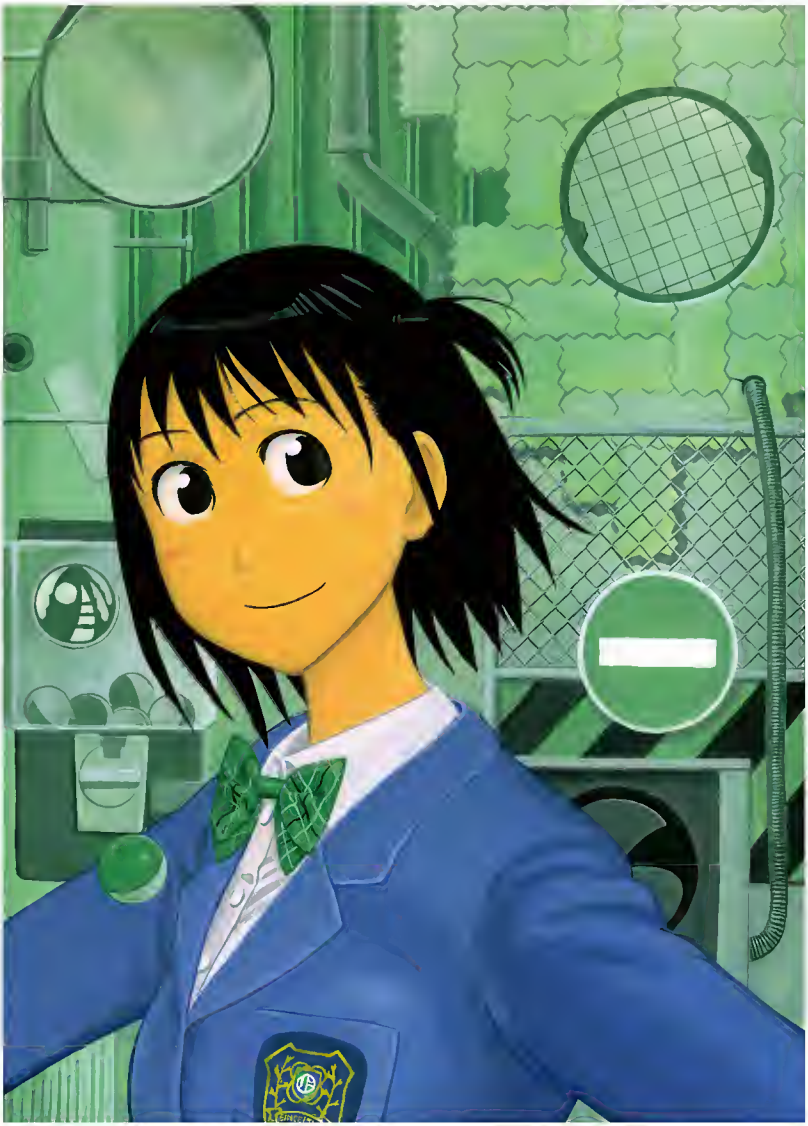
石黒正数

COVER ILLUSTRATION

カバーイラスト

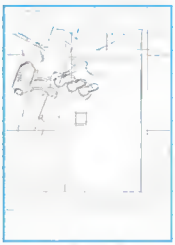
【 1巻表紙 】この作品に「人生」「魂」「自分の全て」というような言葉にできない物を塗り込めたかったので、1巻が出る時、表紙をデジタルではなく絵の具で描く事にしました。後々、単行本の度に絵の具を引っ張り出して苦労する事になるのですが…。

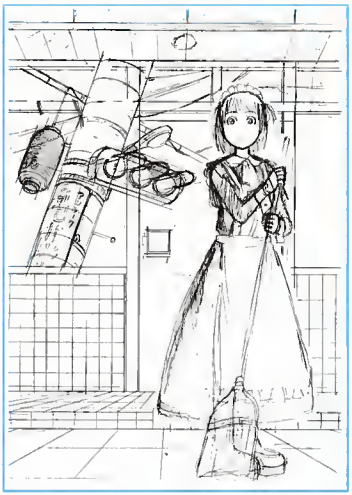
【 2巻表紙 】1巻を空の青色基調にしたので、2巻は暖色系にしようと夕日の橙色にしました。歩鳥も1巻より引いて全身を入れました。電柱は好きなモチーフの一つなのですが、最近では地面に埋めてしまおうという動きがありますね。



【 3巻表紙 】今度は緑色です。ブレザーの歩鳥を描いてこれまでの巻と印象も変え、何巻まで買ったか分からなくなる現象に配慮したつもりが、背景の道路標識が漢字の「一」に見え、1巻と間違えて買ってしまったという報告が複数寄せられました。予測不能の事態でした。

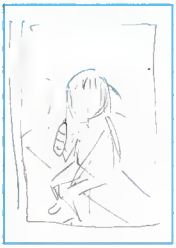
［4巻表紙］路地をのぞき込んでいる夏服の歩鳥です。紫色のグラデーションがやけにムラになり難しかった覚えがあります。

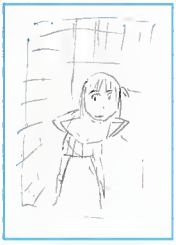


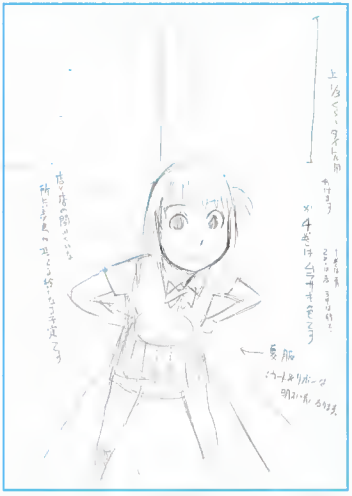


2巻

歩鳥と背景のラフをばらばらに描いて切り貼りし、拡大してボードに転写したようです。ちなみに、1巻と3巻と5巻のラフや下書きは描てたらしく発見されませんでした。







4巻

いろいろ試行錯誤したようで、いろんなラフが見つかりました。コミックスのカバーは上下にタイトルが入り、下下には帯が付くのでそれを配慮せねばならないのですが、これが結構な制限になりました。

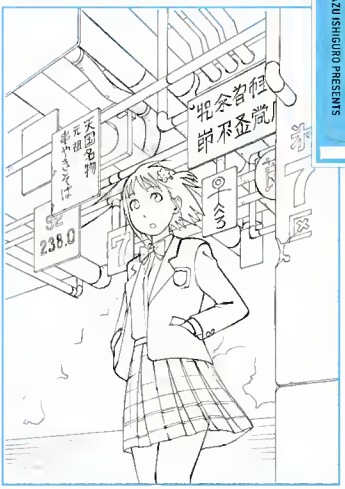
［5巻表紙］メイド服にディアストーカーハットというのは「それ町」を描くにあたって最初にイメージした歩鳥を象徴する姿です。4巻まではターナーのアクリルガッシュで描いていましたが、この巻からリキテックスのガッシュに変えてみました。

【 6巻表紙 】だんだん色も構図も苦しくなってきました。ドアップにする事でどうにかこれまでとの違いを出したつもりです。

【 7巻表紙 】 空色を基調にした天国の風景です。3巻の「一」巻事件を踏まえ背景の一部に「7」という数字を入れる配慮も怠りません。この絵が一番好きだと言ってくれる方が多いです。そう言われてみると僕も好きです。

［8巻表紙］普段、表紙は2〜3日かけて描くのですが、この頃に「それ町」がアニメになり、8巻表紙はとんでもなく忙しい最中に半日で仕上げました。今見ると歩鳥の胸が大き過ぎなのですが、そんな事に気付く余裕も無かったのです。

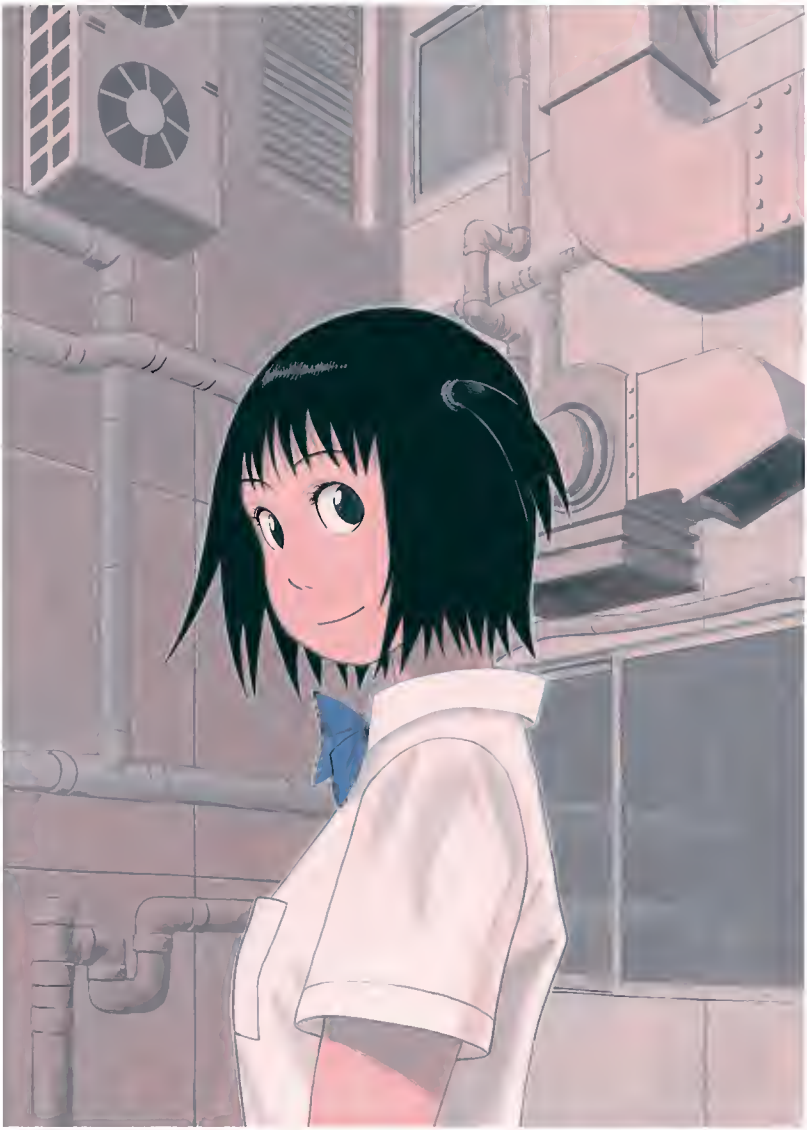
6巻　下書きです。



7巻　ペン入れした原稿です。これを拡大コピーして一回り大きいイラストボードに転写します。

8巻　原稿の段階では手前に植物が茂っていた様ですが、時間短縮のためヤツデの葉のシルエットに変えました。8巻だから「八つ手」でヤツデだと、今思い出しました。

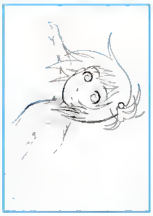
［9巻表紙］夏に福井へ帰省した時に実家で描きました。これを塗っている僕の姿を母が写真に撮ったりしたのを覚えています。完成した現物を編集部に郵送しました。日本の運輸システムは信頼していますが、この時ばかりはちゃんと届くかハラハラしました。



［ 10巻表紙 ］とうとう「なんか白っぽい」というよく分からない色になりました。背景は散歩の途中に撮った近所の路地裏の写真から、好きなパーツを適当に組み合わせた物です。この歩鳥は落ち着きのある良い表情をしていると思います。

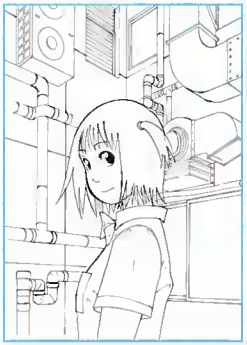
【11巻表紙】どうしても動きをつけるとキャラが小さくなってしまうので、あまり表紙ではやらなかったのですが、構図パターン枯渇の問題で、そうも言ってられなくなってきました。緑基調のアクセントとして赤いスニーカーを履かせました。

〔 12巻表紙 〕蛍光ピンクの絵の具を買って来て描きました。色パターンの問題は最早絵の具頼りです。背景は電子基盤をモチーフにしました。歩鳥の左手薬指に絆先輩の指輪がはまっているのがポイントです。お気に入りの表紙です。



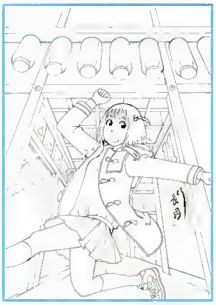
9巻

水着のバージョンも考えていたようです。水中の絵にすると息苦しいからやめたんじゃないでしょうか。



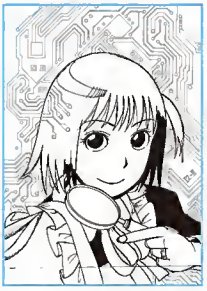
10巻

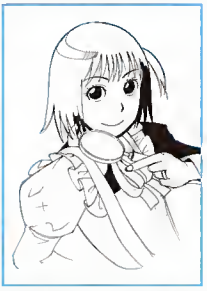
ペン入れした原稿だと思います。



11巻

逆向きでポーズが違うラフがあったようです。実際の表紙ではこのペン入れ原稿から更に寄って、提灯の部分が削られています。





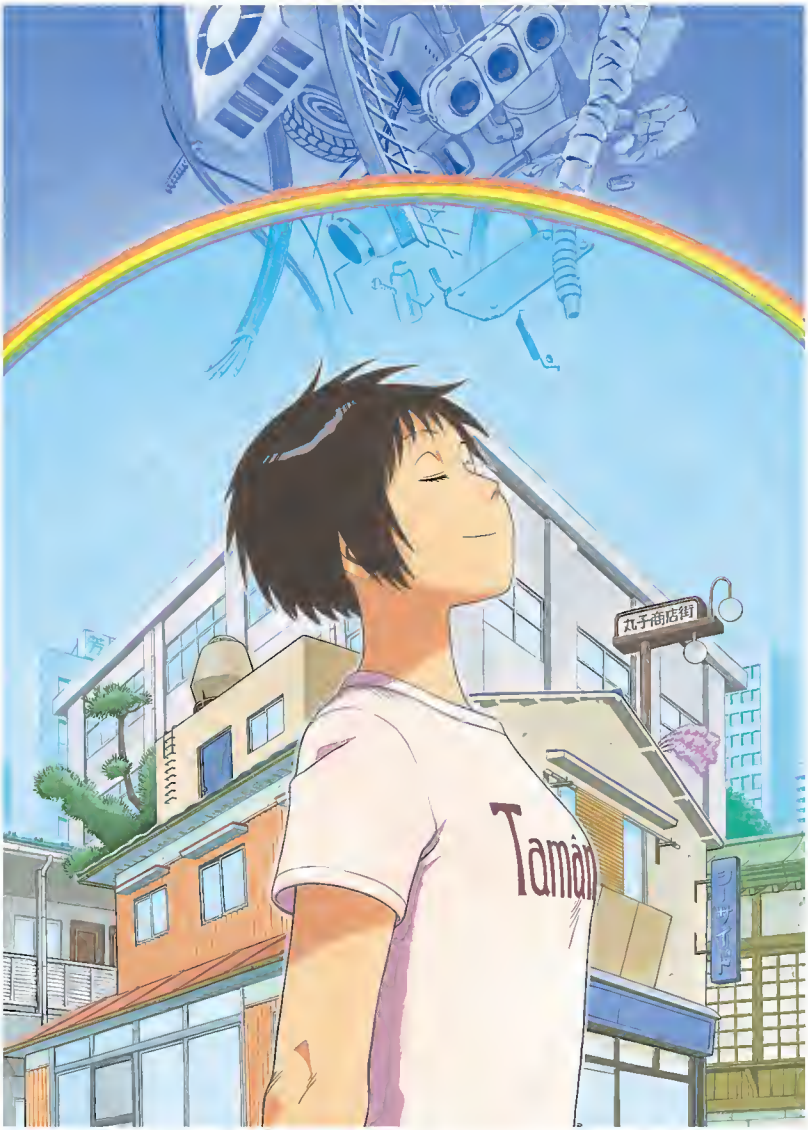
12巻

これも一旦描いた歩鳥を拡大してトリミングし直しています。イラストボードは大きいですが単行本は小さいので、完成時のキャラの大きさが掴みづらく、毎回歩鳥の大きさで迷っていた気がします。

【13巻表紙】藤色という絵の具を買って来て…。背景の階段は熱海のどこかです。よく熱海に行くのでモチーフに使うことが多いです。

【 14巻表紙 】もう、一周したという事で同じ色でも良いだろうと脳内審議で決まり、再度の橙色です。パーカーの質感や、Gパンのオイルウォッシュな色合いが出せたし、どちらの歩鳥の顔も可愛く描けたので一番気に入っている表紙かもしれません。

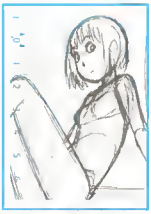
［15巻表紙］修学旅行という事で表紙では初のジャージ姿です。「一」巻間題に配慮して「十五」の文字が入っています。白檸はまっすぐ生えるので熊の檻の格子に見立てたのですが、わかりにくかったですね。

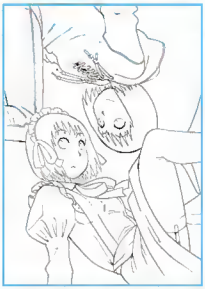


【 15巻表紙 】最後なのでカラー問題から解放されあらゆる色を使いました。これまで表紙という事を意識し、歩鳥の顔や目線をこちらへ向けるようにしていたのですが、最後なので思い切って横向きで目を閉じさせました。

13巻

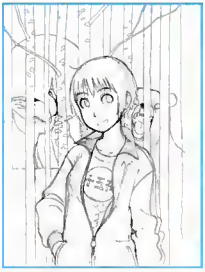
ペン入れまでしたのに動きが硬いのが気に入らなくて描き直したようです。他人事のような言い回しが多いですが、今回こうしてラフや下書きが出てくるまで忘れていた事や、この期に及んで思い出せない事もあります。





14巻

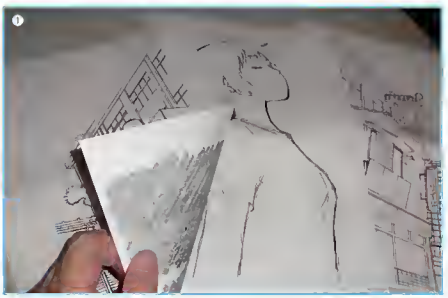
真横を向いた歩鳥を陰陽マークのように組み合わせようとしたけど、顔をこちらに向けたくてポーズを変えたんだと思います。



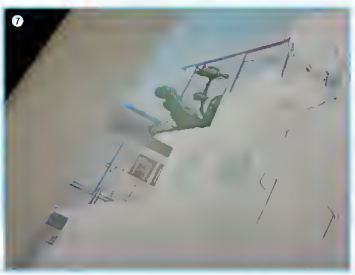
15巻

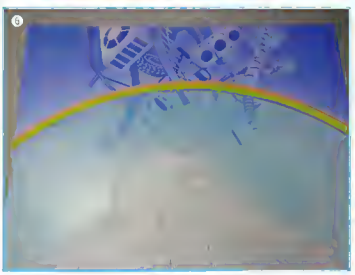
最初、枕投げのような絵を考えていたのですがアングルが14巻と似てしまったので変更しました。そして下書きの段階では歩鳥の頭に角が生えていません。この白樺の枝からエゾシカの角を連想して、歩鳥に角を付けたのです。

❶、❷ イラストボードは原稿用紙より大きいので、いつもの原稿用紙に描いた絵を拡大コピーして、裏側を濃い鉛筆でぐりぐり塗ってボールペンでなぞるという昔ながらのやり方で転写します。おぼろげに転写できたら、それをもう一度ちゃんと鉛筆でなぞります。これでやっとイラストボードに下書きが描けました。



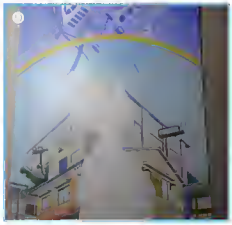
❸ 使う画材はリキテックスのガッシュです。水バケツは良いのが無かったので口を切ったペットボトルを3本ガムテープでくっつけた物です。5年以上前に作った物で、ガムテープが崩壊したらちゃんとした水バケツを探そうと思っていましたが、意外と長持ちしました。パレットは小・中学生の時に工作で使ってたやつ、筆はメーカーもバラバラに細いのから太いのまで3本。まぁ、だいぶ適当な物で描いているという事です。





❹〜❼ 普通、全体に基本色を置いたりするんですが、僕は一箇所ずつちまちま塗っていきます。多分邪道なので参考にはしない方が良いです。ガッシュは重ね塗りができる画材なので、良い感じに塗れるまで諦めずちまちま塗ります。絵の一番奥にあたる空や瓦礫から始めてだんだん手前の背景へと領域を広げていきます。

❽、❾細かいところは細い筆で、ちまちま、ちまちま塗っていきます。



❿〜⓬ 背景が塗り終わったので、歩鳥を塗ります。やはり歩鳥の絵で一番奥にあたる肌から塗ります。

⓯完成しました。これで単行本が出せるぞ、と胸をなでおろす瞬間です。

⓭、⓮ 背景の左右の空間が物足りないので、急建ビルを描き足すことに。塗り終わったボードに直接下書きをするほかありません。この際パースは他の背景に合わせて適当です。

COVER ILLUSTRATION

カバー裏側イラスト集

［3巻］

［2巻］

［1巻］

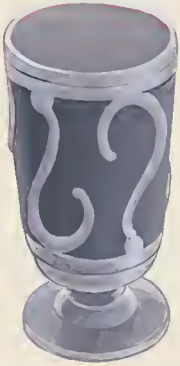
［5巻］

［4巻］

［7巻］

［6巻］

［9巻］



［8巻］

［11巻］

［10巻］

［13巻］

［12巻］

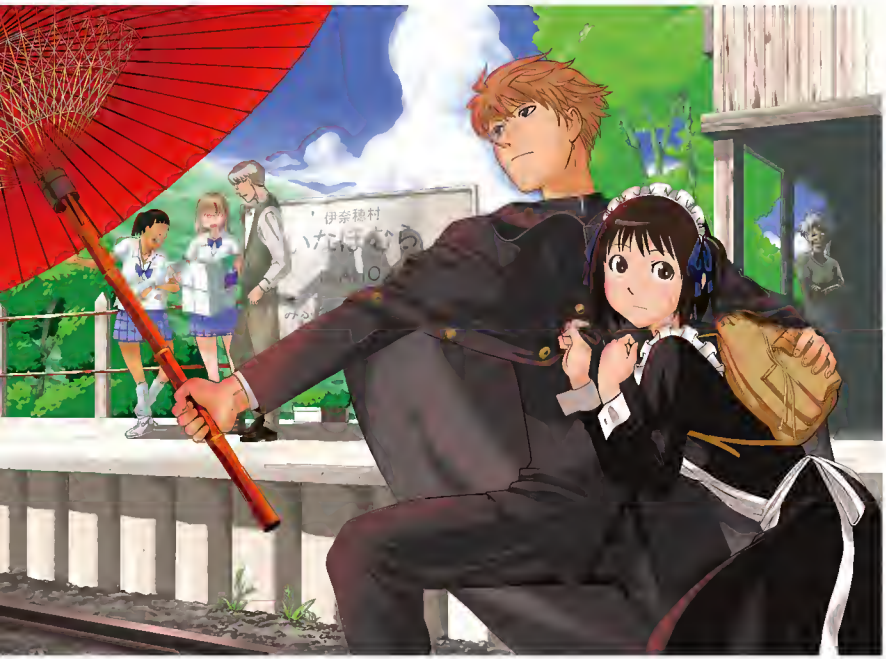
［14巻］

［16巻］

［15巻］

COLOR ILLUSTRATION

カラーイラスト

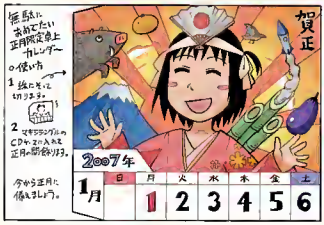


初期の見開きカラートビラだったと思うのですが、単行本収録時に抜いてしまったものです。真ん中で切れているのは、左右別々の紙に描いて取り込んだからです。

2006

COLOR
ILLUSTRATION
COLLECTION

これは何の時に描いたのかよく覚えていないのですが、1巻にピンナップとして収録されています。歩鳥のマントが「大人気」の時の物なので少なくとも8話目『看板娘が大人気』以降に描いたものでしょう。



これも何で描いたか覚えていないのですが、たった一週間のためのカレンダーです。自分のサイトのブログに載せるために描いたプライベートな物かも知れません。

描いた当時、お別れしてるみたいで気に入らないと言ったのは覚えています。原因はメイド長が後ろを向いているからですね。

運載を始めた当初に描いたイメージイラストです。モノクロ版を本編のトビラ絵に流用しましたが、カラー版は自分のサイトに公開しただけだったと思います。80年代のアニメのイメージイラストっぽくて良いと思うのですがいかがでしょうか。

2007

COLOR
ILLUSTRATION
COLLECTION

何話目かのトビラ絵だったもので、2巻のピンナップとして単行本に収録されています。歩鳥から放射状に出ているのは2巻までに登場した関連アイテム等です。

初めて掲載紙「アワーズ」の表紙を飾ったイラストです。編集長から「アンケートで一位になったら表紙ね」と言われていて、ヘルシングが休載、トライガンが単行本作業でお休みだった隙をついて一位を奪取し表紙を勝ち取りました。大掃除の最中に休憩、というイメージだったのですが地面を道路にしてしまったため、粗大ゴミ置き場でおにぎりを食べてるみたいな不思議な絵になってしまいました。

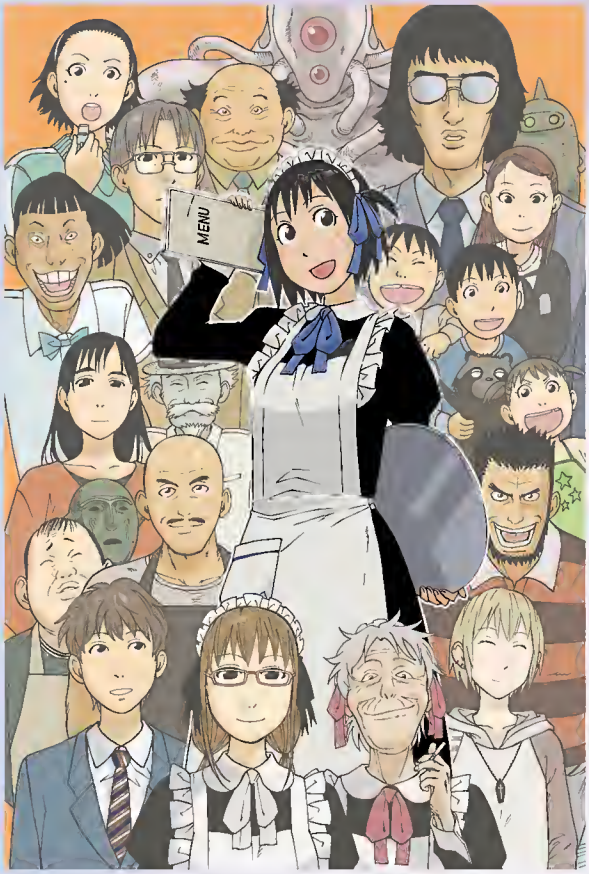
2000

COLOR
ILLUSTRATION
COLLECTION

2度目の表紙です。ラフを見ると電柱に乗った魔女みたいなイメージもあったようです。なるべく乗り心地の良い電柱をと思って描いたのですが、僕はジェットコースター系の浮遊感のある乗り物が苦手なので、描いていて何度か気持ち悪くなりました。メーターの「5/30」はこの表紙のアワーズの発売日です。

コミックフラッパーに出張掲載されたエビちゃんピンナップです。80年代に散見されたビキニのような衣装が好きなので、それを目指しました。

雪が降ってきたので傘を持って誰かを迎えに行く歩鳥ですが、自分の傘を持っていない事に気付いていない、という絵です。地面にテクスチャを貼って、めずらしくCGの利点を活かしています。



何かの特典のために描いた絵です。当時の担当さんのお気に入りの絵で、アワーズの読者プレゼント用のクリアファイルやポストカードに流用されたり使用頻度の高いイラストになりました。松田さんや宇宙人などが大きく描いてあるのは、スーパーファミコンの「真・女神転生」のパッケージを意識したからです。

COLOR ILLUSTRATION COLLECTION

2nd TOUCH

COLOR
ILLUSTRATION
COLLECTION

歩鳥の母の実家、綾鳥家の座敷で寝ている3人です。嵐山家の子らは総じて寝相が悪いようです。歩鳥がはいているピンク色のショートパンツには並々ならぬ思い入れがあります。中学生の時、親友A君宅の居間でゲームをしていたら、ピンクのショートパンツをはいたA君の姉が、同じ部屋でこんな格好で寝はじめたのです。ゲームどころではありませんよ！

カラーデータを紛失し、辛うじて編集部のパソコンからモノクロの画像がサルベージされました。「それ町」の掲載誌アワーズの巻末コーナーにて、読者にプレゼントされていたテレホンカードのために描いた絵です。現在このテレカは扱っておらず、カラーデータも無く再版不可能なので、テレカの現物をお持ちの方しかカラーが見れません…。

綾鳥家のある北陸の田舎の夏です。背景は実際に北陸の田舎で撮影した写真を参考にして描きました。着色前の歩鳥が2バージョンあったのですが、なぜ描き直したのか思い出せません。

花2010

COLOR
ILLUSTRATION
COLLECTION

「それ町」アニメ化の頃にTBSアニメフェスタのポスターを飾った歩鳥です。メイド服で「メイド」のポーズをしている歩鳥の基本形です。

アニメといえば「原作と違う！」が風物詩なので、原作と全然違う色の歩鳥を描きました。実際のアニメでは原作に忠実なデザインになっています。

TBSのスタッフが制作し、書店の店頭等で無料配布された「それ町公式調査ファイル」の表紙です。キャラクターデータや商店街マップなどが掲載されているのですが、異常に内容が充実しており今回の廻覧板の制作に当たりこの冊子の情報量を超える事が目標の一つになったほどです。

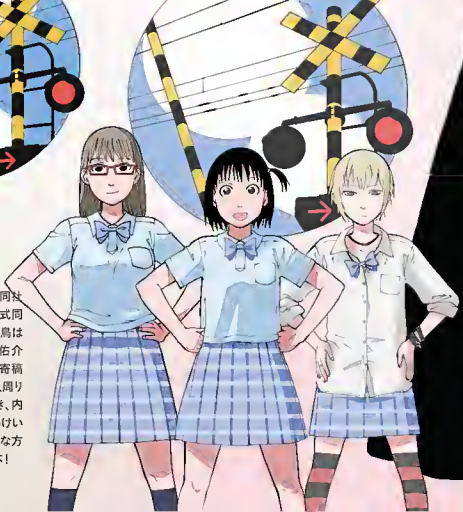
アニメ雑誌「娘ＴＹＰＥ」に四号にわたって掲載されたイラストの一つ目です。

なにかの特典だったのか、コースターを作るということでカップをどけてみるまで当たりかハズレかわからない絵にしたら面白いかと思って描いたものです。

書店に配布して使ってもらうためのポップを作るというので描いた絵です。夏だったからＴシャツ姿なんだと思います。

歩鳥の体形が妙にリアル。これは紺先輩より10キロちかく重いのも頷けますが、細い子よりこれくらいの方が好みな男性は多いと思います。かき氷がなかなかそれっぽくならず、最後にそこだけコントラストを調節した覚えがあります。

「娘TYPE」に掲載されたイラストです。カラーのユキコと亀井堂は罰と珍しい気がします。



少年画報社が制作し、夏コミの同社ブースで販売された「それ町公式同人誌」の表紙です。メイド服の歩鳥は未使用。イラストレーター中村佑介がカラーイラストとメッセージを寄稿してくれている他、アワーズ・知人周りのゲストに加え、トニーたけざき、内藤泰弘、雷句誠、小田扉、あらゐけいいち、(敬称略 順不同)など意外な方たちが参加してくれている凄い本！

この頃、アニメ化のためたくさんカラーを描いていますが、初見でもイメージがつかみ易いよう、たびたび「歩鳥がメイド服を着ている分かり易い絵」を描きました。これもその1つです。

タッツンのパンチラが歩鳥のちょんまげで隠れていましたが実はレイヤーが別なので歩鳥を動かすと見えます。

アニメのエンディングテーマと、学園祭で歌った曲が入ったCDのジャケットです。バックの矢印のカラーを赤・青2パターン作り、CDジャケットには赤が採用されています。

「娘TYPE」に掲載されたイラストです。掲載時は紺先輩とメンバーが統合された状態でしたがレイヤーが分けてあったので今回別々に載せました。

「娘TYPE」に掲載されたエビちゃんです。

恋愛シミュレーションゲームで、新密度がMAXまで上がっている時の紳先輩の立ち絵というイメージです。

アニメ最終回のエンドカードです。いろんな作家さんにエンドカードを描いていただき、僕が最後でした。誰が描いたのか一瞬わからないような絵にしようとしてこんな絵にしました。

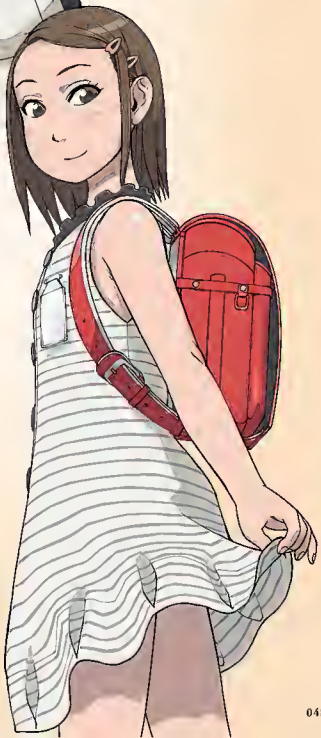
2030

COLOR
ILLUSTRATION
COLLECTION

メイズCDに封入特典として付いていたカルタの絵です。メイド服を着崩したタッツンや私服で笑顔の緒先輩など、本編では見られないような様子を描きました。CDには4種のうちどれか1枚が入っているという事で…。

アニメDVD各巻のパッケージ内側に描いてある絵です。
全6巻なので6種あります。

アワーズ誌上で受注販売されたドラマCDのジャケットです。ドラマCDという事で、真っ暗な部屋で各々の怪談を聞いているというスタイルと、音しか聞こえない中ならではのオチを提案し、それを元にアニメの脚本家さんが話を作りました。



受注販売されたTシャツ用イラストです。とてもじゃないが着て表を歩けないTシャツというコンセプトで描きました。初回限定生産の白水着バージョンもありました。

傘の内部はディテールが複雑なのでなるべく開きたくないんですが、これは開いて良かった。お気に入りの絵です。

2012

COLOR
ILLUSTRATION
COLLECTION

2月号の表紙ですが雑誌が発売されるタイミングは前の年の大晦日なので、お正月の絵です。熊手、米俵、鯛、海老、着物…一個一個資料を元に描いて大変でしたが、おかげでめでたい絵になりました。

トウモロコシをPCの画面上で拡大して一粒一粒に焦げ目をつけて、パッと画面を引いてみたら良い感じに焼きモロコシになっていて嬉しかったです。両手に食べ物を持っているのがいかにも歩鳥ですね。

2013

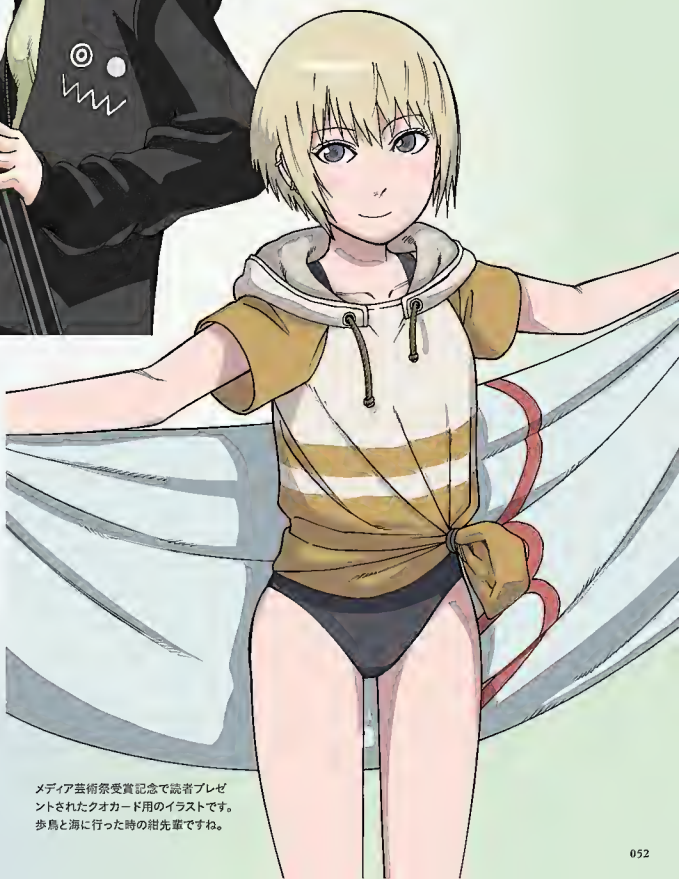
COLOR
ILLUSTRATION
COLLECTION

「それ町」連載100回記念号の表紙です。連載開始からいつの間にか100ヶ月経ち、現在の絵で1巻の表紙と同じ構図で描いてみました。感慨深い一枚です。

2014

COLOR
ILLUSTRATION
COLLECTION

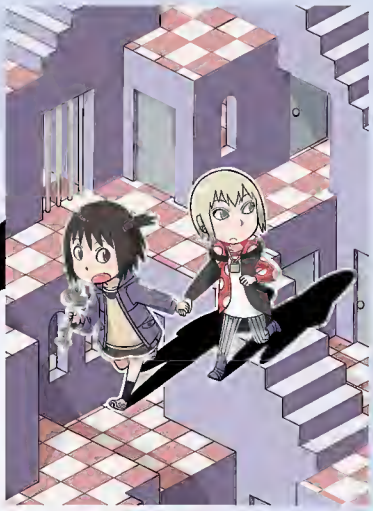
「ソレミテ～それでも霊が見てみたい～」の1巻のオビ用に描いた紺先輩です。紺先輩の推薦図書という事で「信じたいから見たい、これは私のスタンスと同じだ」との推薦文も入っていました。手にしている変な物は、ソレミテ作中に登場するドクロ杖です。



メディア芸術祭受賞記念で読者プレゼントされたクオカード用のイラストです。歩鳥と海に行った時の紺先輩ですね。

秋なので季節柄、果物をモチーフにしたんだと思います。

タヌキをモチーフにしたイラスト展に描いた物です。たしかCDジャケの大きさで描くコンセプトだったように記憶しています。だから、ちょっとヨーロピアンな色使いでポップな感じを目指しています。ジョセフィーヌはタヌキではないですけど。



立体迷路に迷い込んだ歩鳥と紺先輩です。よく見たらこれはスケートに行った時の服ですね二人とも。歩鳥のスニーカーも買いかえる前のですし。手に持っている鍵は1巻「恋の方程式」の扉絵の鍵ですね。

2015

COLOR
ILLUSTRATION
COLLECTION

楽天ブックスの特典のために描いたものです。ブックスだから、二人とも本を読んでいるんです。確か。

まるで学園漫画のような雰囲気にして、初めて店頭でアワーズを見た人を騙そうと思って描いた絵です。

グラビアに通りすがりのオッサンが見切れているという前代未聞の表紙を目指しました。紺先輩はワカメを拾ってきて「歩鳥ご飯だぞ」と言っています。

歩鳥の歩

COLOR
ILLUSTRATION
COLLECTION

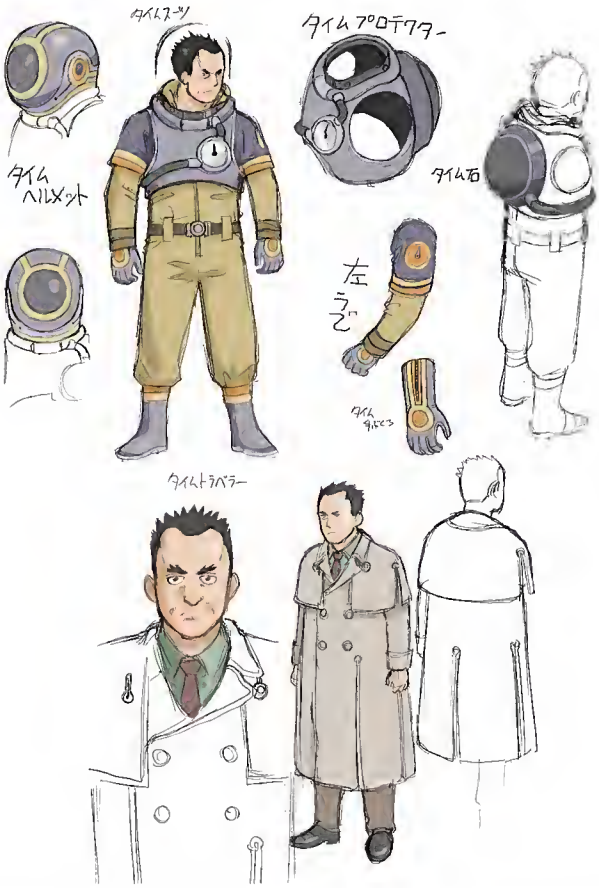
「それ町」最終回が載ったアワーズの表紙です。歩鳥のリボンは本来青なのですが、別の世界線を匂わすため色を変えました。

最終巻の有償特典のひとつとして作られた「おかめコースター」のデザインと、それに着いて来るブロマイドの小学生歩鳥です。

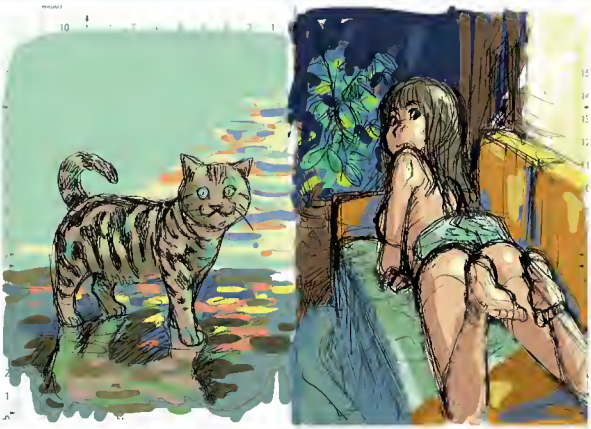
雑誌「ダ・ヴィンチ」に描いたエッセイ漫画のタイトルロゴの所にいたふたりです。2016年の秘密というタイトルだったので、ふたりでこんなポーズをしています。

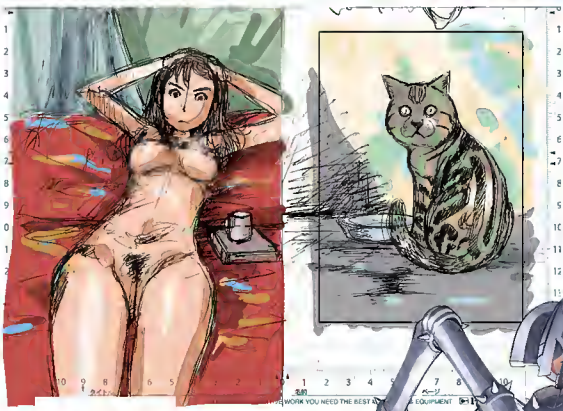
SETTING ILLUSTRATION

設定いろいろ



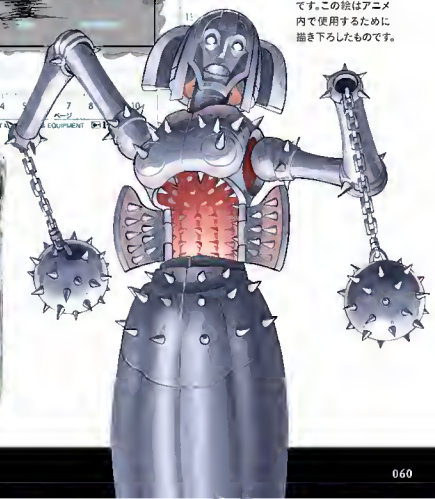
原作漫画がまだネームの状態のうちにアニメ制作に入るという特殊な回(詳しくは再読の手引きにて)のために、事前にアニメスタッフに渡したキャラクターデザインです。





「虚」の回に出てくる室伏源の兄が描いた絵です。トーンを貼る時のイメージ用に色を着けてみました。

エビちゃんの女心を具現化したビジョンです。この絵はアニメ内で使用するために描き下ろしたものです。



「お姉さんといっしょ」でタケルたちが探すお菓子の箱です。

CHARACTER INTRODUCTION

キャラクター図鑑

嵐山家

CHARACTER FILE

嵐山 歩鳥（あらしやま ほとり）

- 尾谷高校1〜3年生（任島同時期は2年、間の補があるため）
- 5月10日生まれ
- 身長154センチ
- 血液型O型

■探偵に憧れる明朗快活な女子高生。思い込みが激しくおっちょこちょい。勉強はまぁまぁ出来るが数学が苦手。高校入学後、町内のメイド喫茶シーサイドでアルバイトを始める。

■幼い頃、同じ町内の古道具屋の娘・亀井堂　静から受けた影響でミステリに目覚めた。その後もたくさんの小説を読み、自らもミステリ小説を書いたり、作家になる事に憧れを抱くようになる。
ネタ集めのため「事件簿」と書かれたノートに、思い付いたネタや日々の出来事を書き付けている。また、実際に事件に関わりたい衝動が常にあり、何か不思議な事が無いかとアンテナを張っている。

■普段着は動きやすい服装を好み、大きな目のパーカーやTシャツ、履き慣れたGパンを着用。幼少の頃から商店街の人達に可愛い可愛いといわれて育ったせいで、自分をなかなかの美人だと思っていたフシがある。人と接する事に慣れていて、とくに年配者から好かれ顔が広い。学校でも男女関係なく誰とでも気軽に接するせいか、実はそこそこモテる。浮いた話にあまり縁が無いのは、おっちょこちょいを周りから弄られたりと若干イロモノ扱いになっているからか!?

■出身校：比音小学校
　　本板中学校

CHARACTER FILE

ジョセフィーヌ

■ 嵐山家で飼われている犬　■ 雑種

■フーン、フム?と鳴き、滅多な事ではワンといわない。いえるかどうかも不明。北陸の綾鳥家で飼われていた犬「アイネ」から生まれた子犬だが何世代かに渡り犬種がミックスされた結果、まるでタヌキのような風貌になった。綾鳥家で真琴に「ナハト」と呼ばれていたが、嵐山家に来て歩鳥からジョセフィーヌと名付けられる。

■名前の由来は歩鳥が幼少時、途中で読むのを断念した児童文学「ドリスとなぞの王国」の登場人物「ジョセフィーヌ王」だと思われる。

■なにがそんなに自信があるのか、やたら偉そうな性格。ちなみに、このジョセフィーヌの絵は降参しているのではなく「なでろ！」のポーズである。

■主な必殺技：ジョセフィーヌ・パンチ
　　ジョセフィーヌ・鼻

CHARACTER FILE

嵐山 雪子（あらしやま ゆきこ）

■ 歩鳥の妹
■ 比音小学校1年～3年
■ 6月15日生まれ
■ 血液型O型

■自由奔放、猪突猛進、直情型。良くいえば素直な子供。悪くいえば野生。テレビゲームで上手くいかなければひっくり返って親を立て、悔しい事があれば文字通り飛び上がって喜ぶ。3年生になるとだいぶ落ち着く。

■兄と遊ぶのが好きで、興奮したユキコを一瞬でおとなしくさせる事ができるのは兄タケルだけらしい。兄の影響か、男の子向けのコンテンツが好き。とくに「鬼面ライガー」シリーズにハマっている。「鬼面ライガーしぐれ」に登場するライバルキャラ「Ω(オメガ)」には特別憧れを抱いていて「しぐれ」最終回後もΩの事だけは忘れられなかった。

■Ωになりきる為おもちゃをガムテープで腕に貼り付けてまで行われる完全コピー芸はタケルをして「かなりの再現度」といわしめる。

CHARACTER FILE

嵐山 歩（あらしやま あゆむ）

■ 歩鳥の父
■ 役所勤めの公務員
■ 8月25日生まれ
■ 血液型A型。

■早めに起きてジョセフィーヌの散歩をしてから仕事に行くのが日課。父・寒十郎が60歳あたりで禿げ始めたので今のうちから頭髪に気を遣っている。

CHARACTER FILE

嵐山 雪美（あらしやま ゆきみ）

■ 歩鳥の母
■ 旧姓「綾鳥（あやとり）」
■ 9月30日生まれ
■ 血液型O型

■北陸の田舎出身。進学、就職で上京して歩と結婚。現在は専業主婦。寝坊したり遅刻したりとマイペースな歩鳥を急かしている事が多いが、少女時代は歩鳥と似たようなものだったらしい。

CHARACTER FILE

嵐山 猛（あらしやま たける）

■ 歩鳥の弟
■ 比音小学校3～5年生
■ 7月20日生まれ
■ 血液型A型

■利発な少年だが年相応な遊びも好きで、とくにカードゲーム「デーモンマスター」には入れ込んでいる模様。テレビゲームをする時などはマップや情報を細かくノートに残すタイプ。

■年齢的に利口さが遊びに転換される場合が多く、ゲームでの駆け引きに強かったり、遊びの中でオリジナルのルールを発案したりする形で友人グループ内では頭脳派の地位を確立。「デーモンマスターが強いやつ」「頭が良いやつ」といえばクラスの代表として名が挙がる。親からも(冗談半分ながら)いずれは弁護士か官僚かと期待されている。

■まだまだ同性の友人と遊んでいるのが楽しい時期で、女子との交流は苦手。クラスの女子からのアプローチには戸惑うしかなかった。

■姉のおっちょこちょいを疎ましがりながらも、どこか尊敬している部分があり、困った時は最終的に頼る事が多い。

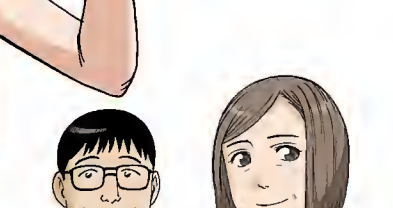
CHARACTER FILE

綾鳥 真琴
（あやとり まこと）

■ 歩鳥の従妹
■ 歩鳥より三つ年下
■ 中学1～3年生（初登場時は中2）

■中学では吹奏楽部に所属。クラリネットを吹いている。周囲からいつもにこにこしていて優しいと評されるが、周囲のスピードが早すぎて着いて行けないので取り合えず笑顔で誤魔化している時もあるという、のんびりした性格。成績はあまりよろしくない様子。

■幼馴染みの有村奏也君の事を最近、異性として意識している。



CHARACTER FILE

綾鳥 正次
（あやとり まさつぐ）

■ 真琴の父
■ 好美の夫で歩鳥の叔父
■ 旧姓「楠（くすのき）」

■好美と結婚して綾鳥家に婿入りした。好美より二つ年下。会社員。歩鳥にモンブランの万年筆を贈ったり、高いカメラを趣味で所持していたり、高級品を好む傾向があるがそれで散財するような性格ではなく、ひとつの良いものを長く使い込み味が出てくるのを楽しむ人である。

CHARACTER FILE

綾鳥 好美
（あやとり よしみ）

■ 真琴の母
■ 雪美（歩鳥の母）の妹

■歩鳥にとっては叔母にあたる。北陸の田舎の実家に住んでいる。真琴の成績が悪いのがちょっと心配。みやげ物屋で働いている。

CHARACTER FILE

綾鳥 勝則
（あやとり かつのり）

■ 歩鳥の母・雪美の父
■ 歩鳥の母方の祖父
■ 真琴のお祖父ちゃん

■北陸の田舎で暮らしている。現在定年して無職。趣味で野菜を作ったりしている。
しょうもない冗談をよくいう。
とくに夏、嵐山家が泊まりに来ている間はテンションが上がる。
歩鳥のタヌキ顔や性格はこのじいさんから受け継がれているのかもしれない。
ムー ちゃんのお祖父ちゃんとは昔からの友人。

CHARACTER FILE

綾鳥 詩乃
（あやとり しの）

■ 雪美の母
■ 歩鳥の母方の祖母
■ 真琴のお祖母ちゃん

■にこにこした穏やかな性格だが、勝則の暴走を止める時には容赦なく突っ込む。趣味で野菜を作ったり庭の手入れなどをしている。

CHARACTER FILE

磯靖 ウキ（いそはた うき）

■ 4月6日生まれ
■ 身長156センチ
■ 血液型O型
■ 旧姓「浜辺（はまべ）」磯端善治の妻

■善治の喫茶店を手伝っていたが、善治亡き後は意志を継ぎマスターになる。酒と煙草をたしなみギャンブルにも興じる元気な不良おばあちゃんといった人物。

■儲かるらしい、というザックリした情報からメイド喫茶を始め、昔から孫のように可愛がってきた歩鳥をバイトとして雇う。これまでただで食わせてきたカレー代の返済という名目で、給料から過去のカレー代を引いているという事になっているが、そんな事実はなく普通に給料は支払われている。単に歩鳥と一緒にお店がやりたかっただけと見られる。歩鳥やタッツンがいる時間帯は極力煙草を吸わないようにしている。商売柄、商店街の様々な事に精通しており、興味半分で生暖かく見守っている。面倒臭いのであまり口出しはしない。

■かつて父が仕立屋を営んでおり、店を継ぐ場合を考え洋裁を勉強したので縫い物が得意。おしゃれの店マリリンの平山、居酒屋与太郎の女将の杉山とは幼馴染み。

CHARACTER FILE

磯端 善治（いそはた ぜんじ）

■ 故人
■ シーサイドの元マスター
■ ウキの夫
■ 身長169センチ
■ 血液型B型。

■カンカン帽を被った リロひげを生やしたり、身なりにこだわるキザな性格だが元来の人好きが滲み出てか旗味は無い。ウキと結婚後、皆がコミュニケーションをとれる場が必要との思いから喫茶店を開く。尚、シーサイドはウキの実家の土地であり元は仕立屋だった。ウキの父が店を閉めてからは空き店舗になっていた。

■趣味でバイクを所持し、カスタマイズしたりツーリングに出かけたりしていた。ライダージャケットやブーツを普段着として常用したりもしていた。古道具屋、亀井堂静の祖父とはバイク仲間。シーサイドになぜか置いてあるエンジン付きキックボードも善治が趣味で買ったもの。

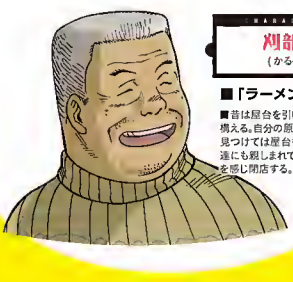
■病死後、何事か手違いにより成仏に失敗し、現在は幽霊となって商店街をさまよっては人々の会話にツッコミを入れている。

CHARACTER FILE

下沢 半蔵（しもざわ はんぞう）

■「理髪店シモザワ」の店主

■髪を切りそろえ、髭を整えた外見の通り神経質。体質なのか気を張っているのか、いくら酒を飲んでも酔い潰れず、酒豪の亀井堂静に挑まれ飲み比べをして圧勝した過去を持つ。うわばみの銭湯ウキより酒に強いため、ヤマタノオロチと呼ばれていた静を倒したという事で、以来陰で「スサノオ」と呼ばれている。一見地味だが歩鳥の散髪に失敗して髪型を変える重要人物。



CHARACTER FILE

刈部 正衛（かるべ しょうえ）

■「ラーメン大名行列」の店主

■昔は屋台を引いていたが、丸子町に店を構える。自分の原点は屋台にあると、時間を見つけては屋台も出していた。商店街の人達にも親しまれていたが経営と体力に限界を感じ閉店する。

CHARACTER FILE

亀井堂 静
（かめいどう しずか）

■ 古道具屋の実質主人
■ 8月1日生まれ
■ 身長162センチ
■ 血液型B型

■幼い歩鳥にミステリや探偵を教え込み推理の楽しさに目覚めさせた師匠的存在。歩鳥に対し探偵っぽいキャラを演じているうち板についてしまい尊大で不敵な人物になってしまった。祖父の経営していた店を引き継ぎ、古道具屋をやっている。普段の動きは鈍いが、興が乗ると車やバイクでどこへでも出かける。体を締め付けられるのが嫌いとの事で、ダボッとした服装を好む。

■小学生の頃から趣味で小説を書き始め、中学生の頃ミステリにハマる。進学校 清潔学園へ入学。ミステリ研究会に入る。そしてある日、歩鳥と出会う。大学卒業後、25歳の春に「雲丹飛行船」で第13回ファントム大賞を受賞。同年冬(26歳)に「雲丹飛行船」が出版される。28歳の夏「異形回帰」出版。尚、自分が小説家である事は周囲に隠している。磯端ウキにのみ祖父を通じてバレてしまった。

(※ファントム大賞…ミステリ文芸誌ファントムの投稿小説大賞。春と秋の年2回選出される)

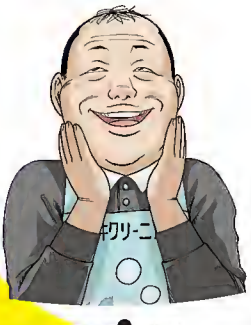
CHARACTER FILE

菊池 貴則
（きくち たかのり）

■ 丸子商店街の八百屋
■ 身長177センチ
■ 血液型O型

■魚屋の真田勇司、クリーニング屋のコブ平とは幼馴染みで、全員「敷島工業高校」出身。

■腕っ節が強く、中学生の頃から頭角を現し始め、高校入学時は既に暗嘩で名が知れ渡っていたほど。真田勇司とは暗嘩仲間であり、どっちが強いのか決着が付かないまま菊池、真田それぞれを慕うグループが集まってしまい、いつの間にか学年を二分する勢力という形になってしまった。そのため学校ではあまり親しくせず、コブ平の家でこっそり遊んでいた。他校との大きな揉め事が起きた場合などは各自、自分の派閥を納得させた上で共闘した。現在、独身で家族とともに八百屋を経営している。



CHARACTER FILE

荒井 和豊
（あらい かずとよ）

■ コブ平
■ クリーニング屋
■ 身長160センチ
■ 血液型B型

■八百屋の菊池、魚屋の真田とは幼馴染み。子供の頃から3人で仲良く遊んでいたが、気付いたら菊池と真田がワイルドサイドの友達になってしまっていた。菊池、真田のどちらの派閥にも属さず、かつ、どちらとも交流のあるコブ平を、ある種恐れを持って見る生徒もおり、そのイメージを上手く利用して不良の多い学校を生き延びた。時にはそれがトラブルの引き金になる事もありタンコブをこしらえる羽目にもなった。不良の付き合いに巻き込まれ、これまで緑の無かった不良少女と知り合う機会が出来、気の強い彼女らにいかがわしい妄想を抱くのが密かな楽しみでもあった。

■卒業後社会に出るや、人間社会は腕っ節ではないという天啓を得、それ以来ちょいちょい隙を見ては菊池と真田を馬鹿にする発言をして楽しんでいる。大概の場合気付かれて殴られる。その様子は丸子商店街の3バカとして知られる。

CHARACTER FILE

真田 勇司
（さなだ ゆうじ）

■ 身長182センチ
■ 血液型A型

■丸子商店街で鮮魚店を営む。菊池、コブ平と共に敷島工業高校出身。

■腕っ節が強く、高校時代は菊池とライバル関係にあり互いにトップを譲らなかった。学年を二分する勢力を互いに率いていた事になっているが、粗野な菊池に比べ性格が穏やかだった分親しみがあったのか、厳密に数えると真田派の人数の方が少し多いらしい。わざわざ人数を数えたのはコブ平である。高校2年生頃からスキンヘッドにするようになった。高校卒業後、髪を伸ばそうとしてみたらおでこが後退している事が判明！以来スキンヘッドを貫いている。

■その後、魚屋になり結婚もして広章が生まれたが、妻を病気で亡くす。シーサイドの婆ちゃんにご飯のおかずを差し入れてもらうなど世話を焼いてもらいながら、男手ひとつで広章を育てて来た。

CHARACTER FILE

松田 句作
（まつだ しゅんさく）

■ 交番勤務のお巡りさん
■ 9月21日生まれ
■ 血液型A型

■日々防犯パトロールに勤しむ熱心なお巡りさん。小学生だった母が金銭の落し物を交番に届けた所、小額だったためお巡りさんから邪険に扱われ警察が大嫌いになった、との話を聞かされていたので自分と関わった皆が警察を好きになって欲しいとの思いが強く、勤務の熱心さに繋がっている。

■歩鳥が高校へ入学した年に丸子町「玉川交番」に配属される。警察官の知り合いが出来てテンションが上がった歩鳥に当初散々振り回された。さらに刑事に憧れて警察官になった事が、携帯の着信を刑事ドラマの主題歌にしていたため歩鳥にバレる。「玉川交番」に勤務中、同僚の矢車巡査と共に放火犯を現行犯逮捕する手柄を上げる。

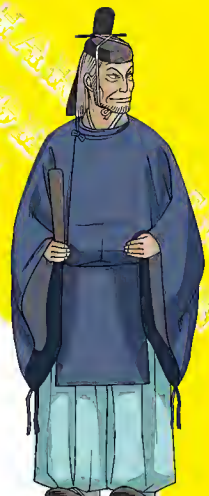
CHARACTER FILE

荒井 増代（あらい ますよ）

■ クリーニング屋
■ 荒井和豊の妻
■ 身長155センチ
■ 旧姓「柴木（しばき）」

■菊池、真田、コブ平らと同じく歌島工業高校出身。コブ平遅より1学年後輩。中学生時代から暴走族（レディース）「白無垢鉄火（しろむくてっか）」に出入りしており、高校2年で頭になる。特攻服には「暗黒上等」のつもりが、注文を間違えた悲しい事故により「暗黒両成敗」と刺繍されている。

■後に敵対していた他の3チームをまとめ上げ「AX連合（アックスれんごう）」を立ち上げる。様々なチームが一つになったという事でAtoZのつもりで名付けたのだが、どうやら時代がローマ字の最後をXだと思い込んでいたという悲しい事故によりAXとなる。イラストを描くのが好きで、AX連合のロゴマークも増代がデザインした。その際、斧をあしらい「AXは昔初から斧の意味だと言い張った。荒井クリーニングのエプロンの、シャボン玉をする羊も増代がデザインしたものである。現在はすっかり良い奥さんだが、ふとした時に暴走族（レディース）時代の顔を垣かせる事も。

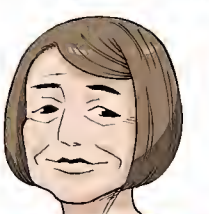


CHARACTER FILE

八代 辰巳
（やしろ たつみ）

■ 丸子商店街にある大きな神社の神主

■狐のように釣りあがった目をしていて寡黙なため冷たい人物に見えるが、酒が入ると一転し上機嫌なオッサンに変貌する。どうやらそちらが本性のようで、商店街のイベント等にも積極的に参加している。多忙な時期は巫の重挙に巫女のアルバイトをしてもらっている。



CHARACTER FILE

杉山 志乃枝
（すぎやま しのえ）

■ 居酒屋「与太郎」の女将

■旧姓「森高（もりたか）」。ウキ、マリリンの旧友。息子が一人いるが、あまり家には居付かないらしい。ウキと同じく、酒好きの愛煙家である。

CHARACTER FILE

平山 麻里
（ひらやま まり）

■ 洋服店
「おしゃれの店マリリン」の店主

■なぜか平山マリリンと名乗っているが、本名は麻里だし日本人である。旦那ウキ、与太郎の女将の杉山とは幼馴染み。友人の二人いわく、若い頃はとんでもない美人だったとの事。幾多の男性と浮名を流したが、現在独身。

CHARACTER FILE

河井 郁子
（かわい いくこ）

■ アパート河井荘の大家

■アパート河井荘の大家。友人を介して紺桐絵（紺先輩の母）と知り合い、双葉の面倒を見る事を引き受ける。隣の部屋に紺先輩を住まわせて、時々無事を確認している。

尾谷高校

CHARACTER FILE

辰野 俊子
（たつの としこ）

■ 9月10日生まれ ■ 血液型B型
■ 身長164センチ

■歩鳥のバイト仲間。メガネのメイド。通称「タッソン」視力が弱く乱視も入っているのでメガネをかけてないと視界がぼやける。髪を少し茶色く染めている。美人でスタイルが良く、とくに胸は目立つ。左利き。ペンを持つのも歩鳥を突っ込むのも左手。食事の作法だけは子供の頃に矯正されたので右利きの作法で食べる。

■少年漫画「退魔戦線」を入り口にオタクになる。漫画原作のミュージカルに行ったり、声優のライブに行ったり、マイナーカップリングがどうしたこうしたと楽しんでいるが周囲には秘密である。自分が美人なのを自覚しており、コスプレやメイドカフェにも興味があったため、歩鳥のバイト先であるメイド喫茶シーサイドを訪れた。

■南第三中学出身。中学時代は卓球部に所属していて、その容姿の良さと長い足でフワリとしたステップを踏む様から「南三中の妖精」と呼ばれていた。主に福沢晶から。

■隣町の住宅街にある三階建ての一軒家に住んでいる。中学生の弟の部屋には無断で自由に出入りするが、弟が自分の部屋に入って来た場合は怒る。無断で立ち入るなど御法度。しかし弟にだけはオタク趣味を隠していない。

■部屋のベッドの上を階段が通っていて天井が斜めになっているのでたまに頭をぶつける。鳥桃祭が弱く、季節の変わり目によく風邪を引く。

CHARACTER FILE

輪島 祥子
（わじま しょうこ）

■ 身長160センチ ■ 血液型B型

■歩鳥の友達グループの一人。豪快なお母ちゃんキャラ。通称「ワジ」「親方」。むやみに頼もしいため男子からも女子からも「A組のオカン」とか「親方」と呼ばれ、本人も喜んで受け入れている。ノリが良い反面、調子に乗ってか周待に応えてか危険な行動に走る事がたまにある。

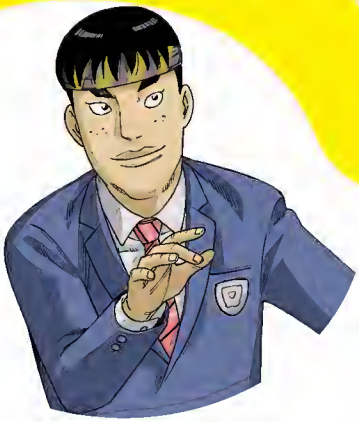
CHARACTER FILE

針原 春江（はりばら はるえ）

■ B月7日生まれ
■ 身長161センチ
■ 血液型AB型

■歩鳥の友達。南第三中学卓球部出身。尾谷高校でも卓球部に所属。スポーツが好き。メリハリの利いた体を作っており、そのバネを駆使して放たれるドライブは高い得点力を誇る。中学生時代は「南三中の死神」と恐れられていた。主に福沢晶から。

■面倒見が良く同性と後輩からよく好かれる。場が盛り上がっていてもハメを外さない性格で、歩鳥の友人グループのたるんだ空気を引き締める。スポーツを観るのも好き。とくに卓球、テニスなどの一対一の球技や、柔道、空手、ボクシングなど一対一の格闘技など。タッソンとは中学生の時から仲が良く、彼女の趣味についても知っている。家族とマンションに住んでいて、そっくりな顔の大学生の兄がいる。



CHARACTER FILE

七瀬 影光
（ななせ かげみつ）

■ 身長177センチ

■歩鳥と同じクラスの男子。趣味は漫画とアニメ。本人も漫画を描いている。同じクラスのタッツンの事が好き。恋愛感情というより憧れ、理想、などに近い。密かにタッツンをノートにスケッチしていた所を歩鳥に見つかり弱みを握られ、タッツンの写真を売りつけられたりしている。「辰野俊子は現実というよりアニメに近い存在」との事。それに対し歩鳥が「私は!?」と問うた所「…君の顔は昭和の漫画だな」との返事を返し歩鳥を憤慨させた。また、入学早々に歩鳥から「まるで影の生徒会長みたいな名前だね」といわれた事を七瀬は忘れない。

CHARACTER FILE

福沢 晶（ふくざわ あきら）

■ 12月27日生まれ
■ 身長155センチ
■ 血液型O型

■南第三中学卓球部出身。中学時代は友達に誘われてなんとなく入った卓球部で天才的な才能を発揮する筈だったが、そんな事は無く、高校では女優をめざして映画研究会に入った。自分の顔に独特の可愛さがあり、人気が出ると踏んでの事らしい。映画研究会は主に自主製作、映画の情報交換など、どちらかというと技術的な興味を追求する部活だが、どうして女優と結びついたのかは福沢のみぞ知るところ。しかし自主制作映画に出演したり、撮影や編集の手伝いをしたりと楽しくやっている。

■歩鳥を超えるおっちょこちょいで、そのドジは額が残る怪我をするほどの勢い。中学時代は頭を打って気絶するようなコケ方をし、高校では顔面を切る怪我をした。ボクシングを習っている川皇実という同い年の彼氏がいる。川島とは中学時代の同級生。高校は別々。

CHARACTER FILE

海老州 舞
（えびす まい）

■ 10月11日生まれ
■ 身長157センチ
■ 血液型A型

■歩鳥の友達グループの一人。さばさばした明るい女子。通称「マイちゃん」。アーチェリー部に所属しており背中も腹筋も引き締まっている。例えるならCMの動物キャラのような可愛い声をしている。高校1年生の夏に一緒にプールに行って以来、浅井の事が気になっていてさり気なく接触をはかっていた。「エビシューマイ」と呼ぶと怒る。

CHARACTER FILE

真田 広章
（さなだ ひろゆき）

■ 2月16日生まれ
■ 身長172センチ
■ 血液型A型

■丸子商店街の魚屋の息子。歩鳥の幼馴染み。歩鳥と同じく、比音小学校、本板中学校を卒業。中学時代はサッカー部だった。

■歩鳥に惚れている。近所のよしみで幼い頃は歩鳥とよく一緒に遊んでいたが「女なんかと遊ぶかよバーカ」と袂を分かって以来、中学で同じクラスになるまで疎遠気味に。その頃から本格的に歩鳥を意識し始め、高校生になる頃には完全に恋に落ちる。

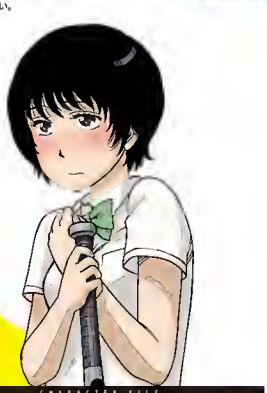
■浅井から「モテないブラザーズ」に強制加盟させられるほど女っ気が無いが、決して全くモテないわけではない。中学生の頃は女の子のようだったといわれる程整った顔立ちをしていて、実際いい寄る女子もいたし、密かに想ってくれている子もいたであろう事は想像に難く無い。現にタッツンも真田の事が好きである。ただ、困った事に歩鳥しか見えていない。一途といえば聞こえは良いが、その視野の狭い不器用な様がまたモテないオーラをまとってしまうという「モテないスパイラル」に陥った男子。魚釣りが趣味。父や友達と釣りに行く事もあれば一人で行く事もある。家の手伝いで慣れているので魚の扱いは上手い。

CHARACTER FILE

鈴木 隆洋
（すずき たかひろ）

■ 6月5日生まれ
■ 身長174センチ
■ 血液型B型

■真田の友達。真田とは高校入学後、席の並びが近かったため仲良くなった。映画研究会に所属。映画が好き。とくに日本の仁侠映画、特撮、自主制作映画などが好み。外見から大人しく真面目そうに見えるが、テレビ屋が作った日本映画を憎んでおり、邦画の将来に話が及ぶと割と物騒。日本映画界の浄化と革命を望み、将来は映画監督を夢見ている熱い男である。



CHARACTER FILE

丹波 凛（たんば りん）

■ 3月15日生まれ
■ 身長150センチ
■ 血液型AB型

■歩鳥より一学年下。映画研究会所属。鈴木の後輩。内向的で引っ込み思案。顔を隠すように下を向いているが、実はとても可愛らしい。子供の頃に従兄弟と観た怪獣映画がきっかけで特撮にハマり、怪獣のソフビ人形を集めたり自分でオリジナル怪獣を工作したりしていたが、周りの同性の友達が誰も理解してくれずうつむいてしまった。いつか怪獣映画を撮り特撮の中で日本を壊滅させようと心の火を燃やし続け、高校で映画研究会に。そこで鈴木と意気投合。いつしか悪心を抱くようになる。

■悪堕した時期を過ごしたせいか理解できない（してくれない）相手は拒絶する傾向にあり、感情が昂ぶるととんでもない行動に出る事もある。鈴木と付き合い始めてからはだいぶ明るくなり、意識して顔を上げるようになった。

CHARACTER FILE

浅井 幸介（あざい こうすけ）

■ 11月18日生まれ
■ 身長180センチ
■ 血液型O型

■真田の友達。高校で真田と出会い仲良くなる。趣味で筋トレをしている。裏表が無い性格で、女性に嘘が無い自らを「モテないブラザーズ」と名乗る能天気な男。「モテ紳士」という理想の何かを目指している。

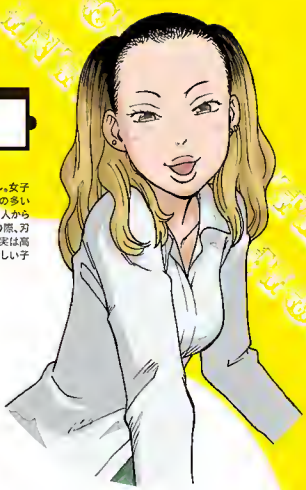
※「モテないブラザーズ」／当時彼女がいなかった鈴木と真田を巻き込んで浅井が勝手に結成。3年目の4月に鈴木が脱退。同年5月に浅井が脱退。残された真田が紙崎先輩を巻き込んで「新生・モテないブラザーズ」を勝手に結成。

CHARACTER FILE

白崎 里沙
（しらさき りさ）

■ 身長158センチくらい

■歩鳥と同じクラスの女子。陰で「ハデ組」と呼ばれているギャル。女子との交流に慣れていないウブな男子をわざと挑発したり、露出の多い格好をしたり、軽率な行動を取るのでクラスから浮いている。大人から見ると何を考えているのかわからない危うさがある。調理実習の際、刃物や火の注意喚起で歩鳥より先に名前が挙がるほど。しかし、実は高校デビューで、中学生まではゲーム(とくにRPG)が好きなおとなしい子だった。森にギャルの才能を見出され暗黒面に落ちる。



CHARACTER FILE

森 智佳（もり ともか）

■ 身長156センチくらい

■歩鳥と同じクラスの女子。ハデ組。中学生の頃から素行がハデだった根っからのギャル。楽しければ良い、若いんだから良い、というタチの悪い信念に基づき軽率な行動を取る。白崎、大塚兎好(おおつか きゃろ)と仲が良い。

CHARACTER FILE

呉 良子
（くれ よしこ）

CHARACTER FILE

目組 珠笑
（めぐみ たまえ）

CHARACTER FILE

渡瀬 愛
（わたせ あい）

■ 紺双葉のクラスメイト達

■クラスに馴染もうとしない容姿端麗な紺先輩を、やっかみ半分で「スカしてて鼻につく」「きっと性格悪い」と根拠の無い理由を付けて遠っていたが、体育祭のリレーを全力で走る姿を目にしてあっさり軍を返す。それ以来、学校以外でも遊ぶようになり、受験のシーズンには励まし合った。しかし出来上がった関係は、紺双葉の友達というより取り巻きといった方が近いものになった。

CHARACTER FILE

紺 双葉
（こん ふたば）

■ 9月8日生まれ　■ 体重（歩鳥より10キロ近く軽いらしい）
■ 身長153センチ　■ 血液型A型

■祖父がイギリス人のクォーター。歩鳥の親友。歩鳥より一学年先輩。両親がイギリスへ渡る事になったため、高校入学と同時にアパート河井荘で一人暮らしを始める。「コバン」と名づけたオスの猫(キムリック)を飼っている。

■趣味は音楽。ミュージシャンは皆好きとの事だが、とくに80年代の日本のニューウェイブ系が好み。いつか自分もバンドをやる事を夢見てベースを練習している。

■中学時代、親友に裏切られたトラウマから人付き合いが苦手。高校入学後もクラスに馴染めなかった。
元からパンクなファッションが好みだったが、高校1年の時に髪を金髪に染め、制服にもそういったファッションを取り入れるようになった。左右の耳に6〜7個のピアス穴を開け、徐々にパンク度合いもエスカレートしていき、ますますクラスから孤立する。

■南第三中学卓球部出身。高校でも卓球部に所属。少ない友人である針原と辰野の入部を待つためと、座成に対する意地で高校でも卓球部に入った。運動神経が良く、卓球の腕前もなかなかで中学時代は「南三中の魔王」と呼ばれ恐れられた。主に福沢晶から。大小の大会で上位成績を収め、何度か表彰されている。その際もらった記念品は下宿の棚の上に並べてあり、少なからず嬉しかった様子がうかがえるものの エアコンのリモコン入れにするなど、照れ隠しでぞんざいに扱っている感も演出している。

CHARACTER FILE

城嶋 悟
（じょうしま さとる）

■ 11月17日生まれ　■ 血液型A型
■ 身長174センチ

■真田の友達。紺先輩と同じクラスの不良少年。通称、尾谷高校の守護神。真田とは、小学生の頃の遊び仲間だったが、家がちょっと離れたマンション(出森マンション)に引越したため中学は別々になる。その間も交友は細々続いていた。真田の服装が若干不良っぽいのはこの人の影響。

■律儀でマメな性格。困っている人を放っておけない。中学の途中まで空手を習っていたが道場が潰れたので、以降は独自の方法で鍛えている。「城嶋君を突破されたら尾谷高校は陥落する」と男子生徒らが冗談めかしている通り、不良の少ない尾谷高校において他校とトラブルになった際の矢面に立てる唯一の男。ただしトラブルの種を作るのは大概の場合相方の山口である。

CHARACTER FILE

山口 克也
（やまぐち かつや）

■ 1月10日生まれ　■ 血液型B型
■ 身長176センチ

■紺先輩と同じクラスの不良少年。城嶋の親友。中2以来1ヶ月以上彼女がいなかった事が無い、との事。ナンパと喧嘩が好きな少々危なっかしい性格ゆえ、トラブルに巻き込まれる事も少なくない。高1の時、女性がらみで不良グループと揉め事になった際、城嶋に助けられる。以来、行動を共にするようになった。軽薄そうに見えるが彼女がいる間は浮気をせず楽しませようと一途に尽くす。髪はモヒに近い深めのツーブロックになっている。

CHARACTER FILE

室伏　涼
（むろふし　りょう）

■ 10月9日生まれ　■ 血液型A型
■ 身長158センチ

■歩鳥よりふたつ年上。尾谷高校在学中は美術部に所属。抽象画を描いている。美大に進学を望むも志望校に受からなかった。翌年の受験に備えて絵の勉強に集中するとの事で、両家の兄が一人暮らししているマンションに転がり込む。卒業後も尾谷高校を訪れては美術顧問の宮崎先生から絵を習い受験に備えていたのだが、その最中「東京都現代絵画展」に出展した絵が最優秀賞の評価を得る。最早大学へ行く理由は無くなったとばかり、兄の部屋で絵の制作に没頭する。

■「ビビッと来る」事、つまりは創作の刺激を常に求めている。そのためには少々の危険や犠牲は仕方が無いと思っているフシがある。全裸で実兄の絵のモデルになったのも、何らかの感情や状況の変化を期待しての事である。

CHARACTER FILE

森秋　夏彦
（もりあき　なつひこ）

■ 11月29日生まれ
■ 身長176センチ
■ 血液型A型

■尾谷高校の数学教師。歩鳥のクラス、A組の担任。小学2年生の頃、先生に割り算の「余り」を柿の種に例えられうやむやにされた経験がずっと引っかかっていて理系へ。いつしか数学教師になっていた。都内のマンションに一人で暮らしている。鎌倉市にある実家は、森秋部前というバス停留所ができそうほどバカでかい屋敷(歩鳥談)。

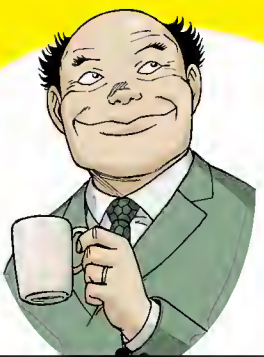
■理解できないものが目の前にある状況が嫌いで、考えてもわからない事に直面すると答えを求めて誰かに相談する。あまりに理解に苦しむと精神を病む。オカルトやSFは嫌いというが、野球の応援に熱が入ると「根性だ」「奇跡を よべ」「ツイてない」などと口にする。

CHARACTER FILE

西　美波
（にし　みなみ）

■ 2月4日生まれ
■ 身長157センチ
■ 血液型O型

■尾谷高校の体育教師。C組担任。応援団の顧問。職員室では淑女のように振舞っている(つもり)が、放課後の校舎ではたぴたぴチンピラのような歩き方をしている姿が目撃される。生徒らと目線が近くあけっぴろげなので人気があり、女生徒から誰にもいえない秘密の相談を持ちかけられる事もある。男子生徒の中には、西先生に彼氏がいない事を弄りつつも真剣に惚れてしまっている者も。森秋先生の事が好きで、時にさり気なく、時に大胆にアプローチしている。



CHARACTER FILE

亀田 誠司
（かめだ せいじ）

■ 身長165センチ
■ 血液型B型

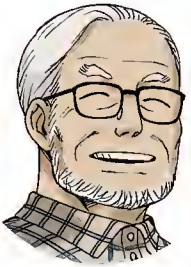
■尾谷高校の歴史教師。B組担任。通称「スッポン」。説教のスイッチが入ると長くなるのと行動がいちいちおじさん臭いせいで敬遠されがちな先生。しかし愛妻家な面を知り親しみを持つ生徒もおり「亀ちゃん」などと呼ばれることもある。

CHARACTER FILE

溝口 奈美子
（みぞぐち なみこ）

■ 7月3日生まれ
■ 身長163センチ
■ 血液型AB型

■尾谷高校の音楽教師。美人なのだが、何が悪かったかを質問し一旦答えさせて否定するスタイルの嫌〜な説教の仕方をするため付いたあだ名が「ナメ子」。ナメクジのように陰湿だからというのが由来。説教をされた事がない生徒や、説教されるような事をする方が悪いと考える生徒にしてみれば、普通に美人教師である。



CHARACTER FILE

宮崎 勉
（みやざき いさお）

■ 身長16Bセンチ

■尾谷高校の美術教師。美術部の顧問。校内は基本的に禁煙なのに美術準備室でタバコを吸っている。

■それを真似た生徒がこの部屋に侵入し喫煙している現場に鉢合わせ、激怒した事がある。その時のセリフは「おい！！燃える物(油彩のオイルやシンナー等)があるんだから気をつけろ！」だった。

CHARACTER FILE

芹沢 勉
（せりざわ つとむ）

■ 身長174センチ
■ 血液型A型

■尾谷高校の科学教師。D組担任。電算部の顧問。パソコン関係にも強く、コンピュータ関連の授業も受け持つ。そのイメージと、どことなく浮世離れした風体が結びつき生徒の間で「サイボーグ」と呼ばれている。実は映画、漫画、ゲームなどが好き。

■森秋先生とはプライベートでも付き合いがある。その延長で学校でもつい呼び捨てにしたりタメ口で話してしまい森秋先生からたしなめられる。芹沢先生の方が先輩という事もあり、森秋先生はどっちにせよ丁寧語で話す。尾谷高校の卒業生。在学中は映画研究会に所属していた。

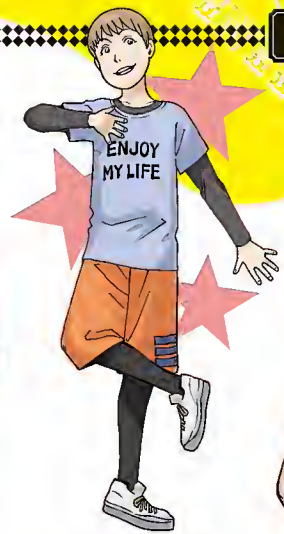
ゲスト

CHARACTER FILE

牧田 隼人
（まきた はやと）

■ タケルの親友

■タケルの友達グループのリーダー格。すきっ歯。通称「マッキー」。面白い事を提案するのが上手い。それを期待していつも周りに友達が集まっている。学校へ最初にデーモンマスターカードを持ち込んだのも、交換ノートを始めたのもマッキーである。彼のやる事は必ずブームになる。そしてジャンケンで必ず最初にチョキを出す。他の子より良い服を着させられる程度に家がちょっと裕福。



CHARACTER FILE

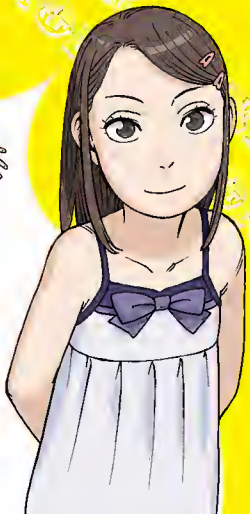
勅使河原 ケント
（てしがわら けんと）

■ 12月14日生まれ
■ 血液型B型

■エビちゃんと同じく子供服ブランド「Filly」のモデルをしている少年。本名は漢字で「勅使河原 剣斗」。

■エビちゃんより二つ年上。こちらは社長の知り合いとかではなく、モデル事務所を通じて派遣してもらったタレントの卵。

■今、力を入れているレッスンはダンス。



CHARACTER FILE

伊勢崎 恵梨
（いせさき えり）

■ 8月22日生まれ
■ 身長130センチくらい
■ 血液型AB型

■タケルと同じクラスの女子。女子のリーダー的存在。女子からは「エビちゃん」男子からは「イセエビ」などと呼ばれる。男子の愚行を目ざとく見つけて注意する気の強い女の子。バトン部に入っている。

■母は雑誌の記者をしている。母の知人が社長を務める子供服ブランド「Filly」のカタログモデルを務める。

■母子家庭

CHARACTER FILE

山本 謙二
（やまもと けんじ）

■ タケルと同じ学年の男の子

■タケルとはクラスが違う。中学生の兄にカードゲームの腕を鍛えられたため小学生離れした本格的なプレイができる。兄は強すぎるし同級生の友達は弱すぎて寂しい思いをしていた所、対等な実力のタケルと出会い意気投合する。以来、大の仲良しに。学年で一番絵が上手い。

CHARACTER FILE

八代 亜季
（やしろあき）

■ 8月29日生まれ
■ 160センチ

■歩鳥の本板中学時代の友人。通称「アキちゃん」。歩鳥は気付いていなかったが、丸子商店街の神社の神主、八代辰己の娘。年末年始の忙しい時には巫女のバイトをしてお小遣いを稼いでいる。校則が厳しい事で有名なお嬢様校「聖ヘレンズ学院」に通っているため巫女は家の手伝いという事になっている。

CHARACTER FILE

林田 晴海
（はやしだ はるみ）

■ 9月26日生まれ

■歩鳥の本板中学時代の友人。通称「リンダ」。ちょっとハデ。制服が気に入ったという理由で選んだ高校に進学。

CHARACTER FILE

辰野 虎太郎
（たつの こたろう）

■ 2月8日生まれ
■ 身長165センチくらい
■ O型

■初登場時は中学3年生。タッツンの弟。タッツンより2歳年下。姉と同じく漫画・アニメ・ゲームが好き。オンラインゲーム「イマージュオンライン」にはとりわけ熱中し、一時期「大牙一太郎（たいが　いちたろう）」というキャラ名で暴君として君臨していた。笹本恭一（ささもと きょういち）という友人がいる。

CHARACTER FILE

有村 奏也
（ありむら そうや）

■ 血液型B型
■ 北陸の田舎の少年

■初登場時は中学1年生。真琴の後輩。吹奏楽部でフルートを吹いている。家が近所で祖父の代から付き合いのある綾鳥家の真琴とは、姉弟のように育った幼馴染みだったが最近異性として意識し始める。綾鳥家の犬アイネの子、クライネを真い受け飼っている。頭がよく見かけによらず運動も好き。真琴ちゃんの騎士（ナイト）としてふさわしい、と歩鳥が認めた少年。

CHARACTER FILE

座成 佑茉
（ざなり ゆま）

■ 6月7日生まれ
■ 153センチ
■ 血液型B型

■住まいに団地型マンション「エステートDEN」。商第三中学卓球部出身。紺先輩よりひとつ上の先輩。中学一年生だった紺と体育倉庫で偶然出会い、彼女を卓球部に誘った。以来なにかと世話を焼き、時には紺が二の足を踏んでいたライブハウスへ付き添い、ある日には連れ立って楽器を買いに行き、消極的な紺にとって心から信頼できる存在になる。座成も紺が自分にだけ心を許している事に喜びを覚えていた。

■しかし、卓球で頭角を現し始めた紺にレギュラーの座を奪われ関係が一変。同学年の部員と結託し紺に苛烈ないじめを繰り返すようになる。

CHARACTER FILE

紺 桐絵
（こん きりえ）

■ 身長170センチ
■ 血液型A型
■ 旧姓「Graham（グラハム）」

■紺先輩のお母さん。イギリス人の父「Kevin（ケビン）」と日本人の母「菜子（ようこ）」の間の子。実家も生まれもイギリス。本名は「Kylie」だが日本での暮らしの便宜上名前には漢字を当てている。発音もキリエではなくカイリーに近い。気象研究を通じて伝助と出会い、後に結婚。双葉が生まれてからは研究の一線から退き伝助の研究チームのサポートに回る。現在、パート扱いで気象研究所に所属。

CHARACTER FILE

室伏 清
（むろふし きよし）

■ 身長170センチ
■ 血液型B型

■涼ちんより7つ年上の兄。画家。画家としてはまだ若いが、個展をきっかけに作品が本の装丁に使われるなど徐々に注目され始める。美大に講師として来ていたそこそこ有名な画家に弟子入りしたが、画家の世界のシステムが汚れている事を説かれ、もっと有名な画家に弟子入りする事を勧められた。その事で迷っているせいか、初登場時の表情が暗い。涼ちんいわく「ぬぼーっとして見えるが痩せてた時はイケメンだった」との事。

CHARACTER FILE

紺 伝助
（こん でんすけ）

■ 12月4日生まれ
■ 身長162センチ
■ 血液型A型

■紺先輩のお父さん。気象庁の研究員。台風の研究をしている。オックスフォード大学での研究プロジェクトに参加するため桐絵と共に渡英。3年の研究の後、帰国し気象研究所に勤めている。パイプタバコをたしなむ。職場では吹かせないので禁煙用のパイプをくわえている。

CHARACTER FILE

恩田 ユキ
（おんだ ゆき）

■ 誕生日不明
■ 身長160センチくらい
■ 血液型不明

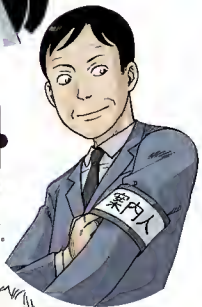
■神主の八代辰己が約30年前に名前を聞き間違えたため恩田ユキさんだと思われていたが、実は雪女さん。ある夏、八代と恋に落ちるが東京の夏は体に堪え日に日に生気を失ってしまう。静養のため青森へ帰り、雪女の感覚としては半年くらい休を休めて帰って来たところ30年もの月日が流れていた。

CHARACTER FILE

黒崎 優香
（くろさき ゆうか）

■ 4月29日生まれ
■ 身長158センチ
■ 編集者

■大手出版社「芳芽（ほうが）出版」文芸部、ファントム編集部の部員。門石侮和を含むミステリ作家の担当編集者。門石とは同い年なせいか特に仲が良い。門石と一緒に取材に行くため、大学卒業以来数年乗っていなかった原付バイクに再び乗り始めた。



CHARACTER FILE

原五十 篆
（はらいそ ごう）

■ 天国の総合庁舎「天庁」の職員

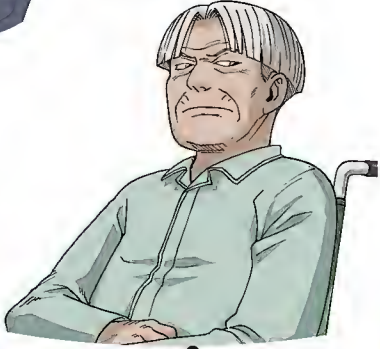
■入国手続きの案内をしている。急な死に方をして状況が把握できていない人や、天国に不慣れな人のサポートをして天国での暮らしをお手伝いをする。

CHARACTER FILE

薪 雀
（まき すずめ）

■ ユキコの初恋の相手

■父の名は「つよし」。父と共同でひとつの携帯ゲーム機を使っている。通信用のアバターは自分の分もあるのだが、いちいち設定を変えるのが面倒なので「つよし」のままにしてある。父が作ってくれたアバターが似てなくて気に入っていないというのも、変えない理由の一つ。ある夏ユキコが一目惚れするが、すでに遠くへ引越しが決まった後だった。そもそも、男の子ではなかった。



CHARACTER FILE

伊藤 益尚
（いとう ますなお）

■定年後、事故で下半身不随になり入院している。

■車椅子で談話室や待合室に出かけていって自分より不幸な話を探すのだけが楽しみという悲しい爺さん。

CHARACTER FILE

6年校舎の幽霊
（ろくねんこうしゃのゆうれい）

■ 比音小学校に出る幽霊。

■6年校舎での目撃情報が多いが、ある程度動き回れ一瞬なら人間に干渉する事もできる。

■その際触れた箇所に血と泥が混じったような手形を残す。

■正体不明。未解決。

CHARACTER FILE

帆村 拓間
（ほむら たくま）

■ 逮捕時36歳
■ 無職

■納得いかない自分の境遇への不満を、不特定多数の他人に向けてしまった哀れな犯罪者。放火の現行犯で逮捕される。

CHARACTER FILE

神崎 アキト
（かんざき あきと）

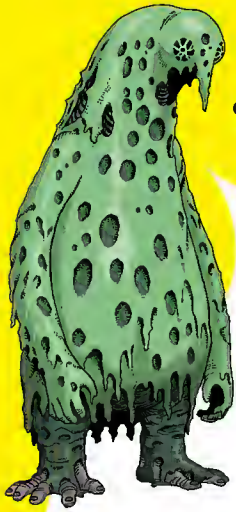
■ ミュージシャン

■20年位前にちょっと売れたバンドでシンセサイザーを弾いていた。バンド解散後は個人名義で作曲活動やライブを行っている。諸先輩のお勧めは
- 「燃え尽きてHigh（ハイ）」男子バレーボール公式応援ソング
- 「うたでおぼえる日本の歴史」
- 「DULL QUEST」シリーズのサントラ など。

CHARACTER FILE

光福座
（こうふくざ）

■杉立（すぎたち）美術大学の演劇部。杉立美術大学には劇団がふたつ存在し、一方は演技・芝居を主とした団体。こちら「光福座」は芸術表現やダンスに特化した団体。大学の一部学生らが廃村を保存利用する活動に取り組んでおり、光福座も広めの民家を改装して稽古場に使っている。過去に事故で部員が一名亡くなっているのは事実である。



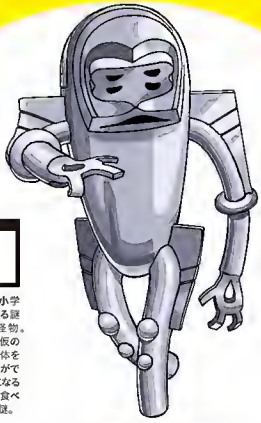
CHARACTER FILE

モマン

CHARACTER FILE

国見 鳴彦
（くにみ なるひこ）

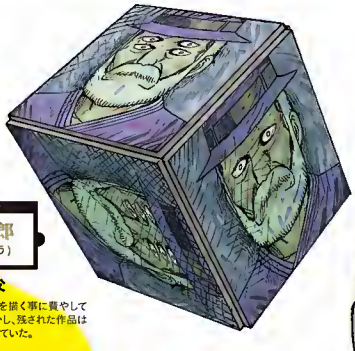
■少なくとも10年くらい比音小学校の用務員として潜伏している謎の怪人物と、藻をまとった怪物。「モマン」はタケルが命名した仮の名前。「モマン」は水があれば体を藻状に分解して溶け広がる事ができる。完全に乾くと仮死状態になるが、水があれば生き返る。魚を食べる。その他、出生や目的などは謎。



CHARACTER FILE

硬宇宙人
（かたうちゅうじん）

■宇宙のどこかにある星の、めちゃくちゃ硬い生物。手足など一見粘土のようにくねくね動くが、たとえ地球のトンカチで叩いても傷ひとつ付かない。かつて地球に不時着した事があり、その時助けてもらった事を恩に感じ友好関係を築いているというが、何分意思疎通ができていないためやや一方的な形になっている。タングステン鋼より硬い金属のような食物をチーズのように食べる。

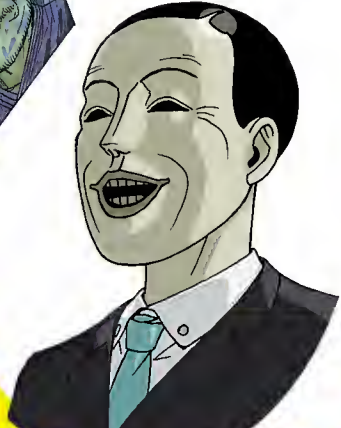


CHARACTER FILE

森秋 耕三郎
（もりあき こうざぶろう）

■ 森秋先生の祖父

■余生を趣味の博打と絵を描く事に費やして亡くなった遺産家さんしかし、残された作品は悪意に満ちた研究に彩られていた。



CHARACTER FILE

宇宙セールスマン（うちゅうせーるすまん）

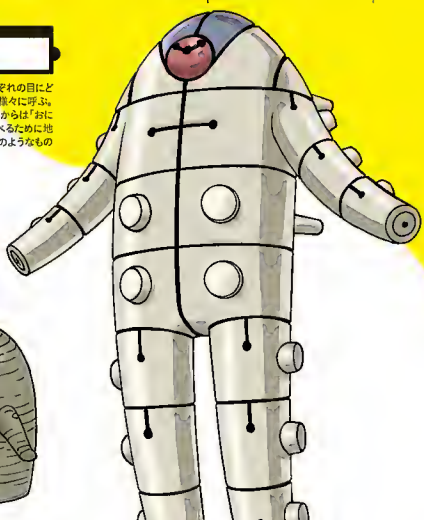
■宇宙を股にかけて商売をしている大手宇宙通販会社の社員。相手の記憶を消す事ができる「フォゲットんから」の注文があり地球に来たが、皮肉な事に地球人から記憶を消す為を盾られ取引用の商品をどこかに無くしてしまう。

■トラブルを避けるため潜入する星の生物と同じ姿に擬態できる。人間にしては仮面のように不自然なのはディテールの認識が甘い為である。もっと器用なセールスマンなら自然な姿に擬態できる。逆にもっと不器用だと…。

CHARACTER FILE

おにぎり

■人間の言語では表現できない、しいていえば高次元の存在。それぞれの目にどんな姿で映っているかも不明。名前の概念も無く目撃した人たちが様々に呼ぶ。宇宙人、フライングヒューマノイド、未来人、くだん、ツクヨミ…、歩鳥からは「おにぎり」といわれる。大量の命が失われる事を知った人間の選択を調べるために地球に来た。おにぎりにとってこの調査は、ファンコロガシの生態の研究のようなもので人間の命の重みや感情は理解していないし、選択よって大きく地球の未来が変わる事も眼の果が一個無くなるかどうか程度の事である。歩鳥が説明を聞かず押そうとしたスイッチを慌てて取り上げた際、スイッチの設定がずれてしまい、本来消滅する筈だった歩鳥が帰って来てしまったが、石の下のダンゴムシの数くらいどうでもいい事である。それが高次元というものである。

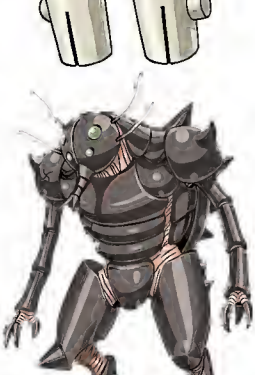


CHARACTER FILE

木星人（もくせいじん）

■ 身長、角の先まで入れてだいたい50センチくらい　■ 木星の生物

■独自の文化を持ち集団生活をしている。人を疑う事を知らない性格で、木星を調査していた地球の無人探査機を熱烈に歓迎した。発光する球「ハオリペイ」を携えている。何でできているかわからないが腹連で便利な程度に光る。高い所の物に触れたりするのにも使える。まぁまぁ丈夫だがあまり無理な力を加えると折れる。自分の「ハオリペイ」が折れるとへこむ。



CHARACTER FILE

白宇宙人（しろうちゅうじん）

■ 身長約240センチ

■後頭部先端まで含んだ数字なので実際はもう少し低く見える。宇宙の中では後進的な星の星人。体がスーツ状に進化しているので身一つで宇宙飛行が可能。彼の星では凄まじい宇宙エネルギーを生み出す事に成功したが、それに伴い出る超猛毒の宇宙廃棄物の処理に困っている。物体を破壊するのではなく亜空間へ消し飛ばす「ケズリガン」という銃があると聞き、宇宙の方々を探し回っていた。地球周辺にてやっとの思いでケズリガンを手にするが宇宙警察に見つかり揉み合いになり、取り落とす。

CHARACTER FILE

黒宇宙人（くろうちゅうじん）

■ 身長約210センチ

■やや前傾姿勢なので実際もう少し低く見える。宇宙警察の一人。右肩のマークは正義のしるし。木星人とも同盟を結んでいる。体質的に身一つで亜空間移動が可能。今は黒宇宙人しか自由に入り込めない亜空間だが、いずれ宇宙の未来には皆が出入りできるようになると考えており、そこを廃棄物で汚させるわけにはいかないと、白宇宙人の星にケズリガンが渡る事を阻止しようとしている。あわよくば銃の事を忘れさせようと目論んでいる。

■地球上空にて件の銃を手にご満悦の白宇宙人を発見し揉み合いになった。その際地球に落下したケズリガンを探している。また、銃には本来「ヤリナ石(いし)」という復元装置もセットで付いていた筈なので、それも探している。

再読の手引き

「それ町」という作品は、漫画でしか出来ない、という事を常に意識して描いて来ました。

それは「あせりの汗」や「怒りの蒸気」などの漫画的記号だったり、面白い擬音の表現といった絵的な物から、読み返したときに初めて気付くような仕掛け、ある事実を踏まえると読み味が変わってしまうという構成的な仕掛けなど色々です。とりわけ「漫画」は読み返しをしてもらいやすいメディアなので、繰り返し読む事で発見されるような仕掛けを多く取り入れた様に思います。ここでは各話の思い出と共に、再読の折のガイドになりそうな事を綴っていければと思います。本書冒頭にも書きましたが、ここからはとくに制作サイドからの視点を含んだ身も蓋もないネタバレや裏話が含まれますのでご注意ください。尚「再読の手引き」は、ライターの高木氏、現担当・星野氏の二人を交えた座談会形式で収録した物を著者が再構成し作成しました。

GUIDE FOR SECOND READING

SOREDEMO MACHI HA MAWATTEIRU
OFFICIAL GUIDE BOOK KAIRANBAN
MASAKAZU ISHIGURO PRESENTS

SOREDEMO MACHI HA MAWATTEIRU
OFFICIAL GUIDE BOOK KAIRANBAN
MASAKAZU ISHIGURO PRESENTS

1巻

第001話「至福の店ビフォア」

歩鳥のバイト先、商店街にある謎のメイド喫茶にクラスメイトの辰野さんがやって来る話です。

全巻を通して見ると「それ町」は歩鳥のバイト先にタッツンが来る事で始まり、去る事で終わります。

1巻P9目のバイト先でタッツンを迎える構図は、タッツンがバイトを辞める回でも使っていますので再読の際は見比べてみてください。

場がどんなにフザケていても一線を越えない根が真面目な針原さんの姿も1話目にして健在です。

細かい所では、冒頭で真田君が使っているシャーペン。宿題を写す時に歩鳥の手に渡り、以降「買った覚えも無いのにいつの間にか持っていたシャーペン」として所持する事になります。

1話目は雑誌掲載時、頭の数ページがカラーでした。この新連載1話目のカラー原稿をやっている大事な時に人生初のインフルエンザにかかりました。

カラーのデータを取りに来た初代担当の厳重なマスク姿と、そそくさと退散する様は忘れません！

単行本にカラーからモノクロに色落ちした漫画が載ってるのが個人的に好きじゃないので、1巻収録の際に一色原稿に描き直しました。

第002話「至福の店アフター」

歩鳥とタッツンが無断でバイトしてるのを知った森秋先生がシーサイドに来る話です。

コーラに砂糖を入れると噴火するのは有名な話ですが、レンジで温めても有効かどうか実験してから描きました。

森秋に説教されて「え、あの、色が似てて…」と言い訳する歩鳥の演技がアニメ版でとても良く表現されていました。

第003話「セクハラ裁判」

休日の歩鳥と、舞台がシーサイドから商店街へ広がる話です。

この話に出てくるエンジン付きのキックボードは、もう一度別の話で使いたかったと未だに心残りです。ただ使用場所が道路交通法により制限されているため日の目を見ないまま最終回を迎えてしまいました。

この回では、後に登場する紺先輩が商店街を疾走する歩鳥を目撃しています。今初めて知った方は探してみてください。

「至福の店ビフォア」「至福の店アフター」「セクハラ裁判」の3話のネームは同時期に描いています。

連載会議に通してもらうという目的があり、ノリや演出が結構違います。

連載が始まったら徐々に自分のペースに戻して行こうと思いながら描きました。

第004話「目」

無事連載が決まったのでいきなり趣味に走って日常の謎を推理する話です。

森秋先生が不気味な絵画を持って来ます。このトリックは「それ町」の企画以前から考えていた物で、早く描かないと誰かに先にやられる！と、慌てて使いました。

後々まで引っ張る事になる1つのストーリーライン「悪」の発端になる話です。

歩鳥の探偵趣味が明らかになる事で、森秋先生の名前がシャーロックホームズの宿敵モリアーティ教授に由来している事にピンと来たかもしれません。

ところがどっこい、同じ「森秋」でも、実は森秋耕三郎おじいちゃんの方こそモリアーティだという事が終盤明らかになるでしょう。

このサイコロが耕三郎の遺した「良くない物」への鍵になるという構想はありましたが、実はこの時点で「良くない物」の具体案も、サイコロの利用方法も決まっていませんでした。

第005話「愛の逃避行」

「それ町」の連載にあたり、いくつか必ず描きたいストーリーラインやお話があったのですが、それらを片っ端から描いていくと近いうちにネタが尽きてしまうわけで、連載しながら自転車操業的に新たな話も考えなくてはなりません。

歩鳥と真田君がバスで知らない町まで行く話は、「バス」シリーズの食玩を眺めていて思い

付きました。
何も考えずに輪島さんとの下駄箱のシーンを描いてしまったため、後に各自の下駄箱の位置に矛盾しないようにクラスの人数を調整せねばならなくなりました。
「それ町」は自分で決めた制限や設定との戦いでもありました。
ツッコミ爺さんがこっそり初お目見えしています。

第006話「辰野トシ子は懐けない」

歩鳥とタツソンの距離感は3年間で結構変わります。この頃はまだタツソンから歩鳥に対して少し距離を取っている感じがします。
自分が持っていて相手には無い物、またはその逆、相手を羨ましく思う半面、影響を受けたら負けみたいな友達ならではの感情は、歩鳥&タツソン話の根底に流れるテーマです。

第007話「宇宙冒険ロマン」

漫画を連載する機会があればヒロインが家でTシャツとパンツだけで過ごすシーンを必ず描こうと心に決めていました。
この話を描いた後「木星はガスで出来ているので大地は無いのでは」というご意見をたくさん頂きました。
そんな事は小学生のときに理科の教科書で見て以来知ってますから！でも、その常識自体が真実かどうかわからない、という話なんです。このお話は。

第008話「看板娘が大人気」

大人気ないの話です。
「大人気ない」と「大人気」が同じ漢字だという大発見を世に伝えるために描きました。
この話で歩鳥がないとう歯科の看板を切りつけますが、読者視点では傷の有無で時系列を確かめるヒントになり、歩鳥は後々自分がいる世界線を確かめるのに使う事になります。
歩鳥が大きなスペースに字を書くと、右に行くにつれだんだん小さくなっていく癖は直らず後でもう一度出てきます。（13巻P142）
また、歩鳥が町中に矢印を勝手に貼り付けて怒られた経験は、同じ事をしようとした紺先輩をたしなめる形で役に立ちます。（15巻P57）

第009話「恋の方程式」

ここ数話、自転車操業的に話を作っていましたが、ここでストックを使いました。ストーリーライン「ナメ子」のピースの1つです。
校長室に飾ってあるラブレターの折り目が真ん中より上についているという仕込みがあります。
この頃は長くても4巻くらいで終わるつもりだったので、まさかこれを消化するのに11年かかるとは、この時は知る由もありません。

第010話「カマボコ ボヨン ボヨン」

これもストックで、ストーリーライン「放火魔」の発端です。
「それ町」が企画段階だった頃に作った話が元になっています。
メイド喫茶じゃなく普通の喫茶店でバイトしている歩鳥が、メガネをかけていなくて巨乳でもないタツソンの仲介で、タツソンの弟が巻き込まれた事件に首を突っ込む形で始まる…という幻の「それ町」があったのです。
始まり方や細かい設定以外は、あまり現「それ町」と変わらないのですが、話に絡んでくる犯罪がややシリアスでした。放火魔なんてガチの犯罪者が出てくるのも、その名残りです。
さて、この話は一旦弟と妹の冒険譚で終わりますが、放火魔は存在し続けます。
敬愛する小原慎司・作「童画報」にも放火魔を捕まえる話があるため、それと被らない全く違ったアプローチを思いついたら捕まえようと思って泳がせておきました。
P168の2コマ目、ユキコの右上のコイツ！コイツが現場を見に舞い戻った放火魔です。
ちなみに大晦日の空に煙を見つけて走り出し、10円しか持っておらず帰れなくなりかけたというのは実話です。ただ、僕はその時20歳でしたが……。

第011話「猫少年」

これまたストックを使っていますね。ストーリーライン「紺先輩」です。ストックを3連続で消費しているという事はネタを回していくのがキツかったんでしょうね。
登場のタイミングを虎視眈々と狙っていた紺先

輩がついに登場です。
歩鳥が初見の相手に名乗らなかったり、相手の素性を聞かなかったり、思い込みで事を進めてしまう癖の全てがうかがえます。

2巻

第012話「それ町サスペンス劇場Ⅰ」

熱風荘のモデルは網代の「平鶴」という旅館です。
嫁と新婚旅行で熱海の方へ行ってから毎年のように足を運んでいたのですが、連載が始まってからおちおち一泊旅行なんて出来なくなってしまったので代わりに歩鳥たちに行ってもらいました。
冒頭の「あしたまにあ～な」は今の若い子は意味がわからないでしょう。昔、そんな番組があったんです。ようは冒頭のシーンの時間帯が夜11時～12時頃だと言いたかったんです。
10年後も放送されてると当時は信じていました。
この後、何度も登場する事になる「貴一お宮の置物」を歩鳥が買います。
木彫りの熊にせよ置物にせよ、歩鳥は形として残る物の方が、食べてなくなってしまう物より喜ばれると思っているフシがありますね。

第013話「それでも町は廻っている 前編」

表題作なのに中途半端なタイミングで出てきました。
先ほどもチラと書きましたが、この頃はそんなに長く連載を続けられると思っていなかったので、表題作も別段中途半端なタイミングとも思っていませんでした。
連載が長くなって、結果的に中途半端なタイミングで出したになってしまったのです。
この時歩鳥は「ミステリ画報」に小説を投稿しますが著にも棒にもかからなかったので後に「ファントム大賞」へ応募先を変えることになります。
「ゼリー島殺人事件」は僕が高校生の頃に描いた数ページのミステリ漫画です。弟が「面白い！」と言ってくれました。

第014話「それでも町は廻っている 後編」

心霊写真といえば、顔や手や光が不気味に写り込んでいるものですが、なぜピースしてたり笑顔だったりみたいな面白い心霊写真はないのだろうか？なにか理由があるのでは？と常々思っていたのでネタにしました。
歩鳥の入院先にあるお見舞い品は、野菜かごは当然八百屋が持ってきた物で、花は真田が持って来たラベンダーです。だから魚の絵の花瓶に入っています。飴は誰が持って来たか不明（多分母か婆ちゃん）。バナナはタッツンです。
この話を読んだ時に自分の両親の事を思い出してもらいたいという思いから、歩鳥の両親の顔を見えないように演出したのですが、そのせいで以降両親の顔を描く訳にいかなくなり連載の長期化と共にまたひとつ要らぬ苦労を背負い込む事になりました。

第015話「パジャマの天使」

歩鳥の入院中の話です。
入院した経験が無いので想像で描きましたが、だいたいこんな感じで合ってるとの事です。
何日間かに渡る話なので、わかりやすいよう日によってパジャマが違うとか地味な工夫がしてあります。
このひねくれ爺さん、当初は生に対して後ろ向きな事ばかり言っているのですが、歩鳥と会話するうち無自覚に死に否定的な事を言い出します。
その後リハビリは上手くいったのでしょうか？

第016話「ナイトウォーカー」

弟と夜中にコンビニに行く話です。
初の時系列シャッフルだと思います。入院していた歩鳥がいきなり復帰するのも何なので一呼吸置くため高校一年生時の春の話を挟んだんだと思います。
喫茶シーサイドが夜にはお酒を出しているのが判ります。
ちなみに歩鳥は、タケルが来なかったらそのまま寝るつもりだったのでノーブラです。
「真田には一年後謝ろう」というセリフは「悪いと思ったが謝る気はない」という意味の言い回しであって、伏線ではありません。

第017話「出張メイドサービス」

鈴木、浅井といった真田周りの友人達も顔を見せ始めます。
七瀬君が描いたイラストは、大学時代の友人で現在アニメーターの佐藤利幸に描いてもらいました。
タッツンに弟がいてパソコンでゲームしている事が示唆されており七瀬も登場している所を見ると、「歩鳥の戦争」（10巻79話）のプランが既にあったのかも知れません。
第5話「愛の逃避行」にて真田に押し付けた小説がエロ雑誌を降らせるきっかけになったり、お土産にあげた貝一お宮の置物で殴られそうになったり、色んな事が廻り廻っていますね。
ところでこの話、ちゃんとオチてない気がする…。

第018話「穴」

冒頭、今後何度も登場する朝のニュース番組「ニュースワイド」が放送されています。
宇宙人の騒動に巻き込まれる、かなり突飛な話です。
「それ町」では日常と隣り合わせのSFのような事もやって行くつもりでしたが、主人公との絡め度合いがまだわかっていなくて、記憶が消えたから良いようなもののギリギリのラインじゃないですかね。
雑誌掲載時は宇宙語表が付いてなくて一見バッドエンドに見えるのですが、単行本に収録されている宇宙語表で訳すと白い宇宙人の方が悪者だったと分かるという仕掛けだったのに、雑誌掲載の時点で全部翻訳して答えを送ってきた人間エニグマみたいな読者さんがいて驚きました。

第019話「ジョセフィーヌの夏」

台風が近づいているだけのなんでもない一日に見えますが、この日の補習をある人物に盗撮され、補習の後で涼ちんに出会うという、ストーリーライン「ナメ子」にも「悪」にも絡まっている一日になります。

おまけ「なまやき」

歩鳥が退院した後、「歩く鳥」より少し後くらいの一幕だと思います。

3巻

「海の家号泣事件」

6巻収録の49話「紺先輩の静かな怒り」の翌日の話です。
歩鳥が溺れたときの「うこばち」というのは、ウコバクという悪魔の名前に由来しています。ユコバックもしくはウコバチとも言うのですが、このウコバチがなんだか溺れてるみたいな名前だと思ったので。
（※ウコバク：コラン・ド・プランシー著「地獄の辞典」に登場する悪魔の名前。ベルゼブブの支配下にある下級の悪魔）
ここで水着を流されたので、綾鳥家に行った時水着を持っていません。（6巻50話「まぼろしの少年」）

第020話「パンドラの箱」

亀井堂　静が温泉旅行以来の再登場です。「トリック」「助手」といった言葉を使い、歩鳥の師匠的な立場にあると明確になります。
企画段階では古い防災頭巾をかぶっていたり、泥棒を捕まえるために家具の中に身を隠し出れなくなったりする、あまりにもエキセントリックな人物だったのですが現実味がないので気だるいお姉さんにしました。
歩鳥が将来について悩む、言わばメインストーリーのラスボスとして、今後影をちらつかせ続けます。
また今回、紺先輩は誕生日がバレて、悔しい思いをします。
「来年はお祝いしましょうね」と歩鳥が言う翌年の9月8日に巨大台風が関東を直撃します。
歩鳥が古道具屋から出てきたところに二度目のツッコミ爺さんが。

第021話「迷路楽団」

学園祭の話です。
「来年の学園祭で演劇をやろう」という一言が最終回に関わってきます。

今後、注意深く見ると、所々で演劇の脚本を執筆している素振りが見られます。
作中の時系列で言うと紺先輩が3年生の秋頃に当たり、秋まつり（7巻52話「秋まつり」）での「何でもやっておかないとソンですよ」という歩鳥の言葉に影響されているので、紺先輩にしては積極的な動きを見せますね。
P38に出てくる漫研の男の子は、後に城嶋先輩の犬の里親を見つけてきてくれる太田君です。紺先輩がステージで歌う意外な姿を見て驚く城嶋君、まだ作品内ではそれほど自意識過剰な性格が露呈していないにも関わらず歩鳥から「高慢ちきメガネ」と突っ込まれるタッツンなど、時系列的にはある程度のエピソードを重ねた事がうかがい知れるシーンがちょこちょこ見られます。
まぁ、そんなややこしい事より、この回では学園祭の雰囲気を再現することに力を入れています。
学校の日常風景の中に学園祭の準備が少しずつ増えていくところや、後片付けした後の素っ気なさ。何事もなく日常に戻る感じとか。

第022話「ワン・オア・エイト」

歩鳥に一人で店番させたらどうなるか？という話です。
タッツンが歩鳥のことを「嵐山さん」呼びしているので、学園祭から一年前の話に戻っていると分かります。
ゾンビと婆ちゃんどっちが怖いかの疑問に対する「ゾンビは本当にいるかどうかわからないけど、婆ちゃんは確実に存在する」…これは真理ですね。幽霊はいるかどうかわからないけど担当や締め切りは確実に存在するんです。
泥棒と間違えられる男は編集者で、オチでシーサイドに連れて来た相手はホラー作家です。紺先輩が九官鳥の飼い主を探す話で再登場を果たします。

第023話「まもれサンタの夢」

これも「一年目冬の話なのでユキコは小学1年生という事になります。
ゲームに興じる様子が幼いです。
子供の成長は早いので、歩鳥たちよりもタケルとユキコの様子を見ると時期特定のヒントになる場合があります。子供の体型や言動は気を付けて描き分けていたつもりです。
ところで最後のシーンのタケルが鮮やかで感心しますね。自分で窓に向かって「帽子があるぞ」といったのでは説得力に欠けるんですよ。さもユキコが自分で見つけたように自然に誘導してるんです。詐欺の手口ですね…。
この話が収録された3巻の発売後、「家族皆で読んでいるのですが、小学生の子供がまだサンタを信じているので3巻を読ませられません」という内容のお手紙やメールを3度ばかり頂き、ヒマな漫画好き青年（朱礼）以外にも読んでくれている層がいるのか!?と急に姿勢を正した覚えがあります。

第024話「Detective girls」

歩鳥&タッツン話の中核「Detective girls」シリーズの1作目です。
この二人、バイト先が同じで友達ではあるんですが、何か理由がない限り休日までわざわざ一緒に遊ぶほどの間柄ではないんです。
3年間で徐々にお互い気持ちの良い距離感を掴んで、だんだんツーカーになっていくので、そのあたりの距離感をお楽しみいただければ幸いです。
この頃（2年目冬）はタッツンがもっとも歩鳥を雑に扱っていた時期かもしれませんが、ここから見直し期間に入ります。

第025話「呪のルーレット」

地元福井の正月を思い出します。なぜかというとこの話がなかなかまとまらなくて、帰省中に雪の積もった近所の公園をひとりブラブラしながら考えたからです。
西先生から森秋への好意やイニシャルの話、森秋にラブレターを送った女子高生は先生になっているという情報など、ストーリーライン「ナメ子」のピースがばらまかれた話になっています。
こんな振りがあったら西先生＝ラブレターの女子だとミスリードされますね。巧いことできています。自画自賛です。

第026話「少女探偵誕生」

扉絵の謎の文字「4山メンフム」みたいな物は、鏡に映すと読めます。

さて、静ねーちゃんと歩鳥の因縁の話です。「この前、資源回収一緒にやっただろ」と、資源回収で見つけた自分になりうる逸材と再会、いよいよ静ねーちゃんの歩鳥自分化計画が始まるわけです。その資源回収での出会いや、計画の動機は14巻108話「続・夢現小説」で描かれます。3巻で振っておいて続きが14巻とは、気の長い漫画です…。

P140下段の「ソフトクリームないの～?」といってる歩鳥の顔、何度描いてもネームで描いた顔を超えられなくて、結局ネームからトレースしました。たまにこういう二度と超えられない絵が生まれるんです。浦沢直樹先生もテレビで仰ってましたけど。

余談ですがP149のショーウィンドウの中の仮面は映画「大魔神」に出てくる物です。

第027話「ワン・オア・エイト・アゲイン」

料理のさしすせそをイジった回です。紺先輩は料理全般が得意なわけではないんですまたまたま麻婆豆腐が得意だったんでこれ幸いとばかりに当たり前のように作って見せたんです。一人暮らしするにあたってママから教わった料理のうちの一つです。あと何種類か得意な料理があるようです。16巻分、紺先輩にお付き合いいただいた読者さんはお分かりの事と思いますが紺先輩は顔以外のスペックはそんなに高くないんです。

おまけ「全日本ギューニュースト連盟」

このコーナーは当時、ウェブサイトで募集をかけて送ってもらった各自のギューアテを、実際買ってきて牛乳と合わせて試食し順位付けしたもので、1ページの割に労力がかかっています。イカスミパスタを送ってくれたのは「干物妹!うまるちゃん」のサンカクヘッドさんで、味噌ラーメンは「スカート」の澤部渡さんですよ。後にサンカクさんとお会いした際「イカスミパスタは牛乳に合いませんでした。吐きそうになりました」とお伝えしたところ「あれはネタで、あえて合わない物を送るコーナーかと思っていました」との事です…。

第028話「ツッコミじいさん」

ときどき画面の端にちらついていたツッコミじいさんのお話です。

よく見るとツッコミじいさんには影がありません。

10年前に亡くなったので、ウキ婆ちゃんより少し若く見えるように描いてあるのがポイントです。

歩鳥が幽霊に対して返事をしているのは野生の勘か、一度死んだからか。

天国の手続きミスにより宙に浮いたままの霊が大量に発覚して天国が混乱する話も考えてはいたのですが（宙に浮いた年金問題の頃）、あまりこのあたりをシステマチックに描くと、作中での霊現象の怖さを損なうので描きませんでした。

解決すると地上から幽霊がいなくなってしまいますし。

4巻

第029話「嵐山財宝調査隊」

連載時は3回に渡って掲載された、ちょっと長い話です。

これを描けて一話完結のスタイルでありながら、こういう長めの話をやる土台も出来てきた手応えを感じました。

埋蔵金探しはロマンです。出来ることなら自ら探してみたい所ですが経験も知恵も体力も時間も無いので歩鳥たちに行ってもらいました。

いずれ埋蔵金探しをするために集めてきた資料が役に立つというものです。

全編に渡って旅感がよく出ていて好きな話です。

「宝探しモノ」というジャンルは必ずと言って良いほど対抗勢力が現われて、地図を取り合ったりドンパチやったりし始めますが、あれがどうも好きになれません。

お弁当買って電車を乗り換えて、地図を見て山を歩いて、小さな発見をして…それで充分楽しいじゃないですか。

細かい話をしていきますと、まずカラーページでユキコがやってるテレビゲームの画面は、大学生の頃ＲＰＧツクールで作ったゲームの画面です。
Ｐ１９目、鬼保根駅の真横からのアングルは、ゲーム「トワイライトシンドローム」の感じです。
紺先輩が寝ぼけながら予知夢を見ている事が判明します。それが予知夢だったと分かるのはもっと後ですが。
ここでは歩鳥の髪型が変わる事や、アンプの調子が悪くなる事、歩鳥の家に泊まった時の事を視ているようです。
そして山っぽいところへ行くと必ず良い枝を拾う癖も見られます。
熊除けに役に立った笛は、２巻「それでも町は廻っている　前編」にて紺先輩が歩鳥にあげたものです。
何がどこで役に立つかわかりませんね。
Ｇ県民話集の表紙に描いてある大男は「独巨坊（どっきょぼう）」という名前、との裏設定があります。どんなお話かまでは考えていませんが。
で、結局埋蔵金は見つからずですが、埋蔵金とは何だったのか？もしかしたらあれの事だったんじゃないか？とうかがい知れる部分が残されています。
タケルが一生懸命穴を掘っている松の横に生えている、モミジ状の葉っぱ。
野生の大麻草です。
おまけページの「鬼保根村名所案内」にもあるようにかつて村には麻畑があったようです。
もしかしたら遠くない場所に隠れて群生しているのかもしれません。
大麻は関係なく、金塊とかが眠っているのかもしれません。
やはり謎は謎のままです。

第030話「メイド探偵大活躍」

ここでは島辺博人というミステリ作家が出てきます。
当時好きだった何人かのミステリ作家の名前を組み合わせて作った名前ですが、これ、今だったまた違う名前になりそうです。
島田荘司は新本格の神なので鉄板として、米澤穂信の「米」とか道尾秀介の「介」とか入れたいですね。夢野久作の「久」も入れたいな。
「米島久介（よねしまきゅうすけ）」ですね。
奇想と整合性と情緒のバランスがハイレベルに取れた凄い作家になりそう…。
架空の小説がいくつか出てきますが、元ネタがあるのは「小夜侘助のワルツ」（御手洗潔のダンス）「違法の武士」（異邦の騎士）くらいで、あとは本屋にあったら食指が動きそうなタイトルを付けました。
「脳回廊」なんて面白そうですね。
あとＰ８９、交番の前の掲示板に放火魔の似顔絵が貼り出されています。

第031話「二ぱいのミシンそば」

謎の記憶の話です。
松田巡査から逃れる歩鳥の手段がなかなか機転が利いていて、「あっドロボーだ！」って宙を指差してもさすがに引っかからないでしょうが、隣にいる真田に訴えてるんです。だから松田さんも「えっ？」って引っかかったんだと思います。
タケルのサンタ帽に続いて詐欺の手口ですね。
こういう事を瞬時にやってのけるあたり、歩鳥は頭が良いんだろうと思います。
余談ですが通りかかった通行人に吠え掛かる高岡家の犬の名前は「シルバー」といいます。
それから「鯖蕎麦」はそんなに不味いのか問題というのがありますが、ここで説明します。
歩鳥はスーパーで買って来た「しめ鯖」を蕎麦の出汁で煮込んで、そこへ蕎麦を投入するというものをこしらえました。
不味いと思います。
これ以降、真田君は蕎麦が苦手になってしまいました。
食べて吐いたり吐きそうになった物って、その後食べられなくなりますね。僕は白餡が苦手です。

第032話「激突！妖精VS死神」

押しかけ助手の福沢さんが初登場です。
ちょいちょい出ていた「中学の時に卓球やってた」というタッツン周りの人間関係がハッキリします。
黒髪を逆立てた紺先輩の背景がとても面倒臭かったです。
卓球の本や雑誌を買って来て、卓球描写を結構頑張って描きました。

針原さんのフットワークが安定したのは、学園祭の時のドラム特訓のおかげです。
上半身であらゆる球に対処するテクニックを身に付けたおかげで下半身の無駄な動きが減り、フットワークを維持できるようになったというような話です。
最後、河原での真田と浅井の後ろに、チラッと犬のローズマリーがいます。

第033話「実に微妙なカード」

エビちゃんの登場です。
紺先輩とエビちゃんは「それ町」における発明だったと思います…。
エビちゃんは小学生の頃のリアルな思い出です。
何かで話した事があるので知ってる方もおられると思いますが、小学生の時クラスで一番可愛い子と付き合っていたんです。
中学に入ると自然消滅し、中学卒業以来その子とは連絡もつかなくなってしまい、年をとるにつれだんだん本当の事だったのか妄想だったのか、彼女は本当に存在したのかと、あやふやな気持ちになりかけていたのですが、昨年（2015年）ついに連絡がつきまして。
当時の事をあれこれやり取りし、甘酸っぱい気持ちと共に僕の過去は立証されましたよ。
デート中のタケルとエビちゃんをVIPルームへかくまってくれる、あだ名が「マモー」のお婆ちゃん、当然「ルパンVS複製人間」のマモーがモデルです。
あだ名を付けたのは八百屋、魚屋、クリーニング屋のオッサン3人組で、今の子供たちは元ネタを知らずに「マモー」と呼んでいるものと思われます。
それから、だいぶ先の話（11巻83話「闇に棲む声」）を読み解くカギを174Pに見つける事が出来ます。
対戦中の二人の名前と残りHPのメモが黒板に書き込まれているのですが、よく見るとハカセVS戸川なんですね。更に同じページの左下をよーく見るとメガネの子の名札に「高部」と書いてあるのが分かります。
太った子が「ハカセ」でメガネの子が「高ブー」。
約50ヶ月後に使うトリックの前振りです。

第034話「まめけな正月の過ごし方」

お正月感がリアルに出るよう、とくにコタツを囲んで年賀状の返事を書いているコマはこだわりを持って描きました。
最近では年が明けたらもう仕事！という感覚になってしまいソワソワし出すので、大晦日の方が好きになってしまいましたが、こんなゆったりしたお正月があった筈なんです。
タケルが前回に続いて「冤罪」という言葉を使っていますが、前回は「エンザイ」で今回は「冤罪」となっています。
「エンザイ」の時はよくわからず大体の雰囲気で使っていたタケルですが、今回までの間に意味を学習したので漢字表記になりました。
これと同様にユキコは自分が書ける漢字以外は平仮名で喋るようにしています。ユキコのアホっぽさが出るようにとの工夫です。
紺先輩宛に城嶋君から年賀状が来ているのが要チェックです。エアメールはイギリスの両親からですね。

5巻

第035話「下町雪訪い小話」

雪女の話です。
雪訪いとは昔の言葉で「寒中見舞いに訪れる」ような意味だった筈。
「それ町」を初期・中期・後期で分けるなら、初期で一番気に入っていた回ですが、その後どんどん好きな回が更新されて僕の中では埋もれていきました。
雪女だけ息が白くない、よく見ると爪が尖っている、などビジュアル的に妖怪だと分かるようになっています。
八代さんが恩田ユキさんのために一生懸命唱えている呪文「オン・マユラキランティ・ラーバ・ソワカ」は冷え性を治す呪い（まじない）です。
そりゃ雪女はどんどん体調悪くなるというもの。
オチの「ギャアー雪女！」はポーズといい、書き文字といい、口の描き方といい藤子・F・不二雄先生の真似です。
雪女がどこかの屋根の上で泣いていて、その夜関東に大雪が降った…というオチもあったのですが、雪女が可哀相なのでやめました。
タッツンとのやり取りの中で「神宮の宮は？」

に対して「ジングルのベル？」という歩鳥のボケがありますが、これは僕が考えたのではなく、歩鳥が勝手に言ったのです。
だからこのページのコマ割りが予定と変わってしまい、せせこましくなっています。
時々こうして歩鳥は勝手に動きます。

第036話「卒業式」

扉絵の、賞状筒からトランプがバラバラ飛び出して歩鳥が困っている絵ですが、歩鳥の懐にスペードのエースが刺さっています。
歩鳥の運の強さというか、引きの強さみたいなものを表しています。
ユキコの忘れ物を取りに行く話です。タイトルと内容がかけ離れて見えますが、最後まで読むと意味がわかります。
そして全体的に42話「学校迷宮案内」への伏線になっている話です。

ところで、ここ比音小学校には「6年校舎に幽霊が出る」という噂がありまして。
小学校のシーンを隅々まで見てみると何か見てはいけないものがいるかも知れませんよ。

バッサリ切られてしまったタイ山ポールは遊具あるあるですね。最近、公園の遊具が次々撤去されているそうです。
危ないから無くすというのは果たして正しい方法なんでしょうかね？ ここで問題提起しておきたいと思います。

第037話「蘇る脳細胞」

歩鳥が進路に悩む話です。
タッツンの部屋にミュージカル「退魔戦線」のポスターが貼ってあるのが見れます。
「ショットガンはボスまで温存しろ」「判定ギリギリの所から鉄パイプで狙え」と、ゲーマーな一面も覗かせます。
僕もゲームのこういう所が苦手なので歩鳥の気持ちの方が分かります。
タッツンは格闘ゲームやりながら「めくり」だ「ガードキャンセル」だ「浮かせ」だ「コンボ」だと言うんでしょうか。

後半、二度目に彼女の部屋を訪れた時は、ポスターが撤去され、部屋も片付けられタッツン自身も身綺麗にしています。
真田が来ると思ったから。
でも来ませんでした。

紺先輩の、いかにも面倒臭い音楽好き然とした趣味も一部見る事が出来ます。
歩鳥に貸した「うたでおぼえる日本の歴史」のCDですが、なんでこんな物を持っているのかは12巻94話「A・KO・GA・REロンギング」で分かります。
歩鳥は全編を通して色々進路に悩みますが、今回はその触りの話でした。

第038話「俺たちは機械じゃねえ」

扉絵のカラオケ風景は、各自おしぼりのたたみ方やストローの袋の処理の仕方が違う所がポイントです。こういう所に性格が出ますね。
イギリスに行っている紺先輩の両親が登場します。ストーリーライン「紺先輩」のピースです。
歩鳥が食べてる弁当は、自分が高校生の時に食べてた弁当の記憶で描いています。毎日毎日弁当を作ってくれた母への感謝を込めて描いています。
メグッピの弁当は適当にその時食べたいものを描いたのでタコ足、豚マン、シュウマイ、豚の角煮…と、無茶な内容になっています。
「親子イシャいらずの所先礼しましたI」と言い間違える歩鳥に誰も突っ込まないですが、この漫画ではよくある事なので誰も突っ込まずに流されている時は読者が突っ込んでやって下さい。

人嫌いでパンクを装っている紺先輩でしたが、ママのせいで甘えん坊だと露呈します。まだこの時は「え？紺先輩が？」と驚く歩鳥が新鮮です。
いずれ誰よりも紺先輩が甘えん坊で手のかかる子だと知るようになりますから。

細かい所ではP84目の「くしゃ」と描いてあるコマをよく見ると、ストローを噛んだ跡が見えます。
紺先輩は犬歯でストローを噛む癖があるんです。

歩鳥が一度は言ってみたいセリフとして挙げている「覚えてろ～」は、10巻75話「フタバ・デッドエンド」でドッキリにかけられて叫ぶ事

になります。
よかったな歩鳥。

第039話「夢現小説」

歩鳥の夏休みの一日ですが、小説を読んで徹夜したので寝てたんだか起きてたんだかよくわからない日。
よくわからないながら、門石悔和という小説家が亀井堂静である事や、歩鳥が自分のもう1つの目なのだという事がふんわりと示唆されています。
ウナギに目を引き付けておきながら歩鳥&静ねーちゃんの関係が割と直球で描いてあります。
早朝の歩鳥が布団代わりにしている新聞の広告を見ると新刊「異形回帰」が本日発売となっていますが、歩鳥の手には少なくとも1～2日前に渡っている事からも静ねーちゃんが特別な入手方を使った事がわかります。
著者なので一週間くらい前には見本が手元にあるわけです。
夢と現が入り乱れている話ですが、夢の中の歩鳥は髪を縛っていてKAO伝Tシャツの目が閉じているので、見分ける事が出来ます。
ところで、静ねーちゃんはウナギが好きなんですよ。よくウナギを食べています。
初代担当が凄いウナギ好きで、なにかとウナギを食べていて「ウナギの肝を食べると視界が明るくなる」とか言うんです。
それが面白くて亀井堂はウナギ好きになりました。
最近嗅いでないですが、夏の早朝は都会にいてもなんだか草木の匂いがしてきて好きです。
小説に夢中になり徹夜、なんて事もしなくなったなぁ…。翌日の仕事を考えて寝る、分別のある大人になってしまった…。

第040話「嵐山家火事になる」

最初のナレーションは火事の事をいっているのではなく、消えたうわばきの事にかかっています。
つまり「新学期初日　歩鳥に不幸な事件が起きた」「この不幸な事件の原因を知るためにはある夏の日を反芻する必要がある」という事です。
歩鳥のうわばきがなくなるまでの顛末です。火事はその過程です。だから何だという事はないですが。
ここでジョセフィーヌのお家が焼けてしまい建て直す事になるので、ジョセの小屋の新旧が時期特定のヒントとして加わります。
時系列的にこれより後にあたる4巻33話「実に微妙なカード」での小屋は、ちゃんと新小屋になっています。
歩鳥が着てるハワイTシャツは、タッツンがクリーニング屋から貰ったお土産ですが、あまりの要らなさにそのまま歩鳥へ横流しされた模様。

第041話「大嵐の夜に」

台風と紺先輩のお泊りの話です。
紺先輩の「じゃぁ麦茶で…」の予知夢が当たります。
停電を描いたら真っ黒にすれば良いから楽かな?と思ったら意外と面倒くさかった回です。
急須の影絵はどうやってやるのか、紺先輩がサッと手を解いてしまうので見れませんが、各自、自分の手で試してもらおうという魂胆です。興味があれば試してみてください。
急に真面目な話をしますが、歩鳥のボケが放ったらかしになっていて読者に突っ込んでもらうとか、急須の手の形を考えてみるとか、何かに自分で気付くとか、こういうちょっとした事で漫画と現実の壁が薄くなる（ような錯覚を得る）のではないかと思っています。
歩鳥の寝相の悪さに腹を蹴られて悶絶する紺先輩の枕元をよくご覧ください。ここに寝る前に外した指輪があるのです。この後、蹴っ飛ばされて指輪はどこかへ飛んでいってしまい…11巻88話「ミラクルスーパーラッキー指輪」にて発見されます。
それから台風のせいで嵐山家の庭の物干しが折れ、新調します。ジョセの小屋同様、時期特定のヒントになります。

第042話「学校迷宮案内」

班ごとに壁新聞を作るとか小学校の時にやりましたね。
まず扉絵ですが、注意深く見てみると何かおか

しくないですか？
…おわかりいただけただろうか…？
子供たちは5人なのに足が11本…右から3番目の足は誰の足なのか…6年校舎の幽霊の足だとでもいうのだろうか…。
心霊写真ならぬ心霊原稿です。見つけてゾッとして下さい。

本編はモマンの話です。
タケルはひたすら足で証拠を集めていくタイプで、歩鳥とは違った面白さがあります。
歩鳥は探偵かぶれゆえに安楽椅子探偵を気取り、あえて動かずに推理するのが偉いと思っています。だから思い込みの罠に自らはまり易いのです。
エビちゃんはこの話で本格的にタケルを好きになり、後に強制デートへと駆り出します（4巻33話）。
P167目の「もぐ…」のコマに意識しはじめたエビちゃんの感情を詰め込んだつもりです。
どうでも良い話ですがマッキーはグリーンピースが苦手で、暗黙の了解によりタケルの皿に移して良い事になっています。

6巻

第043話「フリーマーケットで歩鳥とキス」

フリーマーケットに出てみたい願望があって、それが漫画になりました。
歩鳥がお好み焼きをひっくり返すときの「コリアンドル！」は元レビッシュの上田現のソロアルバム、及び曲のタイトルです。
これを描いたときは御健在だった現さんですが、その後若くして47歳でお亡くなりになってしまいます。
僕ら、夫婦でファンでして、嫁など現さんの告別式に行くため仕事まで休んだのですが、あまりの悲しさに二人とも家から出れず…。
その後、現さんのパソコンから見つかったデータで作ったという最後のアルバムは、買ってから一年は聴く事が出来ませんでしたね…。
…はぁ…。あぁ、「それ町」の話をしてたんでした。
歩鳥の所へ本を買いに来てくれた女性は、後に登場する黒崎優香。静ねーちゃんの担当編集です。
よく見ると、どこかに静ねーちゃんもいます。

第044話「ざっくばらん」

歩鳥の髪型が変わる話です。
この頃「この漫画は時系列をシャッフルしているんじゃ？」という読者さんからの声が結構出始めたので、それに対しての「してます！」という返答の回です。
時間を無視して季節に合わせた話を描き永遠に1年生を繰り返し続けるスタイルではなく、作中時間がそのまま進んでいくスタイルでもなく、高校三年間のどこかを矛盾しないように描くスタイルとした利点は雑誌発売号の季節に合った話が描ける事、話に緊張感を持たせられる事、謎の開示の順番を調整できる、最大36

5日×3年分が埋まるまで連載を続ける事ができる、などでした。
反面、タイムテーブルの管理、時間的に矛盾が起きないようにするのは大変です。
歩鳥の髪型が変わった事で時系列シャッフルがオーブンになるわけなので、今後間違えるわけにはいかないという緊張に晒される事になります。
それくらいの覚悟を持って女の子の髪にハサミを入れました。
紺先輩の予知夢「どうしたんだその頭ー可愛い～」が的中します。
それから海老州舞ちゃんが浅井を気軽に触っている様子も見れますね。浅井の知らぬところでフラグが立っています。
ページ左下で怒って振り向く歩鳥が4回ありますが、この44話の続きである「時限爆弾」（単行本未収録）でも同じ演出があります。
また、シーサイドに潜入しようとしてた高校生は「時限爆弾」に出てくる大久 保（おおひさたもつ）君です。

第045話「逢えない二人」

大人になると風邪を引いてもそうそう寝てられないですが、子供の頃は時間をもてあまし気味に一日寝て過ごしました。
あの感じをつぶさに残しておこうと描きました。
この話を読んでいるとこっちまで熱があるような気がしてくるのですが、僕だけでしょうか。
タケルが寝ている時に時計が「カチコチカチコ

チ…」鳴っていますが、熱が下がった後はこの音はありません。
熱を出して感覚が変わり、やけに進むのが遅く感じる時間、時計の針の音が妙に気になる感じなどを出してみました。
エビちゃんばかり見てないで、そういう所にもご注目ください。

第046話「タイムカプセル」

占い機の話です。
この話、好きだと言ってくれる方が多いのですが、なかなかネームがまとまらず良い思い出がありません。
普段はとりあえず頭からオチまで一塊で出るんですが、今回ばかりは一コマずつ描きながら次の展開を考えました。
本当、よくまとまったものだと思います。

第047話「ヒーローショー」

余計なところに凝ったお話です。
描くのが楽しかったです。

「カモ」がよく褒められますね。子供の歩鳥がカレーをほおばった時の音。
スプーンが歯に当たるんですよ。
時々、擬音が独特だと言われます。
一応必然性があるというか、汎用的な擬音を流用せずなるべく自分の耳や頭蓋内に響いた音を描こうとしています。やりすぎると訳が分からなくなるので、たまに。

「オメガブースト」というのは棒状の武器の事ではなく、オメガの最強モードの事です。連動して武器（オメガスティック）も強くなります。
ショーの司会をしているお姉さん、「ナ」といった所で殴られるので名前が不明ですが「ナツミお姉さん」といいます。「ナツミお姉さん」。廻覧板をご覧の方は憶えてあげてください。
テレビで見る撮影用のスーツよりショー用のスーツは安っぽい、あわやイカホースの中のアクターが見えかかる、触手が動かないのでナツミお姉さんが自分で自分にまきつけている、など細かい見所が。
ユキコが後ろから攻撃する事を全く悪いと思っていないのは純真だからでしょうか。

第048話「歩鳥初体験」

歩鳥が、タッツン、ジョセ、松田巡査たちと初めて会った時の話です。
このタイトルいやらしくて好かんわ、自分で付けといて何ですけど。
歩鳥たちがもんじゃ焼き食べてるのが、タケルとエビちゃんが隠れたＶＩＰルームです。
歩鳥が時々歌っている「いちごのオムライス」にはザックリした金貌があって。
初めてできた彼氏に料理を作ってあげたい女の子の歌で、彼氏がオムライスを好きだというのだけど、オムライスのご飯がなんで赤いのか分からないから、イチゴでご飯に色を着けてみようかな、という内容です。
これで歌を作りたかったら作って良いですよ。

松田さんが初めて会った時より昇進してる事が、バッヂを見るとわかります。巡査から巡査長へは一年で自動的に上がれるんじゃなかったかな。そこから巡査部長になるには昇進試験があったような。詳しくは分かりませんが。
月見蕎麦の玉子問題は真剣に考えました。通は玉子を潰さないみたいな風潮に肩身を狭くしている人がいるかもしれないと思って。

第049話「紺先輩の静かな怒り」

3巻のカラー「海の家号泣事件」の前日です。紺先輩のアパート、シャワーシーン。で、紺先輩かと思ったら歩鳥！残念！というのがやりたかったので、2ページでオチてます。
そうそう、歩鳥はコバンを故意に締め出した訳でなく、窓から出入りしている事を失念して閉めてしまっただけです。

第050話「まぼろしの少年」

歩鳥の母の実家でのお話です。
北陸のどこか、という事で場所は厳密に設定していませんが、綾鳥家の人たちが喋っているのはゴリゴリの福井弁です。
作中、真琴ちゃんと訪れるプールは、僕が子供の頃から30年通った福井の「森田プール」を資料にして描いています。区画整理で道路が出来るとかで潰れてしまいました。最後の夏に写真をたくさん撮らせてもらい、こうして漫画の中に残す事が出来ました。

P175で歩鳥が飲んでいる「上悟志の水」は友人の漫画家 水上悟志の名前をもじったものですが、現担当が「私、絶対飲まな〜い！」と言っていたので水上さんは怒って良いです。このスイカとボールのロジックはもっと長く、あわや2話分くらいになりかけたのですが無駄を削って削って一話に収めました。分かりやすく短くまとめるのにウンウン唸った覚えがあります。

またしても歩鳥は思い込みで謎を作ってしまい、そればかりか今回は罪のない少年を追及しかける失敗をしてしまいました。

7巻

第051話「ホワイトデビル」

野球の応援の話です。

「攻め、受け」発言によりタッツンの趣味が露呈しかけますが、歩鳥がピンと来なかったのでセーフでした。

高校生時代、同じように野球の応援に駆り出された一日で真っ赤に日焼けするほどの炎天下の中、自校の応援をしたのですが、周囲の友達と駄弁った風景と日光の眩しさしか覚えておらず、野球の様子が一切記憶に無いのです。

これがリアリティかーと、今回の応援風景には野球の様子がまったく描いてありません。

「酢クイズ」のネタのために調べたので、初めて「スクイズ」の意味を知りました。

第052話「秋まつり」

歩鳥が紺先輩をお祭りに誘う話です。

「べつに一生のハジになるわけでなし、なんでもやっといた方が得ですよ！」との歩鳥の言葉は紺先輩が学園祭でバンドをやる直接的な動機になりました。

ストーリーライン「紺先輩」の大事なピースです。

歩鳥の小学生時代の友達が登場しますが、友達の友達が現れたときの疎外感は異常ですね。

松田さんの素顔も初登場です。歩鳥だけ松田巡査だと気付いており「私の方が強いよ」とは4巻「メイド探偵大活躍」にて吹っ飛ばした経験から自信を持っての宣言です。

第053話「コンタクト」

お気に入りの話です。

現れたっきり動きを見せないUFOへの対応に混乱していたら実はUFOじゃなく食料だったという話です。

クラゲの大量発生で漁獲量が減って困っていますが、という訴えに宇宙人が応えてくれたのですが、この場合地球人が何とかして欲しかったのはクラゲの方であって、食料難ではないんですよね。

毎日の歩鳥の朝ごはんも描いていて楽しかったです。

第054話「ガッカリなカード」

ストレートに言うとゲーム擁護の話ですね。

歩鳥の読書法は僕が実践しているものです。日頃から自分でもトリックを考えているようなミステリ脳だと帯の不用意な一言が致命的なネタバレに繋がったりしますから。

静ねーちゃんがやってる地味で古そうなゲームが面白そうです。

マッキーがジャンケンで必ず最初にチョキを出す癖の振りがあります。この癖は14巻110話「お姉さんといっしょ」でタケルに利用されます。

僕の大学時代の友達に必ず最初にパーを出す男がいました。

もともと対立して集まったのに小学生男子はすぐ仲良くなりますね。

カードゲームを通じてタケルにも新たな友達ができます。この山本君との仲は中学生になっても続きます。多分大人になってもオッサンになっても続くでしょう。

タケルは頭が良いので歩鳥が実は賢い事も知っています。ちょこちょこ一目置いているような素振りや、期待する発言が見られます。

歩鳥がそれに応えられる時と応えられない時がありますが…。

第055話「時は待ってくれない」

歩鳥の壮大な悩みと調理実習の話です。

日常が今のまま続くことを願い、変わる事が不安という歩鳥の漠然としていて壮大な悩みが言

葉にされます。
あとは、懐かしい調理実習の雰囲気と、服部先生の手に拳ダコがある所を見ておいてください。

第056話「テリトリー」

ユキコが部屋を欲しがる話です。
冒頭の「つー!!」は「つよすぎるんだよ!」と言いたかったのにあまりの悔しさに「つ」以降が言葉にならなかったのです。
ユキコのお友達の相原（樹利亜（じゅりあ））の姉・燕樹（えんじゅ）は、タケルと同級生でエビちゃんの友人です。
小学生の時、初めて部屋持ちの友人宅へ行って部屋が欲しくなるのも、机の下にテリトリーをこしらえる感覚も、わかります。
僕が部屋をもらったのは小3の時だったから、ユキコより遅いですね。この話のユキコは2年生ですから。
父の部屋を譲り受けたらオプションとして「タッチ」と「おれは鉄平」が全巻付いて来ました。
お正月風景同様、コタツのシーンは思い入れたっぷりに描いてます。

第057話「それ町サスペンス劇場Ⅱ」

スキー旅行の話です。
これまで遠まわしに描かれてきた、静ねーちゃん＝小説家というのが割とハッキリ描かれました。
北陸と関東では雪の質が違うんです。このザクザクとした雪は湿気の多い北陸では降りません。関東の人間は雪に慣れていないから転ぶと言いますが、違います。雪質のせいです。北陸の雪はベシャっとしているので転びようがありません。北陸出身の僕も関東の雪では滑って転びますから。
そして固まった雪を湿気たわためあめに例えた歩鳥ですが、皆さん湿気たわためあめは食べた事がおありでしょうか？ なんとも独特な食感です。
スノーボードを描くにあたり、スノボが趣味の漫画家・小野寺浩二さんの仕事場にお邪魔して、ボードの写真を撮らせてもらったり、履き方や持ち方の指南をして頂きました。
今回の原稿が「それ町」史上もっとも締め切りを引っ張った原稿で、読み返すたびにツライ。

第058話「血のバレンタイン」

真田君が歩鳥に惚れたきっかけ「かも」しれない話です。
真田君が中学生時代にサッカー部だった事がわかります。
おかめチョコにドキドキしているのは吊り橋効果ですね。
回想シーンのこぶ平は髪の毛が多い事に注目してあげてください。
そういえば小学生時代の歩鳥が誰にチョコをあげようとしていたか、結局わからないまま最終回を迎えましたね。

8巻

第059話「笑ってごらん」

だんだんタッツンがオタク趣味を隠さなくなってきています。
3年次春頃でしょうか、この頃になるとだいぶタッツンと歩鳥の距離感がお互い良い感じになっていますね。
時系列で言うと、弟の事で二度も歩鳥に相談に乗ってもらった後ですし。
歩鳥が街で無駄な記憶力を発揮して道案内したり、突然ナンパされるという珍体験をします。
このナンパ方法は自分が知らない女性をナンパするならどうするか真剣に考えて描いたものなので、これからナンパに挑戦したい方は参考にしてみてください。
ところで、このミュージカルは「テニスの王子様」のいわゆる「テニミュ」を参考にしたのですが、漫画・アニメの舞台化という文化、残りましたね。
あの文化が途絶えていたらピンと来ない話になっていたかも知れません。

第060話「歩鳥となその王国」

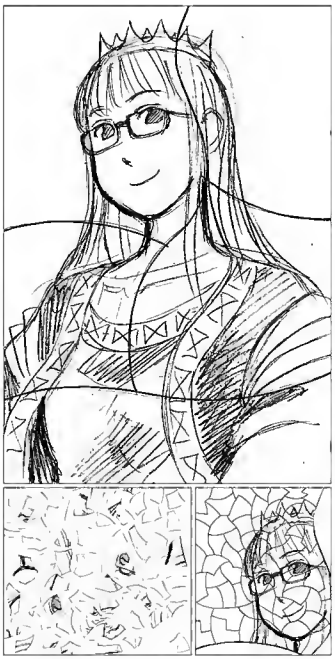
歩鳥が児童文学の世界に迷い込む話です。
最初に歩鳥がつかまっている紐は、本のスピン（栞紐）です。
部屋の片づけを断念し「続きは年末に本格的にやろう」と言っていますが、その結果がどう

なったかは1巻10話をご覧ください。

作中に出てくるジョセフィーヌ王のパズルを描くのに一苦労しました。
一度描いた絵を切り刻み実際にパズルを作って描いています。

第061話「大怪獣 尾谷校に現われる」

中期「それ町」で一番好きだった話です。
福沢さん、まさかの再登場です。初登場時の「映画研究会に入った」との振りからも実は再登場の気配がありましたが。
しかも彼氏がいるそうで。歩鳥を超えるトラブルメーカーの予感です。



◀60話「歩鳥となぞの王国」より実際に製作したパズルのイラスト。

歩鳥が屋上の鍵を持っている経緯は語られていませんが、卒業した紺先輩から譲り受けた物です。
安楽椅子探偵を気取らずにちゃんと現場を見ていれば推理できる優秀な歩鳥を見る事ができ、それを目の当たりにした福沢さんに惚れ込まれ今後、「押しかけ助手・福沢」シリーズが幕を開けることになります。
歩鳥の推理力も時系列が後になるほど上がっていき、3年生時には、なかなかの探偵っぷりを発揮します。
「あれ?」の最上級「ばれ?」は僕が高校生の頃、一部の友人同士の間で流行った言葉です。

第062話「踊る大捜査網」

ユキコがなくしたゲーム機をタケルが探す話ですが、タケルはほとんど登場せず。
この話は今まであまり出てこなかった商店街の人たちが次々シーサイドを訪れるちょっと珍しい回です。
といってもこういう場面が取り上げられなかっただけでシーサイドの日常としては普通なのですが。
枝豆を持って来るおばちゃんはウキさんの幼馴染みで居酒屋与太郎の女将、杉山さん。よくタッツンの名前を息子の嫁の名前と間違える人です。
「トシ子」か「ウメ子」の二択までは来ているんですが…。
よく間違える、なかなか覚えられない漢字ってないですか?「、」が要るのか要らないのか。
何かんむりだったか。
前回こっち書いて間違えたから、こっちが正解だ!と思って書いてみたら逆で。そんな馬鹿な、逆の逆を行ったら逆で、みたいな事が。
杉山さんの中でタッツンの名前はそんな事になってるんでしょう。
平山マリリンもタッツンの名前を呼び間違えますね。そう言えば静ねーちゃんも「たっちゃん」と呼んでいたし…。
タッツンの名前、憶えられ運が極端に悪いんでしょうか。
100円ショップの安根さんは、前職の酒屋のシャツを着ていますね…細かい…。

時期的には2年目の夏ですが、メイドカフェに憧れていたタッツンはすっかりシーサイドに毒されて、お客さんが入ってきたのに座ってスプーンを咥えたまま「おかえりなさいませー」と来たもんです。

第063話「KAPPA QUEST」

またまた北陸の綾鳥家のお話です。
そうめんに錦糸玉子とそぼろを乗せて食べるのは僕の母がよくやります。別に福井の食べ方ではなく母が昔テレビの料理番組で見たのだそうです。それを嫁が真似てウチでもやります。
ハチノスとハスのトリックは上野の不忍池で不思議な光景を目にした実体験を元にしています。
本筋とは関係ないですが、タケルとユキコが山道に入っていくシーンの背景を描いている時、ラジオでバナナマンの日村さんが「歯がトウモロコシのようにボロッと抜けた」という話をしていて、ここを読み返すたびに思い出します。
ユキコがタケルの呪いを解くところは「それ町」では珍しいアクションシーンなので気合を入れて描きました。

第064話「サインはB！」

紺先輩の猫が行方不明に。
子供に拾われるとは厄介です。相手に罪がない分どうやって伝えたら良いやら。

言葉足らずの紺先輩には更にハードルが高い事でしょう。
この話は「ちゃんと伝える」がテーマなのに、歩鳥は何も伝えないでバイトを放っぽらかします。
そして紺先輩の言葉足らずはこの先、ストーリーライン「紺先輩」の最後で最大の誤解を生む事になります。

第065話「さよなら麺類」

ラーメン屋が閉店を決める話です。
ちょっと前に語られた「ずっと変わらないで欲しい」という歩鳥の願いもむなしく、商店街のお店がひとつ消えようとしています。
「それ町」全編を通してコブ平が唯一、たった一度、格好良い事を言う大変貴重な見せ場ではないでしょうか。
コブ平が回想シーンを指差す絵などは、漫画でしかできない演出かもしれません。
時系列的にはだいぶ最後の方の話で、「ナメ子」事件を経て歩鳥がちょっとシリアスな子になっていたり、シーサイドが普通の喫茶店になっていて終わりの気配を感じる回になっています。
まぁ、この後これまでの倍くらい続くんですけど。
シーサイドの真田の後ろにチラリと木彫りの熊が見えるのは、15巻114話「修学旅行」で歩鳥が買う北海道のお土産です。

9巻

「嵐山忍法帳」

モマンの回に発覚したユキコのあだ名「ニンジャ」の秘密。
「はなすとながくなる」との事でしたけど、4ページかかるのでは確かにモマンの回に挿入するわけにはいきません。
終始水場が描かれていますが、カラーという事もあり、風呂場とプールの温度の違いを色合いで表現してあります。
「あんたは忍者か！」と突っ込んだ先生は宇佐美（うさみ）先生といいます。1年生のユキコの担任です。

第066話「燃えよ 歩鳥」

子供の頃、親戚が集まって餅つきをしていた時、あやうく従兄のお母さんの手をつきかけたんですよ。
その時の恐怖の思い出が冒頭使われています。
従兄のお母さんはもっと怖かっただろうな…。
あーブルブル。
ストーリーライン「放火魔」の解決編です。
この話は細かい所がいろいろブルース・リーなので好きな方は探して頂けると嬉しいです。
ついに放火魔が捕まりますが、その際、矢車さんは服が焦げたので最後のシーンでは合服（夏と冬の間に着る中間服）を着ています。

第067話「答弁悟気」

タケルとエビちゃんのお話ですが、タケルにライバルが現れます。
そういえばタケルは「絶対」っていうのが口癖でたまに使うんですよ。「絶対やだ」「絶対違う」とか。
歩鳥は失敗した時に「違う」「違うんです」というのが口癖です。

女子が何に怒っているのか分からないこの感じ！とか、女子がまるで理解したかのように男子の遊びに介入してくるけど何か緩くて違うこの感じ！など、男子女子あるあるをお楽しみください。
ユキコが持って来るボードゲーム「エリザベート邸脱出ゲーム」のエリザベート（文献によってはエリザーベト）は、かの有名なアイアンメイデンや鳥かごといった拷問器具を作った人です。
こんなボードゲームは嫌だ。

女子に集団であだ名を付けられるのは中学生のときの実体験で、僕は「いしぐりん」と付けられました。未だに中学の同級生は僕を「いしぐりん」と呼びます。
ここで、担当とライターさんから「リア充！」とのヤジが入りましたが、自分がリア充だった自覚はあります。家も学校も楽しかったし、男子も女子も不良っぽいのも先生も仲良くしてくれたし。腹の立つことや嫌なこともそれなりにあったけど、親友にも恵まれ、そこそこだけどモテたし。それを全部いつか漫画に活かすため極力観察して記憶するよう努めた事が「それ町」のリアリティを支えたと思っています。

第068話「嵐山ジョセフィーヌ様」

ここで3・11を迎えます。
このネームを布団に寝転がって考えていた時に地震が来て。ここ数日、毎日のように震度3程度の揺れで警報がけたたましく鳴っていたので「またか」とそのまま寝転がっていたら、ちっとも揺れが収まらず、それどころかだんだん大きくなって来て妙に長い警報のカウントダウンが「19、18、17、36、35…」と飛んだり戻ったり続く中、普段倒れない真鍮の花瓶が倒れてカラーンと音を立てた瞬間、ヤバイ！と立ち上がり家の中で一番頑丈な場所へ避難しました。
直後、さっきまで寝転がっていた布団の上に、壁の本棚が真ん中から真っ二つに割れながらバリバリと倒れました。あと数秒寝ていたら下敷きになるところでした。
最初の揺れが収まり心臓がバクバクする中とりあえず家の中でスニーカーを履いて、防災リュックを背負い、テレビを点けたら津波の映像で頭が真っ白に…。
仕事に出ていた嫁とは夕方になって連絡が付きましたが、今日は帰れないとの事で。
一晩中5分おきに警報が鳴り余震が続く不安と恐怖の中、コメディの話を考えなければならなかった夜。
この話を見る度、震災を思い出します。

今回婆ちゃんが腰を痛めます。そして結構長引きます。スキーに行った時も足が痛いと言っていましたが腰を痛めると足に来るんですよね。細かいことですが、亀井堂がウキを認識した頃は、まだお婆ちゃんじゃなくおばちゃんだったので、亀井堂はウキを「おばちゃん」と呼びます。

第069話「流血のプロセス」

誤解だけで話が繋がっていく回です。
ストーリーライン「ナメ子」の重要人物たる溝口奈美子先生がシルエットで登場します。
歩鳥は悪い印象を持っていないようですが、生徒の間では「陰湿だ」という噂が蔓延している様子。
「家庭科の服部先生は拳ダコがあるから今度見てみ？」と歩鳥に言われて、7巻55話を確認すると本当に先生の手に拳ダコがある事が確認できるという仕組みです。
紺先輩が食べているたいやきはよく見るとあんこじゃなくベーコンとチーズ。紺先輩はあんこが好きじゃありません。
「誤解スパイラル」という言葉で思い出しました。この頃「デフレスパイラル」という言葉をたびたび耳にしました。

第070話「大人買い計画」

べちこ焼きの話です。
この回がアワーズに載ったと同時に、この回のアニメがテレビで放映されました。
不思議なことです。というのも、アニメ版の新

房監督による「雑誌に載る最新の話が、同時にアニメで放送されたら面白い」とのアイデアを実現すべく、半年前に「大人買い計画」のネームを描いてアニメ制作会社へ渡してあったのです。

架空のお菓子「べちこ焼き」はアニメ放送翌日、グーグルの検索ワードランキングで1位になりました。

これを描いた当事は作中と同じく検索結果0件だったんですよ。検索に引っかからない名前を探して付けたんですから。

静ねーちゃんの夢に出てくる海羽空市は寺山修司っぽい雰囲気を目指しました。

時間飛行士の記者会見の席では「おかえりなさい」より上に彼の名前が書いてありました。漫画版では切れて見えなくなっていますが、アニメ版だと見る事ができます。

意外な人物の子孫の可能性があります。

第071話「歩く鳥」

歩鳥と紺先輩がスケートに行く話です。

紺先輩が屋上の鍵を持っている理由、人嫌いになった理由などが明かされます。

僕の感触では「それ町」で一番人気がある話じゃないでしょうか。

P126目の、紺先輩が両親に駄々をこねている回想を覚えておくと後でちょっと面白い事があります。

卓球部の先輩の名前も、覚えておくと後でゾッとするかもしれません。

全体的に銀河鉄道の夜をモチーフにしたディテールがちりばめられているので、お好きな方は探してニヤッとしていただければと。

歩鳥が蕎麦を食べるシーンはめちゃくちゃ頑張って描きました。

食べ物を食べる絵を描くときはなるべく腹が減っている時を選ぶようにしています。

第072話「嘘つきリッちゃんの亡霊」

霊が見えるという友達との掛け合いです。

個人的に好きな話です。

最初のニューヨークの無茶振りに、最後上手くはまる所とか、登場人物が多すぎていつの間にか一人増えている所とか。

「それ町」全体のお約束なんですが「10」に絡んで驚くと必ず頭を打ちます。

2巻で万年筆が「10万円」だった時、今回霊が「10人」だった時。この後もまた出てきます。

しかし僕はよほど「11人いる！（萩尾望都・作）」のパロディが好きなんですね。「外天楼」でも使ってるし。どんだけ「11人いる！」って言わせたいんだ。

第073話「森秋 夜空に散る」

森秋、西先生に狙われる！の巻です。

着々と森秋との距離を詰める西先生。そして着々と「ナメ子」事件のミスリードを誘う西先生。

オヤコドン事件のお詫びを兼ねて映画をおごってもらった歩鳥ですが、よく見るとレディースデーである事がわかります。鈴木、ケチ！

お昼を食べている「Fla burger（フラバーガー）」、歩鳥がパンズ病患者からナンバされたのがこの店の前です。

紺先輩が第一志望に落ちたという事が明言されています。

時期的には紺先輩はとっくに卒業後なのですが、紺先輩がどうなったかは読者に伏せられたままです。

時系列シャッフルの利点がこれです。

特別掲載

未収録原稿「ロック」

未収録原稿です。
雑誌掲載時にサブタイトルを付け忘れられるという編集上のミスがあった上、アニメ化の際に作った公式同人誌に再録された時にもタイトルを付け忘れられたため、長らくタイトル不明扱いでしたが正しくは「ロック」です。
なぜ単行本に収録しなかったかといえば、単に気に入らなかったからです。
単純に当時面白いと思えなかったのです。
しかし今になって読み返すと、ズボンの紐あるある、メガネあるあるとタッツンの変顔、数島高校校歌、静ねーちゃんのエロい私服など、見るところもいくらかある気もします。

ぬっぬ……
ムダ毛
フグッ
ゴロゴロ
ゴロ
ヌッ～ガッ!!
ギッ
ギッ
ほうっほうっ
グイ
グイ
グイ
うーツ
ウーッ
調ってんじゃあねー!!
ホウッホウッ
メイド喫茶シーサイド
ーと
いう事で……
ヒモには気をつけよう
自分で様って自分で笑ってりゃ世話ねーな
あはは
あっ今の顔!
間違いない私は見た!!
あぁ…メガネ上げたのよ
匠野さんが変な顔するわけ無よだろ
つーかメシ食ってる横でトイレの話すんなよ……
遅ッよ
今 匠野さんがすっごい変な顔したんだよ
えっ
してないわよ
同じ物が食いたくてふがってるから こう…顔で
なるほど
それ好きな男の前でやるんだからいいよ 絶対
そんなにひどい顔してた!?
バーン
シザーハンズ!!
(和訳)ダルマごと切ってくれ!!
通じたよ
背に尻は変えられん!!
いいの?
はや
しょきしょき
離脱!!
バターン

そんな事いったってメガネずり落ちてくるんだもん
もうちょっとガチッとはまってれば
カチャ
スコン
ガチ
！
……
……
えーん
歩鳥ちゃんはどうせいつもニューシューでいってるからな
ほらほら冷えると水分が減るよ
ヤキャ
……
……
おーおー！ビクともしないぜ！
クリティカルフィットだよ！
こりゃうんとへったもんだな
どれ俺で引っ張ってみるか
おう!!
ほう
りゃあ
カー。。。
一部始終みてました！
どうしたどうした
岳野さんが困ってる事はなんだろう？
どういう意味だ
えへん！どうでしょう？金額がオーバーにはまっちゃった…
若い力に希望の栄光あれ！
あ～疲れた…
ユラユラ
コラーッ
母校　勤島工業高校　校歌
事態は更に悪化
しかも昼食食糸納！
無意味な大人ども…

うわにこっていよのナベと食器ってさ…
そー
ナベセットの一個と食器セットの一個だよ
カチャ

矢はちゃいけない者同士の逆説がたまんねー…
ナベフルー！
食器ビンテー

あ良い事思い付いた
黒山さんがやってしまうに
メガネ分に折ったか

なんで逃げたの～
明らかに白状するタイミングじゃなかったじゃん
…これ
ナベを分解して食器を救うのは
ちょっとシロウトには無理っぽいな……
せめてどっちか片方だけでも救えないかな
ここは取っ手を真っ直ぐに折ってナベを救うのがモアベターね

やっぱりしかないこれ高いのかな
大丈夫だよ婆ちゃんパチンコで勝ったらコキゲンだから
カランコロン

ゴォオオオ
敗色濃厚

チューリップ……全部かれろ……
婆ちゃんの負けを私取り戻すために行って来るー

ミキッ
よっ
わわわわ～
だめこれ以上力を加えると取っ手が取れそう！

取っ手を取って、とっても困るって状況がね！
ちょっと
然っとけ

……や結局
詰みか
素外 大一個
金額 個
無くなっても
然ってれば婆ちゃん気付かないから

といううワケだ
でもホラ 長く使った物には魂が宿るっていうし
ムダとも思えるような物でも
捨てるにしても分別のよくわからない金属アイテムだし
ネ――!?
ウフフ 今日はメンチカツが買えた
良い日だ
アパート
スリーニンゲン屋さんのスキップなんかしてるわ
このダイモングで運の無い男にねんよ
きのう記事は解決した
辰野さんはサスペンスドラマは好きかね？
別にフツー
根本的に何も解決してないな？
殺人事件でのは死体が発見されて初めて捜査するのだ
だから犯人は死体を隠すんだよ
ナベと食器が足りないが気付かない限りこの事件も発生しない！
こんにちはアミちょっと良い？
でもサスペンスの犯人って最後に捕まってから後がすぐんだけどナビ
アンティーク 亀
メンチカツ1個いる？
荒井さん
やっほー
イラ
クワッ
クワッ
クワッ

未収録原稿「ロック」完

10巻

第074話「アネの日記」

ユキコが歩鳥の観察日記をつける話です。
タイトルは「アンネの日記」のもじりです。
僕は20歳を越えるまで「アンネの日記」がどんな話か知りませんでした。
たまたまテレビで放映していたアニメ映画で初めて知ったのですが、まさかあんな悲しい話だったとは。凄いショックを受けました。
タイトルのパロディに使った時も、思い出して「ううっ…」となりました。

第075話「フタバ・デッドエンド」

歩鳥がドッキリにかけられる話です。
ドッキリって何が起きても「ドッキリでした」で許されるので漫画家にとって楽なのです。ただし一回くらいにしておかないと信用を失う。
ドッキリにかけられながらも冷静に見破る歩鳥と、裏をかいたつもりで裏の裏をかかれている間抜けなタケルと歩鳥が整理している写真は、埋蔵金探しの時の物です。
ユキコの日記に「しんじゃエール」と書いてありますが、子供なのでジンジャーエールを「神社エール」とでも思っているのでしょう。

第076話「嵐山家 家事担う」

5巻40話の「嵐山家 火事になる」のタイトルにかけてあります。
親が法事で出かけたので歩鳥が嵐山家の家事を担う話です。
地味な話ですがこれから描きたい話に合わせた振りがたくさんしてあって、今読み返してみて驚きました。
まず、竹刀や剣道着がチラホラ見えてユキコが剣道を始めている事がうかがえます。
「メイド経験者としては」という歩鳥の発言からメイドを辞めている事が分かります。
学園祭用のシナリオを執筆している様子も見られます。真田のシャーペンで。
あるトラウマ（ナメ子事件）から、男女の事にアドバイスする歩鳥の歯切れがとても悪い。
玄関先には、修学旅行で買った木彫りの熊が置いてあります。
タケルは進級して担任の先生が板垣先生から曾根先生にかわりました。
静ねーちゃんは翌日からアフリカへ行くそうです。
「STRONG STRING」という紐を買ってきました。強い紐という意味です。
なんとたったの一字違いでストロングとストリングという顔を踏める事を大発見し描きました。
「引田天功」と「万有引力」は別に似ていませんが、とっさに出てきたところをみると歩鳥の中では同じ箱に入っていたのかな。

第077話「巣」

体育祭のお話です。
雑誌掲載時、男子のパンツを黒く描くミスをしてしまい、単行本収録時に白に直しました。
白いものを黒くするのは簡単ですが、黒いのを白にするのはなかなか大変でしたよ。アナログ原稿だし。
余談ですがこの頃に「外天楼」の単行本が出たので、障害物競走の粉で汚れた歩鳥の顔が、キリエのひび割れた顔を思い出して怖いと何度か言われました。
…そんな事言われても…。
紺先輩が予知夢をうっすら自覚しているような事を言っています。
歩鳥に触発されて本気で走る紺先輩に、アンチの3人組があっさり掌を返します。
廊下の向こうからやって来る歩鳥のシルエットは、日常風景に異物がいる「真・女神転生」や「真・女神転生if」の雰囲気ですが…まぁメガテニスト以外には何を言ってるか分からないでしょう…。
ここで歩鳥が「違う」と言い訳していますね。対するタッツンの「何が違うの！何も違うことないよ!?」という、子を叱るお母さんのような冷静な返し。ここ好きです。

第078話「Detective girls 2」

コブ平行方不明事件を安楽椅子探偵するタッツンと歩鳥です。
この話は舞台劇を意識しているので、ずっと店の前で話が進みます。
登場人物も舞台袖や、背景セットから現れて、最後はシーサイドのセットへ皆が入り舞台上に誰もいなくなり、お店にパッと明かりが灯る演出で終わります。
セットでも舞台でもないですが。
ようやくタッツンは歩鳥が探偵ごっこをしてるんじゃなく、本気で推理していた事に気付きます。

第079話「歩鳥の戦争」

オンラインゲームに依存するタッツンの弟をどうにかする話です。
「大怪獣屋谷校に現わる」を抜いて中期で一番気に入っている話です。
今も時々読み返します。
辰野 虎太郎の名前は出てくるけど一切本人の姿を見せずに終わる演出も良い。
七瀬は歩鳥とは普通に話すけど、タッツンとは目を合わせられないんですよね。わかるその感じ。
人と目を合わせて喋るのはMP（マジックポイント）が必要なんですよ。相手によっては必要消費MPがこっちの最大MPを越える場合がある。
そうなるとも、一切目を合わせられない。

第080話「謎の円盤」

謎の金属が10万円の話です。
歩鳥が買ったニセスニーカーはナイキのスパイズィックがモデルです。
スニーカーを買う回想は2年目の春なので、以前の巻でもこの時期以降なら既に履いている筈です。
何かの雑誌で見て、欲しかったんですが日本では売ってないモデルだったので歩鳥に履かせました。
ここでも「10万円」で驚いて頭を打ちます。
紺先輩の部屋ではテーブルの上に受験票があり、目を凝らせばなんとか「下蘭女子大学　家政科　受験番号００３３４１」と読めます。
この時点で紺先輩は第一志望に落ちており、これは第二志望です。
静ねーちゃんと歩鳥は似たもの同士で、同じスニーカーを騙されて買っていますが、ここも誰も突っ込まないので読者に気付いてもらうしかありません。
この演出をツイッターで内藤泰弘先生に褒められた良い思い出があります。

第081話「歩鳥ファーストキス」

歩鳥が初めて魚のキスを釣る話です。ばかばかしいタイトル…。
早朝のお出かけ感が出るよう頑張って描きました。
ピスタチオ入りハムのベーグルサンドは、さも自分が見つけた物みたいに紹介していますが、実は14巻１０６話「図書館の回し者」で紺先輩が食べているのを見て知ったんですよ。
「エチオピア」と言ったか言わないかの押し問答、現実だとどっちかが渋々引くしかありませんが、漫画なので時をさかのぼって前のコマを確認できます。

11巻

第082話「最後の謎」

意味深なタイトルですが、最後にひとつ謎が残ったという話です。

ユキコの「げきじょうばん鬼面ライガーのえいが」、「劇場版」と「映画」が被っているんですがユキコなので流してやって下さい。

タッツンはまだ趣味を隠そうとして悪あがきをしますが、今回決定的にバレます。

歩鳥も読者も薄々気付いていると思うんですが…。

このドラマの女優さん、演技してる時は可愛いのに撮影が終わったらすごいツンツンして感じが悪いですね。

俳優の方は名越英一といって、某有名サスペンス俳優をモデルにしていますが、女優の方にはモデルは居ません。念のため。

名越は子供が落としたペンをわざわざ拾ってくれている所からも人の良さがうかがえます。

第083話「闇に棲む声」

廃ビルのそばで缶蹴りしてたら幽霊が出た話です。

缶蹴りのシーンは歩鳥の高校入学直前の春休みで、タケルの遊び仲間もメンバーが若干違います。

マッキーがジャンケンの最初にチョキを出すのはこの頃から変わらずのようですが。

「関係者を集めてくれたまえ」と、静ねーちゃんが憧れの探偵的なセリフを言いますが、歩鳥が同じセリフを89話「現代版まだらの紐」にて全く不本意な形で言う事になるのが11巻全体のオチになっています。

この段階で「ひとを見た目で判断する奴は探偵失格であります」との探偵訓が伝授された筈なのに歩鳥はムーちゃんの一件で同じ失敗をします…。

第084話「夕闇の町」

ユキコが謎の町に迷い込む怖い話です。

扉絵の石がやたら描き込んでありますが、ちょうどこの頃開催された大友克洋展に行ったせいです。

この回で良いのはユキコが昼寝から覚めてご飯を食べて家を飛び出すまでの、夏休み感だと思います。

あとP60右下のユキコの顔がお気に入りです。

漫画なのでいかんせん色んな表情に顔が崩れますが、僕の中ではユキコはこの顔がデフォルトです。

自分で作って散々描いたキャラクターでありながら、コマによって「これが一番本人に似てる」って顔があるんです。変な話ですが。

ユキコが失くしたゲーム機は、8巻62話「踊る大捜査網」で無事見つかる事を、あなたは既に知っている。

第085話「紺先輩は謎だ！」

紺先輩の別荘へ行き、紺先輩の両親の事が分かる話です。

扉絵は歩鳥とジョセフィーヌと紺先輩で「KON」と描いています。

夏休みの風景もコタツの風景同様、こだわりがあり大事にしているところです。

P89目、急に動いた歩鳥が触らないようサッと鎌の刃を手で覆う紺先輩が良い子なので見てあげてください。

問題のシーンなのがP92ですが、覚えていますか、9巻「歩く鳥」で紺先輩が駄々をこねた回想シーンを。

歩鳥に語るにあたって紺先輩は、まるで聞き分けよく送り出した風に嘘を言っています。

誰も突っ込みようがないので、読者が突っ込むしかないです。

第086話「非行少年飛行少女群像劇」

1年目夏、プールに行ってウォータースライダーをやる話です。

女子4人男子1人って漫画的にはおいしいシチュエーションですが、実際気まずいだけです。

浅井はこれに参加したから海老州さんとの最初のフラグが立ったんでしょう。

時期的にはまだ1年生の夏なのでタッツンが自分のカナヅチを隠していますね。本当は「泳ぐのあんまり得意じゃない」どころの騒ぎではないのですが。

この漫画でタッツンが水に近づくと必ずといって

良いほどひどい目に遭います。
輪島さん良いキャラしてますね。
ウォータースライダーで寝姿勢になると本当に危ないので注意です。

「女と遊ぶのって思ったほど楽しくねーな」「山口さんは楽しそうでしたけど」…わかります。異性と遊ぶのって向き不向きありますから。僕も同性と遊ぶ方が向いてます（ただし嫁は別格です）。
今回真田君や城嶋君が遊んだ女の子たちは校則が厳しいんで有名というお嬢様校、聖ヘレンズ学院の生徒です。
どんなに厳しかろうが、こうして遊びたがる子はいるものです…。

それにしても真田君の目は科捜研の防犯カメラ解析くらい凄い性能を持っているな。

第087話「陰謀は霧の中」

ウナギと霧のお話です。
この話が掲載された後、例のウナギが好きな初代担当から「ウナギが食べられなくなったらどうしてくれるんですか！」ってメールが来ました。
この話は時系列的に5巻「大風の夜に」と次回「ミラクルスーパーラッキー指輪」の間に位置するので、紺先輩が指輪をしていません。
どんどん霧が濃くなり帰れなくなって…こんなシチュエーションで友達と喫茶店に閉じこめられたらワクワクするだろうな、と思って描きました。
一緒に楽しんでいただければ幸いです。

第088話「ミラクルスーパーラッキー指輪」

指輪のおかげで怪我をしなかった奇跡のストーリーです。
台風の夜に歩鳥に拾い飛ばされて失くした指輪が紺先輩の元に戻ります。
冒頭は紺先輩の予知夢です。
一見自分が何かに手を挟んで怪我をする夢かと思いますが、最初の4コマは歩鳥の手なので指が短いのです。痛いよーのコマは紺先輩の手なのでスラッとしています。

この回の執筆期間中ニューヨークのコミックコンベンションにゲストとして招かれたので、一部はニューヨークのホテルで描きました。
折角ニューヨークに行ったのに結構な時間、ホテルで原稿描いてました。
その時の話は「ソレミテ～それでも霊が視てみたい～」の1巻に数ページのオマケエッセイ漫画として収録されているので、興味があったらよろしくお願いします。

そして、「それ町」を最後まで知っている方はP147　4コマ目の左端を見てゾッとして下さい。

第089話「現代版まだらの紐」

嵐山家の庭の物干し竿が折れているので時期が特定しやすいと思います。

あと、「ウナギ」と「ウサギ」が似ている、と思って描きました。

マッキーが紐に襲われ、交換ノートに犯行予告が書かれる話です。
話の大枠はあったんですが、なかなか綺麗に整わず、上野の喫茶店で嫁の用事を待っている間にバチバチとうまくまとまった思い出があります。
この話に限らずですが、各年齢層のキャラが年相応の動きをするという事に注意しています。
小学生には小学生の、高校生には高校生の限界があって、そこを逸脱しすぎると何か大事な面白さを損なう気がするんですよね…。持論ですが。
こんな風に友達の家に集まったらさぞ楽しいだろうな…。
タケルが状況証拠だけで良いところまで行くのですが真相はつかみきれず。最後に歩鳥に頼るあたり、姉に一目置いているのが分かります。

12巻

第090話「消された事件」

話は巻頭カラーの部分から始まっています。いつものようにカラー部分は独立した話だと思っていると途中で急に繋がって来ます。
カラーでは、クラスメイトの入学当時の姿が見られます。
後にハデ組と呼ばれる女子の純朴な姿や、パンダナをしてない七瀬など。
また、親御さんの顔と10巻11巻付属のクラスメイトピンナップを見比べて、誰が誰の父母か当てて

みるのも一興ではないかと。
本編で婆ちゃんが杖をついているのは、9巻68話でジョセを捕まえようとしてやっちまった腰のせいです。
歩鳥が静ねーちゃんと同じ高校を受験して落ちていた事が判明します。
宇宙人のアイテムは2巻「穴」で黒宇宙人が持っている物と同じです。ここでの使い方を見れば「穴」のオチの後どうなって二人が無事だったか想像付くと思います（今頃）。

第091話「まぬけな大晦日の過ごし方」

タイトルそのままの話です。
この回で時系列と矛盾するセリフを言わせてしまうミスをして、単行本で修正しました。
歩鳥は気付かなかったようで後で驚きます（単行本未収録「時限爆弾」）が、歩鳥の中学生の時の友人が巫女のバイトをしているのが分かります。
そして「自分の身は自分で気を付ける事だから」と神様にお願いしなかったせいかどうかはわかりませんが、この年の春、歩鳥は車に接触して入院します。
歩鳥は酔っ払うと泣きながら、どんどん過去を懺悔しはじめる癖があるようです。

第092話「ナイトストーカー」

実の姉をストーキングする弟の話です。この話も好きですね。現担当は「病んでる」と言いますが。歩鳥の髪がバッサリ行く前なので、ちょっと長めです。
タッツンが寝ている脇に置いてあるのは僕の著作「木曜日のフルット」です。なぜかというと、作者さえ読んでいると寝落ちする睡眠導入漫画だからです。
過去には単行本作業のためのゲラを数枚チェックしたところで寝てしまった記録もあります。
この話で「それ町」が企画段階の時から居た、タッツンより先に生まれたキャラである虎太郎の顔がようやく出ました。

第093話「歩鳥はコタツで推理する」

雪山と編集部の幽霊の事件に挑む安楽椅子探偵ふたつの話です。
ひとつずつでは一話分保たなかったので、ふたつくっつけました。
吹奏楽の先生は和田 幸男（わだ さちお）といいます。ルイ・アームストロングがモデルです。
真琴たちが居る廊下に「お風呂は1階と3階にあります」と書いてあるので、実はここが2階である事がわかります。
雪山のロッジは冬場に1階が雪に埋もれるため2階に入り口がある、というのは本当です。
細かい所では、真田君の携帯のストラップは4巻の埋蔵金探し旅行のお土産です。

編集の黒崎さんがよくやる、両手の人差し指を立ててクイクイッと上に向けるポーズには、話せば長くなる由来がありまして。
以前、漫画家のあらゐけいいちさんとお会いした時、共通の編集者の知り合いが居る事が分かり「あの、あんまり喋らない人ですよね？」と確認したら、あらゐさんが冗談で「いや、僕とはよく喋ってくれましたよ。こんな事してました！」と、変なポーズを取ったんです。
それがあんまり面白かったので、黒崎編集のポーズに使いました。

第094話「A.K.G.A.R.E ロンギング」

憧れの人の話です。
12巻のあとがきでも書きましたが、シンディ・ローパーに歌詞使用の許可をもらったんですよ。
シンディ・ローパーご本人がネームを見たかは分かりませんが、少なくとも側近のマネージャーの所までネームが行き返事をもらったのは確かだそうです。
紺先輩の部屋に入る時に歩鳥が「こんせんと」という、どうしようもない駄洒落を言います。これは例によって歩鳥が勝手に勘いたのです。
寝てる友達の口に塩を入れるって、大学生の頃やったな…。
神崎アキトの本名は杉山のり夫。
ここで居酒屋与太郎の女将がなんでいつもタッツンの名前を「ウメ子」と間違えるのか判明します。
ほとんど会わない息子の嫁は、多分タッツンに雰

囲気が似てるんでしょうね。
紺先輩がなぜか所持しているCD「うたでおぼえる日本の歴史」は神崎アキト作曲だったから押さえてあった事もわかります。

紺先輩があんこ苦手なのを知っていてチーズの大判焼きを買ってくるあたり、歩鳥は目ざとい。
すっかり紺先輩のファンと化したためぐっぴの今回のお弁当はスペアリブとTボーンステーキとラムチョップです。
これを描いた時、肉が食べたかったのでしょう。

第095話「ユキコの剣」

ユキコの剣道の話です。
この話を描くために、剣道の審判をやる人が読む本を買って来て読みました。
当日の服装、立ち位置、旗の上げ方、子供が反則した時の注意の仕方とか、本物に近い筈です。多分。
子供の反則を注意する時は、やる気を損なわないよう褒めるところは褒めてから注意しないといけないらしいですよ。
注意の仕方ひとつで辞めてしまう子もいれば、伸びる子もいるんです。と、書いてありました。

針原さん、ジャンル問わずスポーツ観戦が好き、と言っていますが野球は好きじゃなかったというキャラのようですね。
主に1対1のスポーツ全般の事を指しているのではないかと。
歩鳥と針原さんの組み合わせは珍しいですね。これ以外だとミュージカル観に行った話くらいですか。多分、他にもこの二人で遊ぶ事はあったんでしょうが、いかんせん針原さんは常識人なのでエピソードとして掬い上げられないのでしょう。

第096話「幽霊絵画」

歩鳥の謎のモデル体験、そして涼ちん登場です。
サイコロ絵画のその後のプランが固まってきたので話を一歩進めた回です。
この回のサブタイトルは大後悔してます。できる事なら時を遡って付け直したいくらいです。
「絵」というタイトルにしたい。
そうすると「悪」のストーリーラインが「目」「絵」「赤」「虚」「悪」で、全部「文字シリーズになったのに…。
一文字シリーズは「赤」の時に思い付いたので手遅れでした。
ああ、付け直したい。

それと凄い秘密を発表しますけど、室伏涼はウルスラ（魔女の宅急便）がモデルではありません。
ジブリ大好きでジブリのパロディも多いですが、室伏涼は違うんです。
しいて言えば、宮原るり著「恋愛ラボ」がアニメ化した際に出版された「恋愛ラボ8・5巻」に寄稿したエノが外見的なモデルです。
エノ本人というよりは、自分で描いたエノがモデルですが、どちらにせよ「恋愛ラボ」がなければ涼ちんは今とは違った外見になっていた事でしょう。
抽象画を描くという共通点もウルスラ説に一役買っていると思います…。

第097話「二少女漂流記」

タッツンと歩鳥が漂流しかける話です。
サブタイトルは元ネタを知ってる方は「少な！」と笑ってください。

コブ平も勝手に動くキャラでした。ある意味主人公の歩鳥よりもよく動きます。例えるなら本番で勝手にアドリブを入れる俳優みたいな周りが困る動き方をするんです。
今回も見ていてこっちが不安になるくらい調子に乗って、案の定埋められてしまいました。
最後も歩鳥とタッツンよりカメラの事ばかり気にしてて、本当、困ったオッサンです。

離岸流は本当に危ないので気をつけてください。
横へ逃げるんです。「それ町」を読んでいたから助かった、なんて事になると良いですね。

第098話「エピローグ」

これはエピローグではなく、「第98話エピローグの巻」ですからね。

冒頭、タッツンが真似をしているのはナメ子ことの口先生です。
時系列上の約ひと月後、あんな事になるとはつゆ知らず歩鳥も大笑いです。

その涼ちんが描いた歩鳥の不気味な抽象画ですが、少し離れて見ると座っている歩鳥のシルエットをしています。右にある目が歩鳥のちょんまげです。

この「エピローグ」は結局歩鳥の未来予想なんですが、誰もが変わらず健在な所に歩鳥の切なる希望が盛り込まれているわけです。
雑誌掲載時は勿論、単行本でも収録順序を変え12巻の最後に入れる事で、これにて終わりなんじゃないかという要らぬ誤解を生みました。
冷静に読めば「静ねーちゃんが小説家としてデビュー」の件で歩鳥の創作であると気付ける仕組みになっています。

13巻

第099話「張り込み」

タケルとエビちゃんがいちゃいちゃする話です。
扉絵を1巻の「目」のセルフパロにしたつもりだったのですが、現物を見ずに記憶だけで描いたため割と別物になってしまいました。
なんとなくコンセプトは似ているでしょう。
この話はウチのマンションで、要らないチラシを集合ポストの上に放置していく馬鹿が出現したため、犯人を特定する方法を考えていて思い付きました。
実際に実行する前になぜか放置が止み、犯人は不明のまま解決しました。
「世の中にはトリックじゃどうにもならない事もある。とくに男と女の問題は」とは、ナメ子事件を受けての重い言葉です。
時系列的に「ナメ子事件」以降の歩鳥は、男女の問題に関わるのを嫌がるようになります。可哀相に…。
勅使河原ケント。タケルが超えるべき相手の名が明らかになりますが、今回をきっかけにこれまで受身だったタケルが初めてエビちゃんを繋ぎ止めるための行動に出ます。
はいはい両想い両想い。これにてストーリーライン「エビ×タケ」はENDです。

第100話「犬事件」

行方不明になった3歳の女の子を探してジョセフィーヌ大活躍。
においの視覚化をやりたかったので描きました。
真田が勘違いしていて話がややこしくなっていますが、歩鳥やタッツンだけを見ているとただ犬を探しているだけという。
本当に女の子が行方不明だったらその子の靴を指でクルクル回すような子じゃないです、歩鳥は。

第101話「モテない紳士」

男子たちの学園祭です。
珍しく男子が主人公をしている男子目線の話です。
女性読者の方、男はだいたいこんな感じだと思ってもらって構いませんから。
片想いしたクラスのイケメンも、憧れのあの人も、だいたいモテる事か、エロか、趣味の事しか考えてませんから。
大人になると仕事の事が加わるくらい。
真田君みたいなイケメンでもこんなもんですから。
この話でクラスメイトの長岡さんに彼氏が発覚したら色んな人から不服申し立てがあり、アマゾンレビューでも触れられるほど不興を買いました。
そんな人気のあるキャラだったのかよ？知らないんだけど!?と、なりました。
まだ3年生で在学中の涼ちんが美術室で受付をやっています。真面目にやってるようには見えませんが。
「美術部」「展示」の張り紙に花や蜂が書き込まれているのは、涼ちんが暇つぶしに落書きしたものです。
スチャダラブーのライブを見ている観客の一番後ろにいるニーソックスは「私もバンドやりたい…」と思っている紺先輩です。
そして翌年MAZEが舞台に立つ事に。

第102話「廃村」

この頃、メディア芸術祭で賞をいただいたので、自分へのご褒美として好きな事をやりました。
いや、これまでも好きな事を描いて来たのですが「廃村」は雑誌掲載時は3回に渡る読み物だったのです。
一話完結スタイルがデフォですが、今回はお祝いに我慢していただきました。勝手に。
紺先輩が「B型の女とは合わない」と言い切る最大の理由は、本書のキャラクター図鑑でも発覚しますが座成が実はB型だったんですね。
タッツンもB型だし亀井堂もB型。確かに知って

か知らずか紺先輩はB型の女と敵対しますね…。紺先輩があれでなかなか鋭いのは亀井堂が裏で何かやってる、と主張する所です。なにか確証があっての事ではないでしょうけど、勘ですかね。推理などはからっきしできませんが、第六感的なものは大した物です。予知夢とか。

「くねくね」の怪談をご存知でしょうか？知っていると紺先輩が「くねくね」を目撃するシーンが理解しやすくなります。

オカルト好きには基本の話なので、興味があればネット等で調べてみて下さい。

P94　3コマ目の茂みに霊がいます。というかシミュラクラ現象で茂みの写真が顔のように見える、を漫画でやってみました。

サブリミナル効果で怖いかなと思って。

僕はお酒も炭酸も飲まないんですが、静ねーちゃんがビールを飲むシーンをリアルに描くため、寝起きの乾きに炭酸水を飲むという体験をして感覚を掴みました。以来、炭酸水は飲めるようになりました。

また紺先輩が枝を拾っていますね…。なんか、かざしたりしてずっと持って歩いていますね。

ともかくこの話は「それ町」のお祭りみたいなものなので、お泊り、温泉、肝試しなどを一緒に楽しんでいただければと思います。

第103話「闇の中の消失」

ミステリっぽいサブタイトルですが闇鍋の話です。これは罰ゲーム的な要素を孕んだ世間の闇鍋イメージに警鐘を鳴らすために描いたと言っても過言ではありません。

この闇鍋は実際に作ってもそんなに食えない物にはならない筈です。

勿論ブルーベリージャムは入れてはなりません。コブ平は無かった事にされてハッピーエンドでした。

第104話「暗黒卓球少女」

紺先輩のストーリーラインです。

この回のネームを読んだ当時の担当が「どうしたんですか、良い話描いちゃって」といった時は内心ほくそ笑んだものです。いや、実際に顔が笑っていたかもしれません。声に出て笑ったような気もしてきました。

これは、ある事に気付くとゾッとしたり読み味が変わる話です。

わからない方は9巻「歩く鼻」を読み返してみてください。

それでも針原さんには美しい思い出なのです。

冒頭のヒャッハーは女の子です。ヒゲが生えてますが。「デス山」と「キル崎」といいます。

他の出版社の編集さんが鎖の卓球ラケットをいたく気に入って「これ欲しい」といってくれた覚えがあります。何に使うんだ…？

扉絵のチャイナ服の女は「ドラゴン桜」という名前です。

第105話「呪いのビデオ」

押しかけ助手、福沢シリーズです。謎の映像を歩鳥に持ち込む話です。

扉絵のTシャツの「OBK」はOBAKE（オバケ）です。歩鳥の顔のせいか「OBKはオバケですか？」という質問を何度か頂きました。

3年時の夏前という事で歩鳥の探偵が様になって来てます。ちゃんと考え、調べて聞いて見に行って。依頼人も大満足です。

実際これ、よく解けたなと思いますよ。

P190の歩鳥のノートをよく見ると「辰野、真田と結婚、太る」など「98話エピローグ」のプロットがメモしてあるのが分かります。

「オカルトに詳しそうな人が肝心な時に日本にいない」とは、この期間イギリスに旅行に行ってる紺先輩の事ですが「紺先輩は卒業後日本にいないのでは？」というミスリードに読者を誘っているのです。

P198の職員室のシーン、手前の歩鳥と森秋のやり取りを奥で聞いている芹沢先生の図ですが、更に奥で聞いている女教師がいます。

賢明な諸君は、誰だかお分かりの事と思います。

ところで、いっこ回収しないままの伏線があるのでこの場を借りて説明します。

ビデオに映っている井戸から伸びる手は、芹沢先生も当時撮影した覚えがありません。

だいたい、この井戸は地面の上にブロックを並べただけのものなので、物理的に人間が隠れて手を伸ばすスペースもありません。

この手は一体……？

14巻

第106話「図書館の回し者」

紺先輩と学ぶ図書館の使い方。
この話は図書館利用のきっかけを作るくらいの勢いで描きました。
図書館司書の方の案内で図書館を利用するという綿密な取材の元、完成した話がこれです！
検索されたUFO関連の本の中に、よく見ると小野寺浩二先生が書いた本がありますね。
今の所、実在しない本ですがそのうち本当に書くかもしれません。
歩鳥が将来のことを真面目に考えたりもします。

第107話「歩鳥撃沈」

眠れなくてプールに落ちる話です。
寝付けない感じと家族が寝静まった家をリアルに描けるよう頑張ってみました。
寝付けないときは無理に寝ようとせず起きてしまった方が良いと、何かで聞きました。
歩鳥も何かでそう聞いていたので、起き出したのでしょう。
ちなみに歩鳥はこの時ノーブラなので水に落ちた後は胸元を隠しています。
前にもこんな話がありましたね…。別にノーブラにこだわりがあるわけではないですよ。
寝る前だったから付けないんじゃないかなと思っただけですよ。まったく。
結局、比音小学校に出る6年校舎の幽霊は未解決で正体すら不明です。
怪異や事件が全部登場人物周りでスッキリ解決するとはがぎらないのが「それ町」です。
この幽霊は次の世代の知らない誰かが、何らかの真相に辿り着くのかもしれません。
ところで、作中の「幽霊の手形つきハリウッドTシャツ」を少年画報社がグッズとして制作し、その際に本物の女子小学生に手形をつけてもらったらしいです。

第108話「続・夢現小説」

歩鳥と静ねーちゃんの師弟関係の話です。
北村 早希と亀井堂の話の発端でもあるんですが、そっちは歩鳥の高校3年間から外れた話なので「それ町」では描かれず終いでした。
北村が女性用の時計をしており、それが静の手に渡り（13巻「廃村」など）その後どうなって現在、北村はどうしているのか？これもいずれ機会があれば…。
静ねーちゃんのデビュー作「雲丹飛行船」は北村との思い出から着想を得ているのでないかと憶測する事ができます。
歩鳥が静ねーちゃんに見せている原稿はよく見ると「少女A」というタイトルである事がわかります。
最終話「少女A」で完成するかどうかわからなかったシナリオは無事最後まで書けたようです。

第109話「ドッペルゲンガー」

押しかけ助手・福沢シリーズ。彼氏が浮気編。
ミュージカル同好会が歩鳥にシナリオ制作の依頼に訪れます。
これを見るに「少女A」の上演は、一定の評価を得た事がうかがえます。良かったな、歩鳥！
川島君とに科君、似てるんだけど微妙に違うギリギリの描き分けに苦労しました。
鼻と目の間隔がちょっと違うんです。
実は二人いたっていう、ミステリとしては実にひどいオチなんですが、そこよりもドッペルゲンガー論みたいな事がメインです。

第110話「お姉さんといっしょ」

最近、こういう微妙なクオリティのオリジナルおまけフィギュアほとんど見なくなりましたね。出来の良い版権キャラものばかりで。
少なくとも僕は買うんですけどね。6個くらい。
ついにマッキーがジャンケンで最初にチョキを出す癖を利用する時が来ました。
まだ13巻99話「張り込み」より半年くらい前の時期なので、タケルに危機感はなく「ま、今度はエ

ビちゃんと一緒にしようかな」みたいな余裕をブッこいています。
怒るエビちゃんにも「やれやれ」的な態度です。

カードゲームを通じて出来た友達の山本君とはあれ以降も仲良くしている事が分かります。二人は親友になり中学でも…前にどっかで書きましたねコレ。
そしてむやみに思わせぶりな西尾君がドドド効果音と共に再登場です。めちゃくちゃ高い所に立っているように見えますが、高さ20センチ程度の砂場の縁です。
西尾君自身はゴルゴンの迷宮にさほど興味はないようで、買えそうなお店の情報を教えてくれます。ラスボス的な風格があるだけで普通に良い子ですね毎回この子。

苦労の末、見つけた「ゴルゴンの迷宮」ですがタケルは我慢して言いだしっぺのマッキーに譲りました。
この時もチョキを利用します。

歩鳥とタケルが同時に同じものを探した場合、歩鳥の方が先に見つけられるようです。

第111話「夢幻小説」

パラレルワールドの話です。
ここでライターの高木さんから「111話がP111から始まってるのは意図的なものですか!?」と、やや興奮気味に質問が。
そんなわけあるかい。たまたま偶然です。こんな事調節できたら凄いわ。

誰かが存在する事で影響する事、の話です。
プラスであれマイナスであれ。
これまで、ほぼ予想が付くけど完全には書いていなかった門石梅和＝静ねーちゃんという事実が、完全にハッキリ明示されます。
静ねーちゃんの影響がなければ歩鳥はミステリ好きじゃなかったかもしれない。
ミステリ好きの歩鳥が現れなければ、パラレル静は小説家の道を歩まなかったかもしれない。
二人の因縁がパラドックスを引き起こし、歩鳥は異世界から弾き出され事事帰還します。

第112話「エビの恩返し」

伊勢海老を海に逃がしに行く姉弟の話です。
この話ね、半分実話なんですよ。
まだ「ふるさと納税」が今ほど盛んでなく、どの市にいくら納めたら何がもらえるとか、そんなシステムもほとんど無かった頃の話。嫁の母の地元にふるさと納税を納めたところ、大変喜ばれ、ある日その市から突然生きた伊勢海老が送られてきたんです。
箱に入れられて遠い所へ運ばれたでっかいエビがゴソゴソ動いてるの、殺して食べるのが忍びなくて、これはもう海に逃がすしかないという話まで行くんです。
現実は、担当に相談したら引き取りに来てくれて、一時間後、綺麗に調理されたエビの写真と「めちゃくちゃ旨かったです！」との感想が携帯に送られてきました。

漫画の方へ戻りますが、エビを逃がすシーンでは箱の中にちょいちょい糸が見えているんです。
「糸でも付いてやしないかと思って見なければバレないって」というのを視覚的に実践したものです。
タネを知ってから見ると糸が見えると思います。

第113話「赤」

森秋邸で発見された真っ赤な絵の謎に挑む歩鳥と涼ちん。
森秋先生は登場時からどことなく裕福そうな気配を漂わせるようにして来ましたが、漂ってましたでしょうか？

涼ちんと半年振りに再会します。
どうもこの学校での様子を見るに涼ちんは高校生の頃からタバコを吸ってたし、宮崎先生は知っていて容認していた気配がありますね…。
もう卒業したから良いかとばかりに校内でタバコを吸わせています。
これくらいのゆるい先生は高校にはいました。

あ、また思い出したので突然語ります。
「それ町」では年齢による大人の印象の違いを描き分けるべく、小学校の先生はちゃんとした大人の見本みたいに、高校の先生はだいぶキャラが立って親しみがある風にしてあります。

この話はなんだか中途半端なところで涼ちんがオチをつけて終わってしまうのですが、本当は途中の話で、この後「虚」「悪」へと続きます。

前の話にあたるのは「幽霊絵画」です。
なんで「絵」ってタイトルを思いつかなかったんだろうなぁ…。

赤い絵に被せてあった鍵の絵にはサイコロも描かれていて、ヒントは全て揃っています。

15巻

第114話「修学旅行」

修学旅行へ行きます。
高校の修学旅行感が出るよう精神統一して当時の気持ちを呼び起こしつつ描きました。

描くにあたっては北海道へ取材旅行に行き、作中と同じ場所を回っています。
取材には「ソレミテ」や「おばけ道」でおなじみ、オカルト仲間の小野寺浩二さん、天才的おっちょこちょい宮原るりさん、そして担当をはじめ親しい編集さんらが同行し非常に楽しかったです。
その楽しさを一滴も残さず漫画に入れなければ申し訳ない。
ということでS日で選刻しているB組の「宮原」、これは宮原さんの事で、当日飛行機に乗り遅れたのも事実です。

この話はとくに描いていて楽しかったな…。普段より長めの一話で作業的には大変でしたが、いつまでも描いていたかったくらいです。

第115話「飛ぶ鳥」

紺先輩が九官鳥事件をひとりで解決しようとする話です。

またもや紺先輩が卒業後外国へ行くかもミスリードを入れつつ始まります。
歩鳥が柔道強いという潜在的な能力を発揮しますが、これは昔の読み切り「夜は赤い目の世界」で登場した歩鳥が柔道家だった事に由来しています。

「手がかかる上に懐かないなんて困ったやつだな」という紺先輩のセリフはそのまま紺先輩の事です。
「お前が言うな」という突っ込みをお待ちしております。

どうでもいい細かい所ですが紺先輩がドヤ顔でさしている黒い折り畳み傘、持ち手がネコの形をしているのですが紺先輩はコウモリだと思って買ったのです。
コウモリ傘とかかってるんだと思って。ところが後日、別の色のバージョンも売っている事が判明し、猫だった事に気付きました。
使い所の無かったネタなので、ここに書いておきます。

昔は九官鳥ってよくお店の軒先なんかで飼われてたもんですが、めっきり見なくなったなと、あれは一過性のブームだったのかなと思って調べたら、ワシントン条約でおいそれと手に入らなくなったそうです。
九官鳥の飼い主は3巻「ワン・オア・エイト」に出てくる人でした。

第116話「メガネ行方不明事件の全貌」

メガネ（眼鏡）が行方不明になるのと、メガネ（タッツン）が行方不明になる、ダブルミーニングなタイトルです。
タッツンの水難能力はプールでなくても、近くに水さえあれば発現するんです。

日本カルチャーのイベントにゲストとして招かれ、スウェーデンへ行った事がありまして。
メイン会場になっているホールから離れた場所にひっそりとトイレがあったんです。個室のトイレだったので、中で用をたしました。個室から出ようとしたらドアが開きません。
鍵のつまみを回すのですが、カラカラと手ごたえが無く、ドアは押しても引いてもびくとも動きません。
「…ばれ…？」
外に人の気配はありません。
僕はトイレに閉じ込められた人の心の機微を誰よりリアルに描ける自信がありました。
タッツンなんて甘っちょろいですよ。日本ですらん。
僕の場合、運良く誰か通りかかっても、まぁほぼスウェーデン人ですよ。スウェーデン語どころか英語もできないのに。ハードモードですよ。
何度かため息をついたあと、「ヘ、ヘル…ヘゥ…ゴホンゴホン！」覚悟を決めて叫びましたよ「ヘェ…HELP！」ギリギリ通じそうな発音で「HELP！」と。
偶然通りかかったタイ人が施設の人を呼んでくれ

てなんとか助かりました。
この話、現担当が好きで。何度話してもコロコロ笑ってくれるんですよ。

第117話「虚」

脳が騙されたり、不思議な感覚になるのが「ビビッと来る」涼ちんの夏です。
シーサイドにて婆ちゃんと喋ってる、というより婆ちゃんが一方的に話しかけてる相手は紺先輩です。
同じ日の話が後で出てきます。

タンクトップにショートパンツというウルスラと同じ格好を、あえて涼ちんにさせました。
こうして同じ格好をする事によりそれ程似てないだろう、と証明するために。……似てるな…。

第118話「牡丹灯籠」

ユキコの初恋が幽霊だった話です。
つよしと思われる子の服の合わせが女物なので、女の子だと分かります。
アバターも似てないですし。
でも思い込みというのはあるもので。
「世の中にはごく近所に引っ越す事もあるのだ」とは、紺先輩の引越し（121話「立つ鳥」）を経ての言葉です。
あとこれ描いた当時勘違いしていたのですが、壁を貫通してやりとりするゲーム機の通信、赤外線通信じゃなくて電波通信だそうです。
重版がかかったら直しましょうかね…。
重版かかったらね。

第119話「不祥少年不良少女群像劇」

久しぶりの、男子視点のお話です。
犬の里親探しに奔走する城嶋先輩と仲間たち。
13巻101話「モテない紳士」にて中学時代、サッカー部のマネージャーを振ったがあまり良い思い出ではない、とされるのが須藤蒼音の一件です。
最終的にクンちゃんの引き取り手を見つけてくれる太田ちゃんは、漫画研究会所属です。

第120話「辰野俊子のお友達」

タッツンVS涼ちんの話です。
今回のサブタイトルは「辰野俊子のお友達」と「ハブ対マングース」の2パターンあって、どっちも捨てがたい、というかどっちもいいので担当に選んでもらいました。
涼ちんは胸も尻もでかいのに体が締まってる感じがするのは、水泳のせいだったんですね。
のりを乾かすシーン、外国の人がキャプチャ撮ってツイッターに上げてたんですよ。あれ日本以外でもあるあるなんだ、と驚きました。
タッツンがもうオタクである事を隠さなくなっているところか、歩鳥をくじの回数稼ぎに使っています。
薄々、性格が合わなそうだと思っていたタッツンと涼ちんを会わせてみました。
「それ町」ではリアリティを保つため、例え同じく友達であっても所属するグループが違うと接触が無いんですよ。
例えば真田の友達でも、浅井と城嶋先輩が出会わないように。
出会わせたら面白そうな組み合わせであっても、必然性が無ければ、そこは会っては駄目なんです。
しかし、今回はシーサイドを介する事で、タッツンと涼ちんが接触します。
思いのほか大惨事になりました…。

第121話「立つ鳥」

紺先輩の引越しの話です。
歩鳥と紺先輩の話はここへ向かって描いてきました。
歩鳥の早とちり、紺先輩の言葉足らず、これまでの思い出とミスリードがひとつになる時、とんでもない誤解が生まれます。
歩鳥が手に持っている受験票は、10万円の金属片を持って紺先輩の部屋を訪れた時テーブルの上にあったものです。
あの時受験番号を覚えていれば、あ、紺先輩の合格発表を歩鳥が見に来てるのね、とすぐ気付けます。
…そんな事に気付いてもしょうがないですけど。
米を足の上に落とすのは、著作「ネムルバカ」のセルフパロです。
ご興味のある方は、単行本が徳間書店から出てますのでよろしくお願いします。

特別掲載

未収録原稿「時限爆弾」

本板中学の同窓会の続きです。
この話は、後の16巻124話「大事件」に繋がる予定でした。
「大事件」にて、犯人は誰だ？となった時、歩鳥の事を好きな男子、歩鳥の事を好きな真田君の事を好きな女子、などのパターンの容疑者もいて「時限爆弾」に出てくる「保っちゃん」こと大久 保も候補の1人だったんです。須藤香音もそうです。ところが、色んな容疑者を出していると話が長くなりすぎるので「大事件」を描く時、削りに削ってまとめたんです。
そうしたら「時限爆弾」が丸々必要なくなってしまったんです。「大事件」の容疑者として早くは6巻から顔見せしていた保っちゃんでしたが‥。

あと「時限爆弾」は話自体があまり好きじゃないんです。
親忘した犯人がベラベラとカミングアウトするのはサスペンスの常套手段ですが、そもそもそれ自体好きじゃないし…。

「まぬけな大晦日の過ごし方」でチラッと見える巫女が、八代アキちゃんだという事が回収がされたり、色々ある話ですが・・・必要ないと判断したので単行本未収録です。

TIMES
どうやら俺は
皆と違う平和な世界を見ていたらしい！
みぱぱぱ
てゆーか
この一回にメイドと巫女がいるって何気にすごくない!?
メイド!?
歩鳥メイドカフェでバイトしてんだって
似合わねー!!
おいどういう意味だ!
主人公の今俺っちゃんが想像したのを殴る
九子一商店街の一番入口にある普通の喫茶店
アキの親戚神社だから正月に巫女のバイトやってんだよ
バイトじゃないっ手伝い！
今は猫の手も借りたい
高校ゴリゴリにバイト禁止だから
へえー!
へー…って
歩鳥ん家の近くだよ
アキの従兄弟の神社というと
八代さん所？
あっ
八代アキ！
今!?
同じ台詞が
今までの苦行がなかっただ？
今シナプスつながったわ
いやいやもう違う世界を見ていたようで…
タイムラグすげえな
あ…!!
知ってるかも!!
俺一回近くまで行った事ある！
けど怖くて入らなかったんだよ
すごい変なメイドがいる所だろ
そう
変なメイドって歩鳥じゃないの？
おいっ
あんなのそこ山ん見回えないよ！
イメクラは いいけど巫女って!?
タイムで思い出したけど
タイムマシン作ったよね!?
きみは 宇宙人なのか？
もー！イジワル
バシ
タイムカプセル！
え？何それ
あ…何かあったよね
40歳になったら開けるから未来の自分へ一言とか何とか
いや…知らない

私も全部記憶にない
学校ぜんたいに やったのかな？
内申的に全員に加点だけどな
少なくとも私3年生の時は完全無欠よ!!
うーん 無遅刻無欠席と 無遅刻無欠席 いいたいのかな
遅刻は 多かっただろ
そうそう！先生に「時間厳守！」ってしょっちゅう いわれてた
今日は遅刻しなかったね
真田と一緒に来たからね
おぶっ!? ヒューヒューか!?
ヒューヒューなのか!? オ～イ
やめろよ～
ちがうよっ
ドンドン
しっとヒューヒューして――っ!!
脳内応援団
ガタッ
あ
記憶の引き出し
思い出した!!
保っちゃんたよ 俺に紹介したの
だってよぉ――放課後 教室に4～5人で残ってた所に保っちゃんが入って来て――
誰かに頼まれた奴だった…
卒業記念に40歳になったら開けるタイムカプセル作るんだって
一言でいいんで今ちゃちゃっと書いちゃって
えっ今!?
購買で売ってる作文用紙と封筒だったよ…
そこまでいわれても思い出せんな……
私らハブられてたんじゃない!?
リングはともかく歩鳥がハブられるって変ではないと思うけど…
俺もみんなのしも覚えてないのも変な話だよな的事の議論にでも聞いてみようか
私は有り得るんかい!!
思い出したよ!!
級長に頼まれたんだった
ほら～！
いや～ たった2年前の事でも忘れてるもんだな…
卒業間際でバタバタし提出してない人もいるのかも…
素外 周りでみんなも歩鳥も入ってんじゃない？
じゃ～ またねー
かもね
卒業記念にタイムカプセルってイベントだな…
ピクリとも覚えがないなんて…
まあ～40歳になれば…
…どうも脈におちない
私ア 心にわいた疑問を40になるまで放置しては出来ないタイプでね

悪いね付き合ってもらっちゃって時間大丈夫…
うん…
納得のいく答えが出ないまま別れ
タイムカプセルの記憶がある紙は紙の種類まで思い出せるのに
記憶がない頃はイベントそのものを一ミリも覚えてない
？
こんな不思議な依頼がホントに届かれたのでなければ
何かお仕かけがあるはず！
おそらく…
タイムカプセルが故意に特定の誰かを入れるために行なわれた
卒業間際に思い余って好きなユの直筆文書を手に
でっち上げのイベントだった!!……どう!?
私の推理では
このタイムカプセル事件！
それに埋められたのが履歴に残ってる作文用紙っていう前提で…
なにか場当たり的…その場の思い付きみたいな感じがする
秘密裏に計画されたのなら…
タイムカプセルが故意に特定の誰かを入れるなどの悪意ある行為ではなく
参加者は皆口々に全員参加してる感じだもん
参加者であるアキが いい出す気がない…
まちがか…その頃で正解すっ
なんはー！この依頼が出来っ
つっつ次 どうしよう!!
A
「君は最長に利用されただけだ」となくさめる
次のページへ 1コマ目へ
B
「君のやった事は最長のためにならないよ」と叱責する
次のページへ 1コマ目へ
おそらく
ドヒュ
すまん……
その通り……です
え!?まじで!?
たとしたら おそらく タイムカプセルの記憶があるのは放課後教室にいたという数人だけ
その中に最長の恋のターゲットがいたからだ
それに この一件を40歳まで という 今から約30年も前に さかのぼるには 当時者は少ない方が良い……ウン
我ながら 前代のいく答えだ
君
その場の悪い付きでやってしまったんだ…
すまん
ありゃ!?
犯人こっち!?
「犯人はお前だ!!」
――はもうタイミング逃してるし…
「俺達は機械じゃねぇ!!」
それこそ機会じゃねえ
認めたは…そうか 君はそうすのに利用されただけだったか あわわ どうしよう!?
八代道で上手くいったら
そのままクラス全員に広めて行って本当にタイムカプセルを作ってるムードかなんて
得策的に タイムカプセルは 埋つたけど見付からなかった事にしよよと…
思ったより だいぶ大掛な計画だった…
その上で
本命の文書を手に入れて…

でも最初の数人にウソの時間旅行をしちゃって……
結局そのままうやむやにしちゃって……
いつかしるんじゃないかと思って行くたびに……
本当に…あの写真…入らなくて良かった…
この男…
私の子なんかが欲しくて
ウソのタイムカプセルを埋めに行ったのか……
おかしいね……
ばれ？
こんな事になる前に
嵐山と会計なつながりを作らなくて良かった…
あれ 本命って…
私!?
事件の全貌が今 明らかに!!
普門で事件と殺人を扱いたのに
あんまり気持ち良くない…

どさっ
ドン ドン ドン
40歳になったら振りに来よう
タイムカプセルはやっぱりあったのだ
嵐山
ありがとう……
ザクッ ザクッ
ポン
よし これで保険は完璧だろう

未収録原稿「時限爆弾」完

16巻

第122話「未来の夢」

押しかけ助手・福沢シリーズ。前世編。

福沢さんの謎は読めばわかるとして、結論から言ってしまえは歩鳥の前世「トホリ」の居る世界は大昔じゃなくて、今の文明が滅びた後のはるか未来だったという事です。前世だからって過去とは限らないんです。そもそも単に歩鳥の見た夢かもしれないですが…。

また描かずに終わったエピソードのコーナー

ですが、タバフは紺先輩の「来世」です。
紺先輩は意識が朦朧とすると、どんどん未来の事を話すじゃないですか。歩鳥は酔っ払うと、どんどん過去へさかのぼっていくじゃないですか。
歩鳥と紺先輩が酔っ払って、二人してどんどん過去と未来の事をぶつぶつ言い始めて、ある地点で歩鳥は「トホリ」まで遡り、紺先輩は「タバフ」まで行ってしまい、そこで急に二人の話が噛み合う。
それを「!?」ってなって見てるタッツン。という、そんな話も考えていました。
これはさすがに番外編で描いたりもできなさそうなので、ここに書いておけばそれでいいや。

コルマ集落の、一見、弥生時代っぽい舞台は30年以上前に出版された古い弥生時代の資料を元に描いています。
どんどん新しい証拠が発見され、30年前の資料にあるのは、もはや弥生時代っぽいウソの世界なわけです。
今回の舞台にピッタリじゃないですか。

第123話「Detecteve girls final」

歩鳥とタッツンの友情に一歩踏み込んだ話です。
あと、実家に帰ったフニャフニャな紺先輩の話です。
「それ町」の6巻が出た時にサイン会をやらせていただきまして。

ご来場の読者さんの1人から、同巻キャラ紹介にて紺先輩は歩鳥の「親友」であるのに対しタッツンは「友人」となっている事を挙げ「タッツンは歩鳥の親友になりますか？」と聞かれました。
僕は「なりますよ！」と即答しました。
あれからだいぶ経ちましたが、この回があの時僕の目に映っていた未来です。

「Detecteve girls」のシリーズはその名の通り何かしら探偵っぽい事をするのですが最後はまさかの、タッツンの追及でひざを折る犯人・歩鳥、という形になりました。

第124話「大事件」

森秋先生のラブレター話が決着です。
「犬事件」とタイトルもかけてありますが、歩鳥タッツン真田の三人で捜査するところも同じになっています。
多目的室は最終話「少女A」で歩鳥が逃げ込んでる部屋と同じです。この部屋の正面に2年校舎があって、その1階上が3年校舎になります。
「少女A」では3年教室から少し見下ろす形で、多目的室に歩鳥らしき影を見るわけです。
そんな細かい事はどうでもいいですか…。
「時限爆弾」の所でも書きましたが、この話はきれいにまとめる為に削って削って大変だったんです。
その上で役に立ったのが、3年歩鳥の推理力、タッツンのナイスヒント。たった一枚の写真からスパスパと犯人を絞り込んでいく歩鳥には「お前、すげーな！」と痺れました。
タッツンのアシストも息ピッタリで、彼らの成長を感じたものです。
そして真田、やっと見せ場！　長かったトホホ期間に溜まった鬱憤が女教師に向けられます。
探偵小説みたいに事件へ首を突っ込む事に憧れて、少々不謹慎な発言もしたりしていた歩鳥ですが、いざリアルに「犯人」と対峙した時、思わぬ反撃に何もする事が出来ませんでした。
本当に事件に巻き込まれるというのはどういう事か、ちょっと苦い思いを残しつつ「ナメ子」のストーリーライン、ENDです。

第125話「紺先輩スペシャル」

紺先輩が座成を克服する話です。
先にチラッと書いた、15巻117話「虚」と同じ日です。
「紺先輩が出ずっぱりのスペシャル回」でも良いのですが、「紺先輩にとって特別な存在」「紺先輩は特別な存在」という意味を加えてトリプルミーニングです。
これまで歩鳥に一方的に依存しているようにも見えた紺先輩ですが、座成を倒し(?)少し成長を遂げます。
これにて「紺先輩」のストーリーラインもENDです。

第126話「悪」

森秋耕三郎が残した良くない物、完結編です。
あの「赤い絵」の謎が明らかに。
この話のために、てのひらサイズの肖像画サイコロを作ってコロコロ転がしながら描きました。
作中で涼ちんも作っていますが、あんな感じの物です。
涼ちんの、「ビビッと来る」ためには少々の危険は省みない危うさと、おじいちゃんが遺した悪の研究が重なり合い、ストーリーライン「悪」ENDです。
バッドエンドかも。
最後、にごしてあるモノローグ「あの時の涼ちんの――」の先は、絵の話の発端になった1巻4話のサブタイトルに回帰します。

第127話「至福の店 フォーエバー」

いよいよメイド喫茶も終わりですね。
ビフォア、アフターの次は、正しくはフューチャーのようですが、シーサイドに合うのは「フォーエバー」だなと思って付けたタイトルです。
最初にも書きましたが、タッツンが来て始まった「それ町」はタッツンが去る事で終わります。
紺先輩の話は全て引越しの回「立つ鳥」に向けて描きましたが、タッツンの話は全てここへ向けて描きました。
「それ町」史上唯一の見開きコマで、看板を磨くシーンは今までで一番感慨深かったかもしれません。
看板を洗おうと言い出すのも、看板を磨きながら声をかけるのもタッツンからなのが、二人の関係の変化とかタッツンの精神的成長を物語っているなァ…。
最後の最後、コブ平の「バカはふたりしかいねーだろうに!!」というセリフはネームでは「言うに事欠いて3バカ!?」だったのに、また本番で勝手に喋りました。
そして殴られました。
メイド喫茶は終わっても、それでも町は廻っているという事でシーサイド、タッツンと歩鳥、このあたりのストーリーラインENDです。

第128話「嵐と共に去りぬ」

台風が来て、宇宙人も来ました。
「次回、最終回」というシチュエーションでしか本気にしてもらえない、主人公が消えるかもしれない!という引きで「つづく」です。

第129話「少女A」

最終回です。
前回「嵐と共に去りぬ」からの続きとして読むと、歩鳥が消えた後の教室の様子と読めますが、なぜか歩鳥は現れる。
実は前半部分は歩鳥が書いた演劇の稽古でした。
まず、細かい所ですが、「少女A」の前半は舞台の稽古なので、みんな演技をしています。
演技をしているキャラは「あせりの汗」などの漫画表現が付いていません。
浅井だけは素でセリフを噛んだので汗が出ています。
「小野寺メンタルクリニック」や「母親の名前が栄子」というのは舞台のために歩鳥が作った脚本であって架空の設定です。
本番では黒板に向かって左側が客席になるので、鈴木も皆もそちらに体を開いて演技しています。
さて…最終回の解釈はお任せします。
ただ、お勧めの解釈も存在します。
歩鳥のセリフをなぜか作者のセリフと混同して、僕がオチが思い付かず投げたメタぶん投げEND――
――でも構いませんが、少なくともこれは想定以下の解釈なので、これ以外思い至らないならこの先に書く答えを見てくれた方が良いです。
歩鳥の高校3年間のひとコマ、脚本の締め切

りに追われて逃げたシーンが最終回の最後のコマにあるため一見、メタぶん投げオチに見えるというネタＥＮＤ。
――でも構いません。時系列シャッフルならではのギミックです。
ただ、その先があります。
16巻あとがきでも、読み返して納得がいったらエピローグへ進んでください、とあります。
「メタぶん投げオチに見えるＥＮＤ」だと、ギミックを使った一応の最終回でしかなくて、オチてないんですよね。
厄介な事に最終回を迎えても廻っているわけです。
そこで、既刊の中から自分の最終回を探してもらいたいのです。
「歩く鳥」が最終回だと心が訴えているなら、それも良いですし、とくに15巻後半から16巻にかけては色んなエピソードが終わりを迎えるので、一番好きな話を最終回としてくれても良いです。
そのように自由に最終回を捉えてもらえたら嬉しいです。
もう、作者冥利に尽きるというものです。
ただ、その中に一個、答えというか、お勧めの解釈というか、トゥルーエンドがあります。
長くなりましたが、廻覧板では身もフタもないネタバレと裏話をするという事で、答えを書きます。
最終話「少女Ａ」が演劇なら、前振りの１２８話「嵐と共に去りぬ」は何だったのか？この疑問がトゥルーエンドへの道しるべになっていまして、自分と引き換えに台風を消すスイッチをパンと押した「つづく」の先は、14巻のＰ１１９です。
こうなる事で「夢幻小説」で語られる、歩鳥の記憶の底に眠る根源的な恐怖の正体は「自分が誰からも必要とされない事」ではなく「みんなの未来がなくなる事」だった事がわかります。
皆が変わらない事を望み、自分が必要とされる事を望んでいた歩鳥の最終的な望みは皆の未来です。
そして「思い出したら聞かせてくれたまえ～」と喫茶店を出て行く静ねーちゃん。
そういえば、この二人の関係が全然決着しなかったな…。

エピローグ「…それから」

「それ町」は歩鳥の高校３年間が基本的な前提で、歩鳥と静ねーちゃんの関係はその間均衡したまま動かなかったようです。
そこでエピローグです。
エピローグは基本の３年間から少し飛んだ未来が見られます。
最後のシーンは逮捕のイメージです。
おまけ。作中切れていて読めない歩鳥の小説のあらすじです。
「シャッフル都市…寂しがり屋のくせに人付き合いが苦手な女子大生ミツが出会った奇妙な男は、町の地図が毎日変わるという妄想に取り憑かれていた。

最後に

最後にこの再続の手引きについて一言いいですかね。
長い！
長かった。小説一冊分くらい書いたんじゃないですかね？ああ…疲れました。
最後までお付き合いいただいて、ほんとすみません。
あと、この漫画、ややこしい!!

様々な建物の配置がメチャクチャに変わるのでとても道を歩けない。しかもその事に気付いているのは自分だけだという。
最初は取り合わなかったミツだが、ある日どう考えても建物の位置が入れ替わったとしか思えない状況下で奇妙な殺人事件に巻き込まれる…。」
細かい内容までは考えていません。

1年目

◎タケル　3年2組
◎ユキコ　1年1組

4月

SOREMACHI

- （松田巡査玉川交番に配属）
- （回想　松田と顔合わせ）
- ●『嵐山ジョセフィーヌ様』
- ●『消された事件』
- ●『ナイトウォーカー』

TIMELINE

- ■歩鳥入学式 4/8
- ■婆ちゃん腰をやられる
- ■初メイド服
- ■お花見

5月

SOREMACHI

- ●『卒業式』
- ●『至福の店ビフォア』
- ●『至福の店アフター』
- ●『歩鳥と謎の王国』
- ●『セクハラ裁判』
- ●『闇に棲む声』（解決編）

TIMELINE

- ■事件編は4月以前

6月

SOREMACHI

- ●『目』

TIMELINE

- ●『ロック』

7月

SOREMACHI

- ●『愛の逃避行』
- ●『嵐山忍法帳』
- ●『辰野トシテは砕けない』
- ●『宇宙冒険ロマン』
- ●『ホワイトデビル』

TIMELINE

8月

SOREMACHI

- ●『飛行少年飛行少女群像劇』
- ●『二少女漂流記』（8／8）

TIMELINE

- ■荒井クリーニング デザインエプロン作る

9月

SOREMACHI

- ●『看板娘が大人気』

TIMELINE

- ■タツツンと呼び始める
- ■「鬼面ライガーしぐれ」放映開始

10月

SOREMACHI

- ●『モテない紳士』

TIMELINE

- ●『犬事件』
- ■学園祭

11月

SOREMACHI

TIMELINE

- ●『ワン・オア・エイト』
- ■辰野「鳥山さん」から徐々に「あんた」「歩鳥」と呼ぶようになる

12月

SOREMACHI

- ●『恋の方程式』
- ●『まもれ　サンタの夢』
- ●『カマボコボヨンボヨン』
- ●『まぬけな大晦日の過ごし方』

TIMELINE

1月

SOREMACHI

- ●『猫少年』（紺先輩初登場）
- ●『俺達は機械じゃねぇ』（回想）

TIMELINE

2月

SOREMACHI

- ●『それ町サスペンス劇場』
- ●『ヒーローショー』
- 2／16　真田16歳誕生日
- ●『エビの恩返し』
- ●『それでも町は廻っている』

TIMELINE

- ■ゼリー島殺人事件 執筆&応募（約2週間）

3月

SOREMACHI

- （歩鳥　事故・入院）
- ■落選のお知らせ

TIMELINE

サブタイトル

備考

年表

「それ町」劇作の際参考にしてきたタイムテーブルです。確実に正確とは言い切れませんが、各話のおおよその時期の目安にして下さい。

SOREMACHI MAP
OFFICIAL GUIDE BOOK
MASAKAZU ISHIGURO PRESENTS

2年目

◎タケル　4年3組
◎ユキコ　2年1組

サブタイトル　備考

4月

SOREMACHI
- 『ジャイアントスイング』
- 『歩く鳥』
- 『出張メイドサービス』
- 『たまこやき』（2巻のおまけ）
- 『蘇る脳細胞』
- 『流血のプロセス』

TIMELINE
- 『パジャマの天使』（歩鳥 退院）
- 歩鳥、総先輩のアパートに初めて入る
- クッツンツンと呼ぶ

5月

SOREMACHI
- 『謎の円盤の回想』
- 『最後の謎（前半）』
- 『サインはB！』
- 『フリーマーケットで歩鳥とキス』
- 『最後の謎（後半）』

TIMELINE
- このへんでスニーカー紐調する

6月

SOREMACHI
- 『飛ぶ鳥』
- 『俺達は機械じゃねえ』（現在）

TIMELINE
- 『メイド探偵大活躍』
- ミステリ画報 7月号
- 6／16 九官鳥逃げる
- 6／20 総先輩 九官鳥を保護

7月

SOREMACHI
- 『穴』
- 『ジョゼフィーヌの夏』
- 『幽霊絵画』（夏バート）
- 『紺先輩は読だ！』
- 『嵐山家 火事になる』
- 『図書館の回し者』

TIMELINE
- 犬小屋焼ける
- 総先輩 ジョセと初対面

8月

SOREMACHI
- 『アネの日記』
- 『夕闇の町』
- 『謎現る大捜査網』
- 『謎解小説』
- 『総先輩の静かな怒り』
- 『海の家 号泣事件』
- 『まぼろしの少年』
- 『KAPPA QUEST』
- 『フタバ・デッドエンド』

TIMELINE
- 『嵐山財宝調査隊』
- 亀井堂 アフリカへ

9月

SOREMACHI
- 『バンドラの箱』
- 『幽霊絵画』（秋バート）
- 『秋まつり（9／22）』
- 『大風の夜に』
- 『飼獣は霧の中』
- 『ミラクルスーパーラッキー指輪』

TIMELINE
- 鬼面ライガー コハダ放送開始
- 庭の物干し折れる
- 総先輩 指輪なくす

10月

SOREMACHI
- 『迷路楽団』（前半）（10／1）
- 『ばいのうシンそは』
- 『大人買い計画』
- 『ワン・オア・エイト・アゲイン』
- 『巣』（前編部）
- 『学校迷宮案内』
- 『ツッコミじいさん』
- 『巣』（本番部）
- 『迷路楽団』（後半）

TIMELINE
- 学園祭 プログラム発行
- バンド練習期間
- 学園祭（10／30）

11月

SOREMACHI
- 『コンタクト』
- 『激突！妖精VS死神』
- 『Detective girls』
- 『不良少年不良少女群像劇』
- 『時は待ってくれない』
- 『実に微妙なカード』

TIMELINE
- 犬のポスター

12月

SOREMACHI
- 『ガッカリなカード』
- 『タイムカプセル』
- 『現代版またたのひも』
- 『Detective girls 2』
- 『廃村』
- 『テリトリー』

TIMELINE
- 『呪のルーレット』
- 犬の足跡見つかる

1月

SOREMACHI
- 『まぬけな正月の過ごし方』
- 『燃えよ歩鳥』
- 『A・KO・GA・RE ロンギング』
- 『下町雪訪い小話』
- 『歩鳥の戦争』
- 『逢えない二人』
- 『血のバレンタインデー』

TIMELINE
- 年明けからラーメン虎断値上げ

2月

SOREMACHI
- 『ナイトストーカー』
- 『さっくばらん』
- 『謎の円盤』
- 『それ町サスペンス劇場Ⅱ』

TIMELINE
- 歩鳥 髪が短く
- スキー旅行

3月

SOREMACHI
- 『歩鳥はコタツで推理する』
- 『赤』
- 『立つ鳥』（冒頭パート）
- 『答砲修氣』
- 『辰野俊子のお友達』
- 『立つ鳥』（春休みパート）
- 『時限爆弾』
- 『謎の円盤』

TIMELINE
- 凛ちんVS辰野
- 総先輩 第2志望合格
- 歩鳥 凛ちんを認識
- 河井荘 引き払う
- 総先輩 卒業式（3月半ば）
- 同窓会

3年目

◎タケル　5年3組
◎ユキコ　3年1組

サブタイトル　備考

4月

SOREMACHI　TIMELINE

- 『闇の中の消失』
- 『歩鳥初体験』
- 『お姉さんといっしょ』
- 『笑ってごらん』(コタツ片付け)
- 『大怪獣尾谷校に現わる』

■福沢顔にケガ
■ユキコ勧誘を始める

5月

SOREMACHI　TIMELINE

- 『歩鳥ファーストキス』
- 『未来の夢』
- 『修学旅行』
- 『うそつきリッちゃんの亡霊』

■修学旅行(以降 木彫りの熊)
■コンビニGWフェア

6月

SOREMACHI　TIMELINE

- 『エピローグ』
- 『ユキコの剣』
- 『呪いのビデオ』
- 『Detective girls final』
- 『大事件』

■ナメ子と対決 男女の関係はどうにもならない
■紺先輩イギリスへ旅行 6／5から一週間くらい

7月

SOREMACHI　TIMELINE

- 『虚』
- 『紺先輩スペシャル』(冒頭)
- 『紺先輩スペシャル』
- 『至福の店フォーエバー』

■7月一杯でタッツンがバイトを辞め、メイド喫茶終わる
■涼ちんの家・兄登場

8月

SOREMACHI　TIMELINE

- 『歩鳥撃沈』
- 『悪』
- 『蒼秋 夜空に散る』
- 『牡丹灯籠』

■歩鳥 目覚まし時計 買い換える
(ハイウッドTシャツ終わり)

9月

SOREMACHI　TIMELINE

- 『嵐と共に去りぬ』
- 『夢幻小説』(夢？パート)
- 『嵐山家 家事担う』
- 『張り込み』
- 『少女A』(最終話)

■台風XX号(9／8)
■学園祭用シナリオ執筆開閉

10月

SOREMACHI　TIMELINE

- 『続・夢現小説』

■学園祭(『少女A』上演)
■この時点で亀井堂と涼ちんは面識がない 名前は知ってる

11月

SOREMACHI　TIMELINE

- 『ドッペルゲンガー』
- 『さよなら難題』

12月

SOREMACHI　TIMELINE

- 『夢幻小説』(冒頭とラスト)

1月

SOREMACHI　TIMELINE

2月

SOREMACHI　TIMELINE

3月

SOREMACHI　TIMELINE

■歩鳥 卒業式

SOREDEMO MACHI HA MAWATTEIRU
OFFICIAL GUIDE BOOK KAIRANBAN
MASAKAZU ISHIGURO PRESENTS

特別掲載

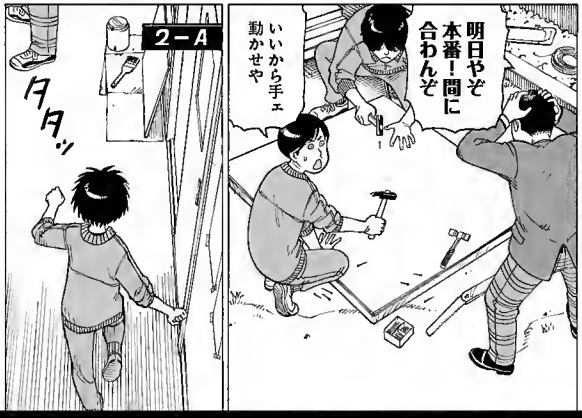
未収録原稿

「辰野俊子バンド」

初出・アニメ「それでも町は廻っている」コンパクト・コレクション Blu-ray

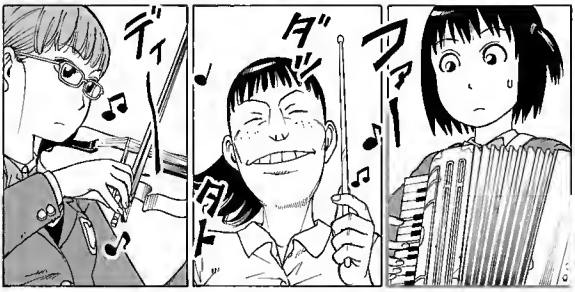
祭
トンカンカン
トンカン

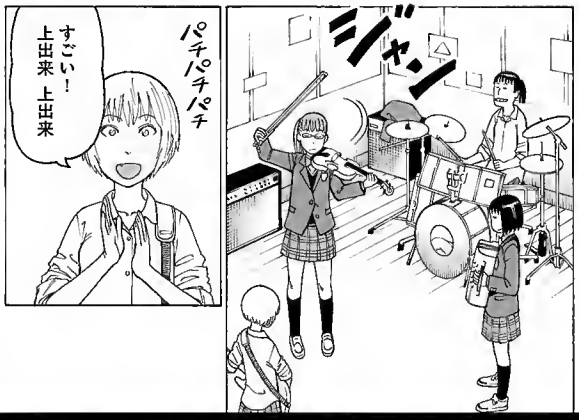
おつかれ！
あとは朝一で
仕度するから
2年生は
5時集合
1年生は
7時集合！
オス
はい


明日やぞ
本番！間に
合わんぞ
いいから手ェ
動かせや
2－A
タタッ

歩鳥いーっ
嵐山さんなら帰ったと思うよバンドの練習とかで
えっ
学祭出るって本当だったの!?アラシヤマン・ジョークかと思ってたよ
ヤツは冗談か本当かわからんからねぇ
じゃ輪島(ワジ)で良いやちょっと手伝って!
ワジでって　何や!
ワジで良いんかワジが良いんかハッキリいうてみい
ワジが良い!
ゴメン

スタジオA
Studio
使用中
大田区ミプラザ


ディー
ダッ
タト
ファー


すごい！
上出来 上出来
パチパチパチ
ジャン

お前ら 短い期間で
よくここまで形に
なったな！
一緒にバンド
やってくれて
ありがとう
みたいなのは
ないんですか
今のが
そうだと
思うよ
ね？
……
……
あっ 先輩
それより…
変更するとかいう
所の歌詞は
どうなりました？
そうだ
そうだ
この「OI（オイ）」の所は
お前らがいうのな

「そんなつもりじゃなかったOi」
「こんなのロックじゃねぇOiOi」…
なんスか これは辰野俊子バンドへの不服ですか
やっぱりエレキギターとかが良かったんだよ
そ そんなつもりじゃねーよ…
いちいち歌詞気にすんなよ
ていうか辰野俊子バンドって…
そこに突っ込んでほしかったのに…
普段ツッコミのやつが急にボケんな!!
はいっ じゃラストもっかい通しで
カンカン

ここ利用料安くないスか？
普通にスタジオ借りるのの½くらいかな
よくそんな穴場知ってましたね
図書館行った時に発見したんだ
大田区公共施設ご案内
!? 防音室あるじゃん！
この後 針原がウチで衣装合わせするんだがお前どうする
そんで そのまま先輩ん家泊まって朝まで楽器の練習すんぞ！
近所の人に怒られるわ!!

ちょっと先輩ーっ
ネコが来てるんですけど…
はいキンちゃん〜あのお山はイジワルだから登っちゃダメよー
山じゃないわ!!
キンちゃんじゃねーよ!!
コバンだ
ああー?ひとん家の犬をボンちゃん呼ばわりしといて何だ!?
何がどうなってキンちゃんなんだ説明しろ
あとイジワルでもないわっ
何もめてんの!?

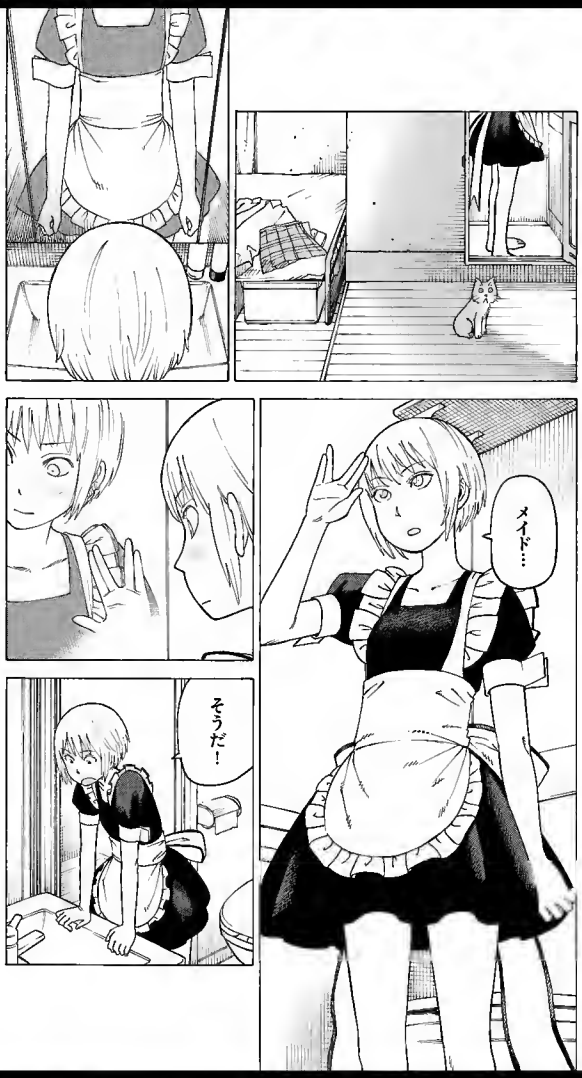
あっ
ぴったり
だねー
メイド!!
あぁりがとう
ございま〜〜〜す!!
見なさい！
あんたが
世間に与えた
悪影響だよ
しかしタッツンの
見立て通り
婆ちゃんのメイド服で
ピッタリだったね
はっはーはは
女子力を備えた
目よ!!
これ あの婆さんが
縫ったんだよな

こうして近くでまじまじ見るとしっかり作ってあるなー
このパフスリーブとかすげえな
婆ちゃん昔仕事で裁縫やってたから…
先輩の衣装は間に合ったんですか？
できてるよ
見せてよ
着て見せて
当日着る！
……
やっぱ私帰るわ

ここにいたら絶対 朝まで寝ない
ちゃんと寝ておきたいし
そうね…肌に悪いし
ウチ帰って寝るか
じゃ…
一旦 各自家に帰りますか
あっバンドの名前は？
本番までに考えとく
何も思い付かなかったら「辰野俊子バンド」だ
えっちょ…やだあれは冗談です
メガネに二言はねーんだよ

リレーでコケたキズ
治しとくんですよ
そんなすぐ
治るか！
ドキ
ドキ…
尾台高校
家内

電車間に合うってよ
もういい部室泊まる
カゼひくぞ
シゴー…
電算部
バシャバシャ
トンカントンカン…
祭
園
学


メイド…
そうだ！

メイドが複数いるから…
それと迷路をかけて…

未収録原稿 「辰野俊子バンド」 完

特別掲載

未収録原稿
「辰野俊子バンド」

アニメＢＤボックスの特典として描いた漫画です。
学園祭でバンドをやる前日譚と、学園祭の前日の様子を合わせた漫画です。
独特の緊張感や慌ただしさを再現すべく頑張って描きました。
再びＭＡＺＥを描く機会ができて嬉しかったです。

しかしなんと、紺先輩が体育祭でコケてできた足の傷が左右逆というボカをしてしまい、今回の収録に際して直しました。
紺先輩の怪我が逆のパラレルワールドはＢＤボックス特典だけの特別版という事にしておいてください。

特別掲載

未収録原稿
「矢澤りえかさん結婚漫画」

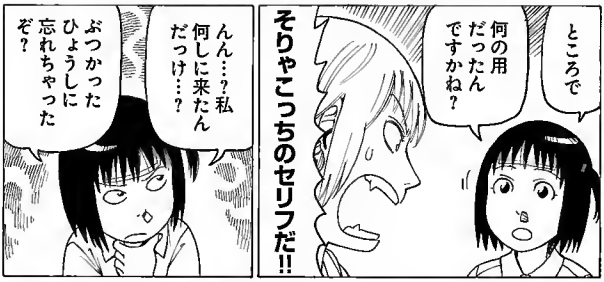
アニメ版で紺先輩を演じた声優の矢澤りえかさんが
ご結婚された折に描いた漫画です。
歩鳥役の小見川さんと共に矢澤さん本人がアフレコをし、この漫画と合わせたモーションコミックのような映像を作成。披露宴で上映されました。
矢澤さんが自分で自分の名前を間違えたり、自分で自分に「おめでとう」と言わなければならない内容になっています。
また、披露宴のウェルカムボードも描かせていただき、披露宴ではその絵と漫画が収録された冊子がお土産と一緒に配られました。

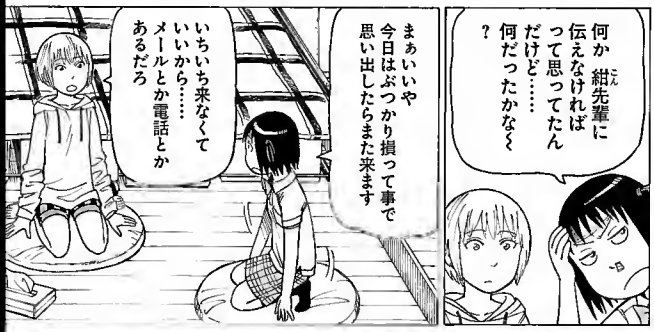
特別掲載

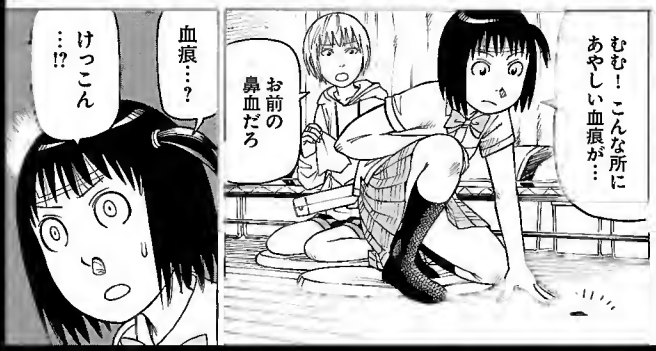
未収録原稿「矢澤りえかさん結婚漫画」

SOREDEMO MACHI HA MAWATTEIRU
OFFICIAL GUIDE BOOK KAIRANBAN
MASAKAZU ISHIGURO PRESENTS

いや～…
先輩 普段鍵開けっぱなしだから……
わっ
紺先輩！
いつもの感じで入ろうとしたら……
小学生じゃあるまいし
鼻血が出るほど物にぶつかるってお前…
鼻 大丈夫かよ…？
私ァ紺先輩と違って鼻高くないから大丈夫です!!
自分でいっといてヘコむのかよ……


ところで
何の用だったんですかね？
そりゃこっちのセリフだ!!
んん…？私何しに来たんだっけ…？
ぶつかったひょうしに忘れちゃったぞ？


何か紺先輩に伝えなければって思ってたんだけど……何だったかなぁ？
まぁいいや今日はぶつかり損って事で思い出したらまた来ます
いちいち来なくていいから……メールとか電話とかあるだろ

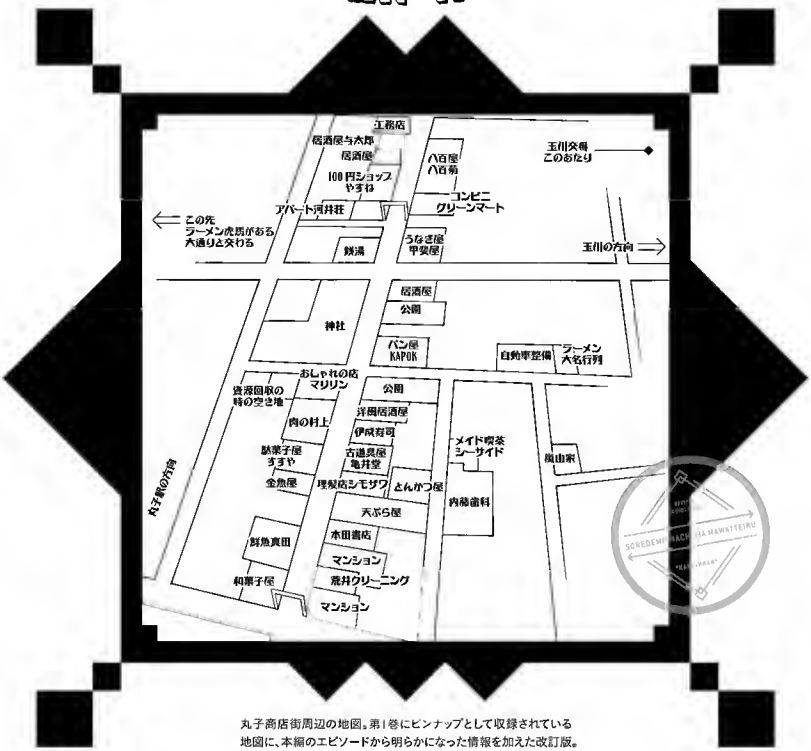

むむ！こんな所にあやしい血痕が…
お前の鼻血だろ
血痕…？
けっこん…!?

思い出したー!!
先輩!
矢澤(やざわ)りえかさんが結婚するんだって!!
……
誰だよそれ?
え…いや……知らないんですか!?
先輩なら知ってるものとばかり……ていうか
紺先輩は知っててしかるべきでしょう!!
はぁ!?
知らねーもんは知らねーんだよ!
じゃ…もう知らなくてもいいから……

未収録原稿 「矢澤りえかさん結婚漫画」 完

蔵出しイラスト集

THE HIDDEN WORKS



丸子商店街周辺の地図。第1巻にピンナップとして収録されている
地図に、本編のエピソードから明らかになった情報を加えた改訂版。

SOREDEMO MACHI HA MAWATTEIRU
OFFICIAL GUIDE BOOK KAIRANBAN
MASAKAZU ISHIGURO PRESENTS

未収録扉&イラスト

単行本収録の際に抜いてしまった扉絵です。

色紙に転写するために描いた絵が残っていました。サイン色紙は非常に脆い材質なので消しゴムをかけるとボロボロになってしまいます。絵を一発で決めるため、別の紙に描いた絵を色紙に転写し油性ペンでペン入れして、絵の具で色を着けています。この絵柄のサイン色紙がこの世に各一枚ずつ存在する筈です。

❶

❷

❸

むかし、知人の漫画家さんから完成前の状態の原稿が見たいとの要望がありサイトに掲載したものです。背景や効果線も僕が書くので、うちのアシスタントさんはベタと基本トーンしか仕事がありません。すみません。

❶、❷まで僕が描いてアシスタントさんに渡します。
❸はアシさんがベタを塗り基本トーンを貼ってくれた物です。更に僕が陰影や効果のトーンを貼って削ったものが、4巻101ページになります。

スウェーデンで行われた日本カルチャーイベントでのライブドローイングです。漫画はコマの中だけを描くんじゃなくて、外側にはみ出た見えない空間や、服の下の骨格なども意識しないとちゃんとした絵にならない、という自論をスウェーデンの人に説いてきました。もちろん通訳を介した日本語で。

スウェーデンの風景をネタに描いた漫画です。紺先輩が「歩鳥、見ろよ」「あの門、お前の顔にそっくりだぞ」と言っており歩鳥が「そんな事ないですよ！」と、門と同じ顔をして答えています。紺先輩の服は、会場にいたお客さんを一人選んでその人と同じ服を描きました。熱心な日本漫画ファンの美少女で、イベント終了後、絵を描いて僕にプレゼントしてくれました。良い思い出です。いや、美少女だから選んだわけではないです！そんな、イベント中は必死でひとりひとりの顔を確認する余裕なんて無かったですから。本当です。信じてください。

販売促進用書店配布イラスト

えー どうも こんにちは。アワーズ誌面の各種には何度かお目にかかっております。執筆初期には『それ町』の単行本① 次 出せるらしいので詳しい事は またちょっとしたら決まってないかんじです。

石黒正数

それでも町は廻っている 2巻 10月26日に
発売決定しました。よろしくおねがいします。石黒正数
何？この雰囲気～

温泉行って
小説書いて
頭は打っても
カゼはひかない
商店街メイド
嵐山歩鳥の
次なる冒険は!?
それでも町は廻っている ②
石黒正数

それでも町は廻っている
石黒正数
④
ちょうど 2巻町の 4巻が出る頃 | 夏の頃から
すごく手伝ってくれたアシスタントが 3人辞めます。
単行本の最後のページのスペシャルサンクスに 名前のある
ツナミュウ君と、ウルトラシンセアで
デビューしてみたアシ仲間。
手伝いの代わりは探さないが
彼とも仲良くなりすぎた…。
これから仕事の話とか話を
したらいいんだろうか…。
この漫画の 敬とは何らかの形で
漫画の本にしなければ
俺の気が済まない。

それでも町は廻っている④
父親から資産を奪った叔母の物置を
見張り 財布を納めた 歩鳥の前に
第4の刺客が 現れた!!
猫のような 人間のような 不思議な生物
結衣夏 VS 歩鳥の血数 が始まる!!
一方 亜優美に 追いつめられた 果南の
元へ 現れた 4人目の 刺客 は!?
ただの通りすがりか?
嵐山歩鳥 VS 紺双葉
宿命決着!?
石黒正数
上の解説は
結衣夏に 次なる
外注 依頼 行け!! 鳥の
ウソです。

それでも町は廻っている⑥ 石黒正数

6巻お買い上げありがとうございます。今回は歩鳥の頭に大事件が起きたり、タッカンが鎖を装打されたり、タケルの鎖が発動したり、夏の田舎で鎖をみわたり…、そんな感じです。これから寒くなってまいります。新型インフルエンザには気を付けて下さい。

それでも町は廻っている⑥ 石黒正数

早いもので、いつの間にか、それでも町も6巻になりました。5年ぶり最初の出巻が、ほんとにありがとうございました。今巻では割と出てきます、そのわりに設定の巻かがないです。この7巻=一好きそうと思います。

暑中お見舞申し上げます

原稿中、机の下で何かの足の裏をマッサージするのに良い物は無いかと思案していた所、先日スーパーで良い物を見付けました。従来の障害度をマッサージするためのゴム製足ツボプラン。あれのプランの部分を取り外し、逆さにして床に置き、そこを踏むかたちで実行すると…硬さといい弾力といい、とても具合が良いのです。

石黒正数

「亀井堂とエビちゃんのメイドが見たい」とツイートされたのを見たのお描いてみたけど、この2人接客向いてないと思います。

石黒正数

それでも町は廻っている⑫
お買い上げいただきありがとうございます。
今月末ヤングキングでクマ登場の紺野ねーちゃう異色のドキドキです。こちらもよろしくお願いします。
(30日頃)出るOURSでは先輩と歩鳥さんの3人というメンバーで探険中♡
12
石黒正数

11巻いくよ!
それでも町は廻っている
来なさい!!
11
石黒正数

それでも町は廻っている
13巻をお買い上げいただきありがとうございます
本編には出て来ないブルマです
石黒正数

とらのあなにて
それでも町は廻っている12巻をお買い上げいただきありがとうございます
今年もよろしくお世話になりました…
石黒正数

それでも町は廻っている
13巻をお買い上げ
いただき
ありがとうございます
石黒正数

それでも町は
廻っている⑭
お買い上げいただき
ありがとうございます
尻が描きたくて
とりあえず尻から描き始めたら
あやうく顔が尻からはみ出そうになった。
石黒正数

それでも町は
廻っている14
押しかけ助子
福沢晶
お買い上げいただき
ありがとうございます
石黒正数

それでも町は廻っている
⑭
お買い上げいただき
ありがとうございます
今巻は出番少ないな
13巻で出すべきだったかなー
石黒正数

それでも町は廻っている15巻お買い上げいただきありがとうございます

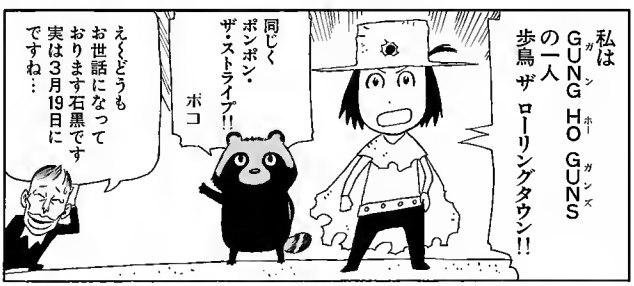
それでも町は廻っている14巻

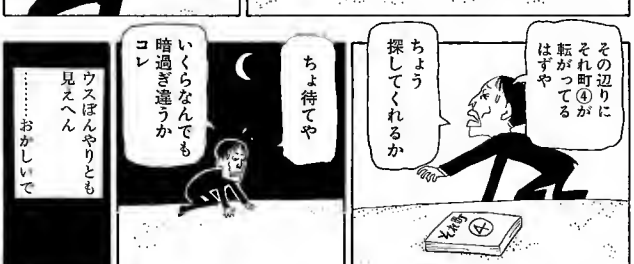
それでも町な廻っている15巻お買い上げいただきありがとうございます。

アワーズに掲載された、コミックス告知漫画です。

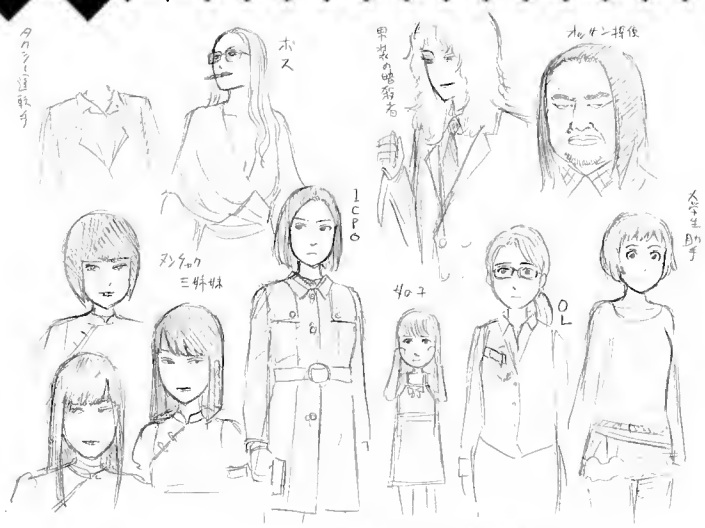
それ町通信 vol.2

通称それ通
Vol.1？
昔あったんだよ！





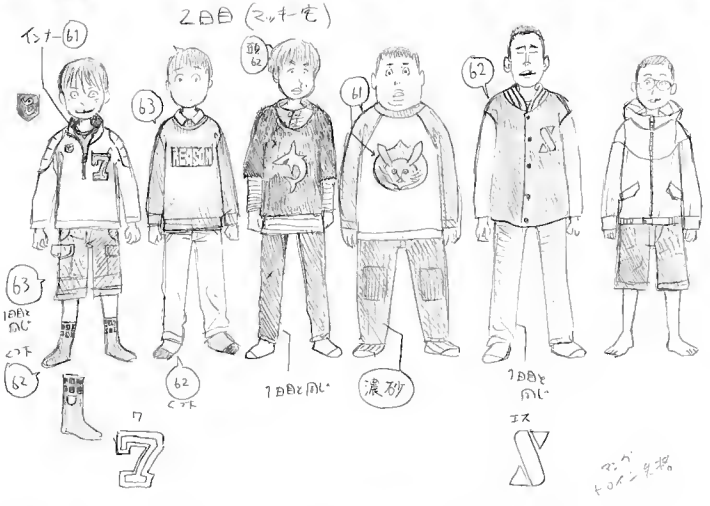
今回仕事場から発掘された「歩鳥の戦争」のキャラクターデザインです。
七瀬のキャラ名は「月光」というみたいですね。



「嘘つきリッちゃんの亡霊」の幽霊たちのデザインです。
よくこんなの捨てずに残ってたな…。

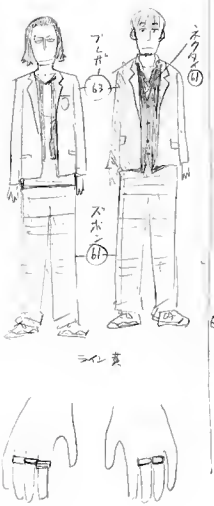
ユキコのスタン、いや女心を具現化したビジョンです。
これでエビちゃんのスタ、女心の「アイアンメイデン」と
対決させようと思ったのですが、デザインがあまりに
もスタ、なに某有名漫画チック過ぎたのでやめました。

各自の服のデザインと、トーン番号の指示を書いた紙です。アシスタントさんに渡して参考にしてもらいます。
毎回原稿が終わると捨ててしまうのですが、たまたま残っていたものがあったので掲載しました。

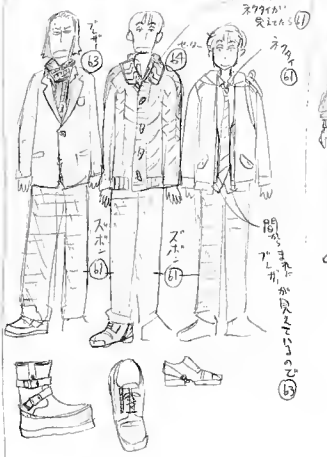


Q 2年生の春休みと3年生の七夕

冒頭 平日昼 学校 1~2P



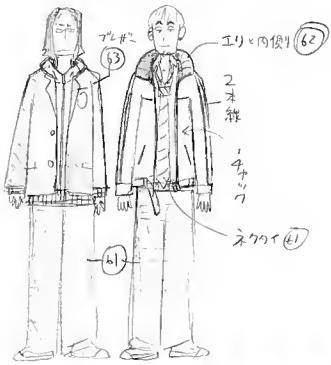
平日学校 朝夜 6~9P



P10

12~15 ファミレス 夜

16~20 最終日 平日学校



P4～P17
62
上着
マフラー色
ロング
ゆるふわ
ゆるふわ
62
ゆるふわ
62
眼鏡
52
P.18 1/4身～
歩鳥の
ダッフルコート
63
こいつの
シャツ
61
ベスト
髪
61
エリは白か
ボタンもあり
ベスト
(63)
(明るい茶)
フード
62
スカート
62
ベスト
スカート
61
バッグのこのライン
61

初期イメージ

初期のイメージ画です。連載会議の資料としてネームと一緒に提出しました。制服のデザインが違う以外はほぼ「それ町」の世界観ですが、トーンを使わずベタを多用する方向で検討したパターンなので絵柄がちょっと違います。この絵柄で漫画を描くのは大変なのでやめました。

今回編集部から発見されるまで完全に忘れていた絵です。描いた覚えが無いのですが、これも初期イメージ画のひとつです。ほぼ今と変わらぬ歩鳥ですが、お気付きでしょうか。そうです、当初は胸が大きかったのです。

歩鳥の部屋の設定です。歩鳥の部屋は実家の自分の部屋がモデルで、嵐山家は中学時代の親友Aの家がモデルです。嵐山家のモデルは建て替えられて無くなりました。

これも今回発見された、描いた覚えが無い絵です。メイド服と探偵を融合させようといている様子が見られますね。

覚えてない絵です。歩鳥の胸がしぼんだのは初代担当が「コメディの主人公は胸が小さくないといけない決まりがある」と無茶な事を言ったからです。それ町序盤に胸のネタがあるのはそのせいです。このカットを見るに紺先輩の胸が平らなのは初期からの伝統のようです。

連載会議の資料用に、初期のネームから3ページほど抜粋して仕上げた原稿です。本編で見た事が無いシーンばかりなので、どれも使わなかった話だと思います。それ町は一話8ページ連載を見越して作っていたバージョンや、シーサイドのメンバーが違うバージョン、幻の1話目など様々な初期ネームが存在しました。それらがどんな話だったか、もう覚えていません。

の真田
ドカッ

ビュッ

少年画報社

http://shonengahosha.jp

電子書籍版

それでも町は廻っている公式ガイドブック
廻覧板

石黒正数

©2017 石黒正数／少年画報社

それでも町は廻っている

公式ガイドブック

廻覧板

石黒正数

PRESENTED BY MASAKAZU ISHIGURO

OFFICIAL GUIDE BOOK "KAIRANBAN"
SOREDEMO MACHI HA MAWATTEIRU

少年画報社

SOREDEMO MACHI HA MAWATTEIRU
OFFICIAL GUIDE BOOK KAIRANBAN
MASAKAZU ISHIGURO PRESENTS

SOREMACHI
SOREMACHI